

平成23年度 事務事業評価結果一覧表

(評価対象 22年度)

新温泉町

【目次】

1	《自立と協働》人と人との豊かな関係づくり	1
2	《安心》安心な暮らしづくり	17
3	《誇り・生きがい》こころ豊かな人づくり	41
4	《活力》豊かな地域産業づくり	63
5	《快適・生活環境》住みたくなる環境づくり	75

【表の見方】

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
	事務事業名 担当課名	事務事業の目的を「対象」…事業を通して働きかける相手と「意図」…対象をどのような状態にしたいかに分けて記載しています。	「総事業費」=事業費+人件費 「一般財源」=事業費のうち特定財源を除いた額 「人件費」=業務割合×平均単価	20				「指標1」…各年度ごとの成果指標(実績)を記載しています。 「指標2」…指標が2つある場合に記載しています。		一次評価結果の内容 個別評価「必要性・有効性・達成度・効率性」と総合評価を記載しています。			一次評価結果の内容を次により記載しています。 「区分」…次年度以降の方向性を「廃止・休止・抜本的見直し・内容拡大・内容縮小・事業のやり方改善・継続・終了」の区分により記載しています。 「改革・改善案」…評価に基づき、課題等に対する改善・改革内容を記載しています。				
21																	
22																	
23						成果指標の単位								成果指標の単位	二次評価結果の内容を記載しています。 「総合評価」「区分」「改革・改善案」		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
政策	1≪自立と協働≫人と人との豊かな関係づくり																		
施策	1-1住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり																		
基本	1-1(1)①住民に分かりやすい情報を提供します																		
111101	広報活動事業	町民、ホームページ閲覧者	町の情報を定期的に分かりやすく町民に提供することで、町に対する理解と協力を得る。知りたい行政情報を得ることができる。	20	12,181	3,789	3,789	8,392	広報誌を読んでいる町民の割合	-	HPアクセス件数	222732	4	4	3	4	A	継続	経費節減の視点からは、いっそう効率的に効果を発揮できる広報活動が必要である。それぞれの担当部局の職員が広報意識を持ち、積極的に広報や情報公開を行い、町民とコミュニケーションを図る必要がある。また、広報伝達媒体である広報誌、CATV、インターネット、行政放送など、異なるメディアを有効に活用し、互いに相乗効果が得られるような利用方法を検討する。広報掲載内容を精査し、住民にとって必要な情報を厳選し、コンパクトかつ分かりやすい表記としていく。職員対象のHP研修を実施し、意識啓発と技術習得を図る。
				21	12,913	4,457	4,457	8,456	-	225503									
	22			10,864	4,031	3,814	6,833	-	194337										
	23			11,979	5,146	4,928	6,833	%	件										
	企画課																		
111102	予算テキスト作成事業	町民	町の予算、仕事内容を理解してもらう	20	864	205	205	659	区長・町内会長便配布率	100			4	4	4	4	A	継続	引き続き解りやすい予算テキストの発行に努める。また、予算査定と並行して作業を進めることで、早期の発行を目指す。
				21	888	224	224	664	100										
	22			332	273	273	59	100											
	23			335	276	276	59	%											
	企画課																		
111103	CATV自主放送	ケーブルテレビ加入者	行政情報、町の行事等を自主放送番組として制作し、温泉地域住民に情報伝達を行う。聴覚障害者に対し、文字(無音声)放送番組による情報伝達を行う。	20	11,143	509	509	10,634	放送回数(5ch)	5760	リクエスト回数	6559	4	4	4	4	A	内容拡大	企画番組や特集番組を取り入れ、視聴者に訴えかける番組制作。
				21	10,968	777	777	10,191	4349	7623									
	22			10,369	880	880	9,489	4138	6423										
	23			10,369	880	880	9,489	回	回										
	CATV事業室																		
111104	出前講座	町民	「情報公開」「説明責任」を柱に住民の皆様への町政に対する理解と信頼を深めることで、町民の皆さんとの参画と協働によるまちづくりを実践する	20	659			659	実施回数	18	参加人数	474	4	4	4	4	A	継続	行政の仕事直接町民に説明する制度であり、町民の行政に対する理解を深めることができる機会であるとともに、制度に対する町民の生の声を聞くことのできる機会でもある。今後も住民に必要で、関心をもっていたメニューを充実させ、事業を継続する。広報、ホームページなどを通じて利用促進を図る。広報掲載時に、利用方法を紹介する。また、住民の要望に応じてメニュー以外のテーマで出前講座を実施している。
				21	664			664	19	516									
	22			119			119	32	1006										
	23			119			119	回	人										
	企画課																		
基本	1-1(1)②住民の声を積極的に聴取します																		
111201	選挙管理委員会事務	選挙管理委員会委員	選挙事務に関する議案を審議及び議決し、公正な選挙の執行について管理する。	20	2,411	313	313	2,098	議決率	100		4	4	4	A	継続	行革実施計画に掲げる項目について、慎重に検討する。		
				21	1,596	328	328	1,268	100										
	22			2,184	401	401	1,783	100											
	23			2,112	329	329	1,783	%											
	総務課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			投票率	選挙時のトラブル件数	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源													
111203	選挙執行事務(参議院議員選挙)	有権者	公正な選挙執行、投票率の向上	20					投票率		選挙時のトラブル件数	4	4	4	A	終了	3年後の選挙の際には開票作業の効率化を一層図る必要がある。		
				21															
	22			18,139	15,049		3,090	68.96	0										
	23							%	件										
	総務課																		
111205	選挙執行事務(兵庫県議会議員選挙)	有権者	公正な選挙執行、投票率の向上	20					投票率		選挙時のトラブル件数	4	4	4	A	終了			
				21															
	22			4,083	2,538		1,545	-	0										
	23			12,658	11,113		1,545	%	件										
	総務課																		
111211	選挙啓発事業	有権者	・有権者等の政治・選挙への関心を高め、投票率の向上を図る。 ・選挙違反のない明るい正しい選挙を実現する。	20	708	49	49	659	選挙違反件数			4	4	4	4	A	継続	引き続き、明るい選挙推進協議会による啓発活動、ポスター募集等を実施し、選挙時には、走ろう会による啓発マラソンを実施する。	
				21	245	3	3	242											1
	22			288	50	50	238	0											
	23			305	67	67	238	件											
	総務課																		
基本	1-1(2)①住民の参画と協働を進めます																		
112101	協働まちづくり委員会	委員 12名	参画と協働のまちづくりを進めるための意見交換をするのと同時に、新温泉町住民参画と協働の推進指針、自治基本条例制定に取り組む。	20	3,719	123	123	3,596	協働まちづくり委員会			3	3	2	3	B	継続	新温泉町住民参画と協働の推進指針を制定した(平成21年4月)ので、それを踏まえ参画と協働のまちづくりを進め、自治基本条例制定のための機運の醸成に取り組む。	
				21	3,839	215	215	3,624											8
	22			1,606	61	61	1,545	2											
	23			1,842	297	252	1,545	回											
	企画課																		
112102	町名検討委員会	新温泉町町名検討委員会委員12名	合併協定書の協定項目である新町の名称の「ただし書き」についての検討する。	20					報告書(答申)			4	4	4	4	A	継続	平成23年11月に報告書の作成完了予定。	
				21															
	22			3,433	403	403	3,030	0											
	23			3,468	438	438	3,030	件											
	企画課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	1-1(2)②自主活動団体等を支援します																				
112201	新温泉町自治連合会等活動促進	自治連合会組織	自治連合会事務局として、各区、町内会等の活動をサポートすることにより、健全なコミュニティの育成と活性化を図る。	20	1,400	501	501	899	事業参加者数	35	会議協議案件	20	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	事務局が担う役割を整理するとともに、本部活動の活性化について団体と協議を進める。とりわけ23年度は、浜坂支部の会計事務について、団体の主体的な運用を行っていくこととしている。		
				21	1,165	501	501	664												19	
				22	1,571	501	501	1,070													
	23			1,571	501	501	1,070	人												件	
	総務課																				
112204	新温泉町婦人会育成事業	婦人会会員	婦人会活動が継続できる財政基盤の確立と、事務局の自主運営。婦人会員が主体的に活動し、社会的な貢献を行うとともに自ら達成感・充実感を実感する。	20	1,542	344	344	1,198	実施事業数	2	事業参加数	88	4	4	4	4	A	継続	婦人会組織は、会員自らの資質向上及び会員間の交流等のみならず、地域への貢献度が大きく、町民に対しても行政にとっても欠くことのできない重要な組織である。活動は健康・福祉・教養・地域貢献など幅広いが、財源のほとんどが町補助金と会費であることから、現時点では財政的な自立は困難である。一方、人材は豊富であり、事務局を担うことは可能であると考えられるので、会員に動機づけしながら自主運営を促していく必要がある。		
				21	1,299	333	333	966												70	
				22	1,493	333	333	1,160												63	
	23			1,504	344	344	1,160	件												人	
	社会教育課																				
112205	新温泉町子ども会育成事業	子ども会会員	子ども会会員の交流、親睦、図り、子ども会の健全な発展を推進する。	20	2,764	276	276	2,488	参加者数(延べ数)	2226			4	4	4	4	A	継続	地域間により子ども会組織の体制、役員の選出方法が違うため、本会活動に対する意識にも差が現れる。選出方法をできる限り揃えられるよう調整していきたい。スポーツ活動において、地元のクラブチーム活動が盛んな地区はそちらを優先し、子ども会活動への参加については消極的な姿勢が見られる。ねらいとするところが違うことを理解してもらい、子ども会活動へも参加していただけるよう呼びかけていきたい。		
				21	2,633	276	276	2,357												1870	
				22	2,875	276	276	2,599												2113	
	23			2,875	276	276	2,599	人													
	浜坂公民館																				
基本	1-1-(3)①住民の声が届く議会をめざします																				
113101	議会運営事務	議員・執行部	議会会議規則等に添った適正かつ円滑な議会運営	20	4,795			4,795	議決件数	132	一般質問	41					A	継続	今後も継続実施し、活発で開かれた議会運営を行う。CATV、町ホームページを活用し、議会活動の情報提供をより一層図りつつ、町民に議会を身近に感じてもらえるような取組みを行う。		
				21	7,146	1,710	1,710	5,436												145	41
				22	69,811	64,463	64,463	5,348												167	47
	23			98,859	93,511	93,511	5,348	件												人	
	議会事務局																				
113102	会議録作成事務	町民・議会	会議の記録を正確に保存する	20	6,384	2,788	2,788	3,596	会議録	7	閲覧回数	3	4	4	4	A	継続	今後も本会議及び委員会の会議録を調製し、開かれた議会の情報提供に努める。			
				21	6,636	3,616	3,616	3,020											36	5	
				22	8,972	3,624	3,624	5,348											37		
	23			9,506	4,158	4,158	5,348	冊											件		
	議会事務局																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
113103	議会だより発行事務	住民	議会定例会・各委員会の議会活動を住民が知ることができる	20	2,168	669	669	1,499	発行部数 部	23400		4	4	4	3	A	継続	親しまれる議会広報を目指し、発行の迅速化に努め、会議の内容をよりわかりやすく伝えるとともに、写真、活字等の工夫をしていく。
				21	2,034	826	826	1,208		23400								
	22			2,141	953	953	1,188	23200										
	23			2,127	939	939	1,188											
	議会事務局																	
113104	議員視察研修事務	議員	先進地視察により円滑な議会・委員会運営がなされる。	20	1,094	195	195	899	参加人数 人	13	事業に反映された件数 件				4	A	継続	研修目的・内容等を早い時期に協議し、計画・実施したい。
				21	1,642	736	736	906		20								
	22			1,239	348	348	891	27										
	23			1,539	648	648	891											
	議会事務局																	
施策	1-2健全な行財政を運営するまちづくり																	
基本	1-2(1)①公正でシステム化した事務処理に努めます																	
121102	議会(議案)に関する事務	議会議員	議会開催に係る一連の法定事務であり、議会開催の円滑化を図る。	20	4,316			4,316	議案件数 件	108	議案訂正回数 回				4	A	継続	議案審査事務は専門的知識を必要とするため、研修などの活用により担当職員の資質向上を図る。
				21	3,866			3,866		100								
	22			3,803			3,803	103										
	23			3,803			3,803											
	総務課																	
121103	文書の收受・発送・配布等事務	町民、職員	文書の適正な收受および配布	20	17,100	11,874	11,874	5,226	誤配件数 件	0					4	A	継続	合併前より試験的に導入している簿冊管理、文書保管システムを有効に活用できてない点が改善の余地があるか検証が必要
				21	19,777	14,580	14,580	5,197		0								
	22			18,900	13,317	13,317	5,583	0										
	23			18,765	13,317	13,317	5,448											
	総務課																	
121104	例規整備	職員、町民	例規集のデータ化により、町民が閲覧しやすくし、職員も検索しやすい状態にする。	20	3,469	3,169	3,169	300	年間更新件数 回	1					3	A	継続	23年度よりデータ更新の回数を年4回とし、閲覧等業務の利便性の向上と効率化を図り、例規集追録部数を100部から50部に変更し、コストを削減する。
				21	4,882	4,640	4,640	242		2								
	22			3,217	2,920	2,920	297	3										
	23			2,777	2,480	2,480	297											
	総務課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
121106	行政相談事務	相談委員	行政相談委員を支援し相談を受けやすい環境を整える。	20	380	20	20	360	相談日開設	26						継続	国の制度に基づく相談委員であるため、係わりの程度が課題となるが、町民にとって身近なところで相談の機会が確保されるよう、引き続き行政相談委員を支援していく。		
				21	423	0		423	回	21									
	22			446	30	30	416		25										
	23			446	30	30	416												
	総務課																		
121107	秘書業務	町長、副町長	町政運営のために必要な調整、交渉等が円滑に遂行できる。	20	2,158			2,158	調整済みスケジュール出席率						継続	町長交際費については、23年度より職員等の弔意に関する内規を改正し、本人の死亡のみ支出することとした。これにより、支出の抑制を図ることができ、かつ、効率性(時間短縮)を図ることができる。			
				21	2,613	499	499	2,114	%	92									
	22			2,820	562	562	2,258		90.5										
	23			3,057	800	800	2,257												
	総務課																		
121108	自動車管理業務	①公用車利用者 ②公用車台数	①安全・確実に目的地に移動させる。 ②台数の削減を図る。	20	24,340	3,061	3,061	21,279	事故件数	1	到着遅延件数	0	3	A	継続	①公用車両管理の徹底と安全運転意識の啓発 ②共用可能な車両の利用調整 ③車両の更新			
				21	23,742	8,642	8,642	15,100	件	3									
	22			19,075	4,220	4,220	14,855		4										
	23			18,555	3,700	3,700	14,855												
	総務課																		
121109	情報公開・個人情報保護事務	町民等	職員の意識向上を図るとともに、情報公開制度、個人情報保護制度の適正な管理運用を行うことにより、行政が町民から信頼される関係を構築する。	20	659			659	不服申立件数	0	4	3	4	A	継続	行政の姿勢として公開すべき部分は公開し、保護すべき部分は保護する2つの姿勢を明確にし、知る権利と守られるべき権利保護につとめ、透明性のある事務事業執行をこころがけ、町民から信頼される行政をめざす。意識啓発、意識向上のためにも、平成23年度には、職員研修を開催すべく検討する(研修内容、講師等)			
				21	693	29	29	664	件	0									
	22			654	0		654		1										
	23			654	0		654												
	総務課																		
121112	宿日直事務	町民	庁内外の連絡業務、戸籍届出書類の受付、電話対応及び電話等の受付を行い、夜間、休日等における住民サービスの窓口とする。	20	7,869	7,270	7,270	599	宿日直実施日数	365	研修参加人数	62	4	A	継続	しばらくは現状維持			
				21	8,031	7,427	7,427	604	日	365									
	22			8,074	7,480	7,480	594		365										
	23			8,233	7,639	7,639	594												
	総務課																		
121113	給与支給事務	職員	条例に基づいた適正で正確な支給を行う。	20	3,057			3,057	適正支給率	100	4	A	継続	今後も正確かつ効率的な支給事務を行う。					
				21	3,080			3,080	%	100									
	22			3,030			3,030		100										
	23			3,030			3,030												
	総務課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						事業費	一般財源													
121115	市町村職員共済組合・退職手当組合・互助会事務	職員	条例・規則等に基づいて適正な処理を行う。	20	4,196			4,196	適正処理割合					4	A	継続	今後も条例・規則等に基づいて、正確かつ効率的な事務を行う。			
				21	3,926			3,926		100										
				22	3,862			3,862		100										
	総務課	23	3,862			3,862	%													
121116	特別職等報酬審議会	議会の議員、町長、副町長、教育長の報酬額	町長の諮問事項を審議し、答申することで特別職の報酬額の妥当性・公平性を図る。	20	60	0		60	答申					4	A	継続	必要に応じて開催する。			
				21	60	0		60		0										
				22	59	0		59		0										
	総務課	23	114	55	55	59	件													
121120	情報化推進事業	情報化推進委員	住民の立場で情報化計画の進捗管理を行う	20	3,356	59	59	3,297	情報化計画事業数					4	4	3	4	A	継続	変化する情報通信技術とそれに対する住民ニーズの把握に努め、引き続き情報化計画の策定と進行管理を行う。また、23年度で計画期間が終了するため、本年度、24年度からの計画を策定し、事業の精査を行う中で事業実施できるようにしていく。
				21	9,243	1,995	1,995	7,248		25										
				22	1,460	212	212	1,248		25										
	企画課	23	1,571	323	323	1,248	事業													
121121	統計要覧作成	町民、職員	新温泉町の状況を数値化、グラフ化する事で現況を分かり易くし、施策に活かす。	20	679	20	20	659	要覧の調査項目					4	4	4	4	A	継続	さらに、掲載すべきデータがないか検討する。「町民所得」のデータを追加し、いっそうの内容充実を図る。
				21	684	20	20	664		63										
				22	713	0	0	713		63										
	企画課	23	733	20	20	713	件													
121122	基幹統計	住んでいる全ての人と世帯、事業所	統計調査の円滑な実施と、それによって作られる統計の正確性を確保する。	20	6,229	1,973	12	4,256	調査票回収率					4	4	4	4	A	継続	より正確な統計調査が求められる。住民周知と調査員へのより詳しい説明、調査へのフォローをする。
				21	7,830	3,542	15	4,288		99										
				22	12,448	8,407	5	4,041		99										
	企画課	23	5,125	1,084	2	4,041	%													
121123	町花・町木・町鳥・町歌・町民憲章の制定事業	町花・町木・町鳥・町歌、町民憲章を制定する。	協働まちづくり委員会で絞り込み、町長に報告する。	20					協働まちづくり委員会					4	4	2	4	B	継続	町名の検討を待って、速やかに制定し、町花・町木・町鳥等をシンボルとして、また、町民憲章を住民のまちづくりの規範として、合併後の一体化の醸成に努めることとする。
				21	1,483	215	215	1,268		8										
				22	394	216	61	178		2										
	企画課	23	1,690	1,512	1,512	178	回													

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段：一次評価、下段：二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源										
121124	行財政改革推進	行政・住民	持続可能な財政基盤の確立と住民満足度の向上を図る。	20	1,237	38	38	1,199	行革実施計画実施率	57.7	441	3	A	継続	第2次行財政改革実施計画の初年度である22年度の進捗状況は、約9割が概ね達成できているが、2年目以降の取組を更に推進するため、引き続き、職員に対して改革の取組の周知徹底を図るとともに進捗管理を行う。また平成24年4月に組織・機構の見直しを行うため、プロジェクトチームで組織・機構の見直し案を策定する。		
				21	4,447	219	219	4,228	79	448							
				22	4,290	71	71	4,219	89	604							
	23	4,356	137	137	4,219	%	百万円										
121125	行政評価の導入・実施	職員・事務事業	事務事業の改善、職員の意識改革、住民への説明責任の向上を図る。	20	659	0		659	事務事業評価実施率	60	4	A	内容拡大	職員を対象とした研修会を開催し、講師から評価結果活用との必要性や行政評価の試行錯誤は当然との意見をいただいている。事務事業評価について職員の負担感があるため、評価者が記入しやすいよう更に改善を進め、事務事業改善を進める。また、事務事業評価結果を活用した施策評価の試行導入を行い、総合計画の進捗管理に活用する。			
21	2,718	0		2,718	100												
22	2,739	65	65	2,674	100	79											
23	2,674	0		2,674	%	人											
121126	職員ひとり改善運動	事務事業・職員	事務事業の改善及び職場の風土(意識)改善	20	300			300	改善提案採用・報告件数	8	4	B	事業のやり方改善	所属長への依頼に加え、22年度から各部署の事務事業改善活動推進リーダーにも説明・依頼を行ったが、改善報告は前年を下回る結果となった。軽微な改善も含め改善報告がしやすいよう推進リーダーと連携を図り、全庁体制の改善活動を進める。			
21	302			302	23												
22	297			297	15												
23	297			297	件												
121128	CATV賦課徴収	ケーブルテレビ加入者	適切な使用料の賦課、徴収を行う。	20	4,196			4,196	賦課誤り件数	23	4	4	3	2	B	事業のやり方改善	加入者の管理、賦課等を適正にするため、加入者システムを平成23年度更新予定。未納者に対し、収納率を上げるため、分納今以上に分納の推進を行う。
21	4,228			4,228	8	98.5											
22	4,754			4,754	2	97.73											
23	4,754			4,754	件	97.4											
121129	CATV機器保守・管理	CATV設備(伝送路、編集機、宅内機器等)	定期的な保守管理を実施し、ケーブルテレビ利用者に放送通信情報を安定的に供給できるようにする。	20	15,640	8,384	8,384	7,256	訪問後の不具合による再苦情件数	26	4	4	4	3	A	継続	機器導入後、7年経過し安全な機器管理上、平成23年度から3年計画で順次機器更新を行い、サービスの向上を図るとともに安心安全な施設管理を行う。また、時代に対応したインターネットサービスを行うため、関連機器の増強を図る。
21	15,205	8,162	8,162	7,043	6												
22	13,918	8,392	8,392	5,526	0												
23	47,026	41,500	41,500	5,526	件												
121130	個人町民税の賦課	課税年の1月1日現在、新温泉町に住民票を有している者。または、生活の本拠としている者。但し、生活扶助受給者、障害者・未成年者・寡婦又は寡夫で前年の合計所得金額が125万円以下であった者を除く。	法令に基づいた適正・公平な課税を行い、自主財源の確保を目指す。	20	17,099	1,814	1,814	15,285	課税誤りによる更正件数	0	4	4	4	A	継続	迅速かつ効率的な業務推進を要する。平成20年度より公的年金の電子データ授受を実施しているが、給与支払報告書、課税計算に必要な申告データ(確定申告書)は未だ、紙ベースとなっていて人為的な入力を行っているのが実情であったが、平成22年度より、電子申告サービス及び国税システムとの連携を開始することで、迅速かつ効率性の向上が期待できた。また、電子申告サービス加入事業所を拡大させることで、一層のコストダウンを図りたい。	
21	25,076	11,426	11,426	13,650	0	554770											
22	19,431	5,705	5,705	13,726	0	527033											
23	15,809	2,083	2,083	13,726	件	478224											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
121131	固定資産税の賦課	町内に固定資産を有する個人、法人課税客体となる土地、家屋、償却資産	課税客体の現況調査と課税根拠資料等の更新を推進することにより、実態に即した適正課税を図る。	20	38,257	16,658	16,658	21,599	過誤納還付件数 件	7								町内における評価格差の有無を十分に検証し、町内全域における課税内容の統一性と公平性を確保する。	
				21	40,923	16,521	16,521	24,402		0									
	22			44,868	21,337	21,337	23,531	8											
	23			35,461	11,930	11,930	23,531												
	税務課																		
121132	町税等の徴収	町税及び国民健康保険税の滞納者	自主財源確保及び公平な納税の推進のため、徴収率の向上を目指す。	20	28,573	2,522	2,522	26,051	町税徴収率(現年、滞繰) %	96.6、23.1	国保税徴収率(現年、滞繰) %	92.8、19.9							滞納処分強化により、徴収率の向上を図る。
				21	24,913	1,895	1,895	23,018		96.8、20.9		92.1、20.8							
	22			27,839	1,634	1,634	26,205	96.7、12.9		92.3、17.6									
	23			28,545	2,340	2,340	26,205												
	税務課																		
121133	戸籍事務	町民、本町に本籍を有する者	戸籍法に基づき、身分関係を公証するとともに必要な情報を公正に管理し関係者の利便性の増進を図り、行政事務の遂行に役立てる。	20	4,835			4,835	戸籍受理適正処理割合 %	100	戸籍謄抄本等適正交付割合 %	100							ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。
				21	6,004			6,004		100		100							
	22			5,238			5,238	100		100									
	23			5,238			5,238												
	町民課																		
121134	住民基本台帳事務	全町民(新温泉町に住民登録のある者)	住民基本台帳法に基づき、居住関係及び身分関係を公証するとともに、住民情報を公正に管理し、住民の利便性の増進を図るとともに行政事務の遂行に役立てる。	20	4,532			4,532	住民異動適正処理割合 %	100	住民票等証明適正発行割合 %	100							ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。災害に備え、各種データのバックアップ体制を確立し、被災しても直ちに復旧できる体制を整える必要がある。
				21	5,097			5,097		100		100							
	22			4,644			4,644	100		100									
	23			4,644			4,644												
	町民課																		
121135	印鑑登録・証明業務	新温泉町に住民登録を有する町民(15歳以上)	住民基本台帳に基づき15歳以上の者の印鑑登録をすることにより、各種契約・登記等の必要書類としてその業務を円滑に行う。	20	3,654			3,654	新規登録適正処理割合 %	100	印鑑証明適正発行割合 %	100							ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。災害に備え、各種データのバックアップ体制を確立し、被災しても直ちに復旧できる体制を整える必要がある。
				21	3,594			3,594		100		100							
	22			4,644			4,644	100		100									
	23			4,644			4,644												
	町民課																		
121136	埋火葬許可事務	死亡等届出者	墓地、埋葬等に関する法律に基づき埋火葬許可証を交付し、埋火葬業務を適正に、支障なく行う。	20	1,079			1,079	適正処理割合 %	100									ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。
				21	1,081			1,081		100									
	22			2,514			2,514	100		100									
	23			2,514			2,514												
	町民課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
121137	レセプト点検事業	被保険者数 (国保対象者)	適正な療養給付を行い、国民健康保険財政の健全化を図る。	20	3,791	3,192	2,900	599	過誤認定 件数	1309	過誤認定 金額	37094	4	4	4	A	継続	レセプト点検は重要であるため、連合会との共同処理や研修会を通して知識を養い、業務に活かしていく。
				21	6,264	3,842	2,773	2,422		804		9873						
				22	5,765	3,860	2,609	1,905		804		9873						
	23			5,972	4,026	2,775	1,946	件	千円									
	健康課																	
121140	町民センター維持管理	・町民センター (温泉総合支所含む) ・町民	効率的な維持管理及び省エネに留意し、町民が気持ち良く使用、または来庁できる環境を整える。	20	11,086	5,092	4,829	5,994	苦情・事 故件数	0	利用人数	18000	4	4	4	A	継続	施設の維持・管理を計画的に実施する。
				21	13,300	5,750	5,506	7,550		0		20219						
				22	12,874	6,041	5,855	6,833		0		22226						
	23			12,841	6,008	5,858	6,833	件	人									
	振興課																	
121143	監査事務	町の財務の執行及び事業の管理	“地方自治法に基づき、財務等に関する事務執行について監査等を実施する。事務処理の適正化を図り、効果的・効率的な行政を推進する。”	20	3,172	774	774	2,398	報告書並びに意見書	16			4	4	4	A	継続	今後も事務の執行及び事業の適正化を図り、円滑に実施したい。
				21	3,172	774	774	2,398		16								
				22	2,894	814	814	2,080		18								
	23			2,894	814	814	2,080	件										
	議会事務局																	
121144	計画行政の推進	町の行う事業	計画に盛り込まれた事業が予定された年度に実施されて、事業効果を上げるよう、委員会で住民代表委員とともに確認する。	20	1,500	301	301	1,199	実施計画 掲載事業	264	過疎計画 掲載事業	182	4	4	4	A	継続	計画を策定するだけでなく、実施事業の進捗管理、検証を行うための意識付けを行う手法を検討する。
				21	1,301	93	93	1,208		274		183						
				22	450	93	93	357		285		169						
	23			3,854	3,497	1,097	357	事業	事業									
	企画課																	
121145	外国人登録事務	外国人	在留外国人の居住関係及び身分関係の必要な事項を登録し明確にすることで在留外国人の社会生活等に役立てる。	20	2,757			2,757	証明書適 正発行割 合	100			4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。 外国人登録法・住民基本台帳法の一部改正により、平成24年7月に住民基本台帳制度への移行予定。
				21	3,140			3,140		100								
				22	2,989			2,989		100								
	23			2,989			2,989	%										
	町民課																	
121149	庁内各種調整会議	部署(課・室・局)	庁舎内の連携を強化し、事務事業執行のスピードアップを目指す。	20	1,798			1,798	協議件数	2			4	A	継続	案件が生じたときには会議を開催することにより、目指す方向、意識を共有することができ、早期の解決につなげていく。		
				21	1,812			1,812		2								
				22	1,307			1,307		2								
	23			1,307			1,307	件										
	企画課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性									
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案							
						事業費	一般財源																	
121150	既決犯罪・犯歴事務	裁判所から有罪判決を受けた者	検察庁からの既決犯罪通知書より、選挙権被選挙権の資格調査等検察・裁判所事務の適正な業務を行う。	20	899		899	適正処理割合	100															
				21	604		604		100															
	22			594		594	100																	
	23			594		594	%																	
	町民課																							
121151	墓地等に関する事務	墓地等経営許可、改葬許可申請者	公衆衛生、その他公共福祉の見地から支障なく行うようにする。	20	779		779	苦情件数																
				21	994	10	10		984													0		
	22			325	10	10	315		0															
	23			325	10	10	315		件															
	町民課																							
121152	身分証明及びその他の証明に関する事務	本町に本籍を有する者	検察庁・法務局からの通知書により、選挙権・被選挙権の資格調査及び各資格に係る法令の欠格条項に関する調査の適正な業務を行う。	20	1,798		1,798	適正発行割合	100															
				21	1,812				1,812														100	
	22			1,188			1,188		100															
	23			1,188			1,188		%															
	町民課																							
121153	支出命令審査・確認事務	支出案件	適正かつ迅速な支払を行う	20	10,822	812	812	10,010	更正件数	104														
				21	10,087	0		10,087		53														
	22			9,923			9,923	62																
	23			9,923			9,923	件																
	出納室																							
121154	調定決定・収納事務	・公金収入事務の適正化 ・公金(収納・支払者・基金)全体 ・職員(出納室一各課)	・公金収入の適正な管理 ・職員の迅速な処理(事前調定)により円滑な日計処理事務の向上を図る	20	8,564	772	772	7,792	更正件数	177														
				21	7,852			7,852		209														
	22			7,725			7,725	172																
	23			7,725			7,725	件																
	出納室																							
121155	決算調製事務	町の収入・支出の全部にわたる決算書の内容。一般会計、及び特別会計、決算付属資料、参考書類。以上決算書の収集。	公金の適正なる執行状況をまとめて記録として残す。	20	6,676	502	502	6,174	作成後の訂正箇所	0														
				21	6,221			6,221		0														
	22			6,120			6,120	0																
	23			6,120			6,120	件																
	出納室																							

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源									
121162	財政運営事務	普通会計決算額	的確な財政状況の把握、健全で弾力性のある財政の実現	20	4,795		4,795	財政力指数	0.33	経常収支比率	94.1	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、財政調整基金の確保に努め、引き続き事業の効率化・重点化により予算を調整する。	
				21	4,530		4,530		0.314		91.3					
				22	4,457		4,457		0.288		86.8					
	23	4,457		4,457	指数	%										
121163	予算編成事務	新温泉町の各会計予算	予算編成方針に基づいた予算を調製する。	20	7,193		7,193	財政調整基金繰入金	58141			4	A	継続	地方公共団体の果たすべき役割を考慮しつつ、行政評価の予算編成への活用を進め、硬直化する財政状況の中、財政の弾力化を示す財政調整基金の積立てや剰余金の検出を図る。 また、人口の減少にあわせて、職員数の適正化を行い、職員数の削減(人件費の抑制)及び経常経費の削減に努める。	
				21	6,946		6,946		36000							
				22	6,833		6,833		210500							
	23	6,833		6,833	千円											
121164	町補助金交付事務	新温泉町の補助金交付事業及び団体	事業目的、趣旨に沿った補助金の用途を管理し、本来の補助金の目的を達成させる。	20	2,997		2,997	実績報告受理数	198			4	A	継続	補助金交付申請団体の状況把握に努め、硬直化する財政状況の中、政策的に必要とされる補助金のみ予算化する。補助金整理合理化方針に沿った交付がなされているか、定期的に点検を行う。	
				21	3,080		3,080		172							
				22	3,030		3,030		181							
	23	3,030		3,030	事業											
121165	地方交付税算定事務	地方交付税の算定	的確な基礎数値の把握に努める。	20	4,196		4,196	普通交付税額	3872185	特別交付税額	577626	4	A	継続	平成22年度中の国勢調査により、普通交付税の算定基礎となる人口が大幅に減少したため平成23年度以降の普通交付税増額は望まず、東日本大震災の復興経費検出にともなう今後の国の動向、合併10年経過後の平成28年度から5か年間で、普通交付税の合併算定替(段階的削減)措置が行われるなどの状況を見据え平成24年度以後は、町予算歳出削減を図る。	
				21	4,288		4,288		4144238		500200					
				22	4,219		4,219		4440373		742700					
	23	4,219		4,219	千円	千円										
121166	町債管理事務	・借入先…国、兵庫県及び銀行等 ・地方債…事業債及び臨時財政対策債等	①起債の借入 ②適正な償還事務 ③有利な条件での借入	20	1,259		1,259	償還数/償還予定数	100	借入額	897587	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、新規発行起債の抑制及び不利な債務の繰上償還や借り換えを図る。	
				21	1,268		1,268		100		1275072					
				22	1,248		1,248		100		1334278					
	23	1,248		1,248	%	千円										
121167	基金管理事務	財政調整基金・減債基金・ふるさと水と土対策基金・地域福祉基金・浜坂町海岸環境美化基金・地域振興基金・二日市温泉配湯事業施設整備基金・ふるさとづくり基金・土地開発基金	①歳計剰余金の適正処理 ②基金の確実かつ効率的な運用	20	1,199		1,199	例月報告	12	年度末現在高	892948	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、極力剰余金の全額を財政調整基金へ積立し、内部留保に努める。	
				21	1,208		1,208		12		954504					
				22	1,188		1,188		12		1070616					
	23	1,188		1,188	回	千円										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
121168	自治振興事業	自治振興事業	①兵庫県補助金の有効活用 ②兵庫県貸付金の適正管理	20	1,199			1,199	県貸付金額	0	県貸付金返済元金	26120	4	A	継続	兵庫県が融通する貸付金であり、町の財源確保には必要ではあるが、返済期間が元金均等10年返済であるため、公債費への影響額が大きい。したがって、県貸付金の借入は、極力避けたい。			
				21	1,208			1,208		0		20110							
	22			1,188			1,188	0		19110									
	23			1,188			1,188	千円	千円										
	総務課																		
121169	町有財産の取得、管理及び処分事務	町有財産	売却、使用・貸付を行い有効活用を図る	20	4,153	1,096	1,096	3,057	売却金額	50802	使用・貸付金額	12055	2	B	事業のやり方改善	普通財産の貸付、売却について広報する。また、借地については、地権者と返還協議を実施する。			
				21	2,093	221	221	1,872		7771		10039							
	22			1,947	105	105	1,842	2890		6695									
	23			2,232	390	390	1,842	千円	千円										
	総務課																		
121170	土地開発基金事務	事業用地	基金を活用して先行取得する	20	24,630	24,570		60	基金残高(現金)	49504	基金残高(土地)	1022.54	2	C	抜本的見直し	財政計画、過疎計画などの中長期計画を基に将来の基金の利用見込みを把握し、基金のあり方を検討する。			
				21	60	0	60	49628		1023									
	22			59	0	59	49677	1023											
	23			59	0	59	千円	m ²											
	総務課																		
121171	入札参加資格審査事務	資格審査申請	適正な審査、登録を行う	20	1,499	0		1,499	登録訂正件数		町内業者登録数	134	4	A	継続	引き続き、適正な審査、登録を行う。			
				21	2,537	0		2,537		0		137							
	22			1,367	0		1,367	0		126									
	23			1,677	0		1,677	件	件										
	総務課																		
121172	庁舎保守管理	庁舎及び多目的集会所	効率的な維持管理と利用しやすい役場づくり	20	23,755	18,300	17,300	5,455	維持管理費	18300			4	4	3	4	A	継続	○改修必要箇所を調査し異常の早期発見に努めるとともに、こまめな消灯や適正な冷暖房の運転を行い、施設維持管理費の節減を図る。 ○本庁舎エアコン等の改修を行い、空調設備に係るランニングコストの削減を図る。
				21	25,705	20,209	20,209	5,496		20209									
	22			26,812	21,405	21,405	5,407	21405											
	23			69,768	64,361	16,453	5,407	千円											
	総務課																		
121173	電算機器保守管理	電算機器	常時障害なく稼働できるようにする。	20	31,354	28,297	28,297	3,057	電算機器障害回数	1	消耗品の在庫切れ回数		4	A	継続	職員へ機器の適切な取扱いの徹底を行い、及び機器に対する知識も周知しながら障害発生件数の減少を図りたい。			
				21	28,009	24,325	24,325	3,684		2		0							
	22			33,351	29,726	29,726	3,625	1		0									
	23			57,667	54,042	54,042	3,625	回	回										
	総務課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
121174	電算ソフト保守管理	電算システム	常時障害なく稼働できるようにする。	20	11,716	9,258	9,258	2,458	システム停止回数	0	法改正等適正対応割合	100	4	A	継続	法改正等に適切に対応し、より効率的に業務が遂行できるよう引き続き取り組む。		
				21	9,386	6,970	6,970	2,416	1	100								
				22	7,017	4,640	4,640	2,377	1	100								
	23	21,217	18,840	18,840	2,377	回	%											
	総務課																	
121175	文書管理システム	文書システム	文書管理の効率化、適正化を図る。	20	599			599	システム停止回数		登録文書	1000	4	A	内容拡大	更なる操作方法の指導を行い、文書管理の電子化を進める。		
				21	60			60	1	1000								
				22	59			59	0	1000								
	23	59			59	回	件											
	総務課																	
121176	船員に関する事務	船員、船主	船員手帳交付等に関する事務手続きを行い、船員・船主の利便性を図る。	20	599			599	適正処理割合	100		4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。	
				21	966			966	100									
				22	1,248			1,248	100									
	23	1,248			1,248	%												
	町民課																	
121178	入札・契約事務	公共工事等の入札及び契約	公正な入札・契約の実施	20	3,057			3,057	審査件数	227	指名業者数	1070	4	A	継続	○発注者と受注者の対等制のため呼称の変更、現場代理人の要件の緩和、暴力団の排除など契約約款の見直し ○条件付き一般競争入札の導入		
				21	3,080			3,080	294	1347								
				22	3,030			3,030	200	1017								
	23	3,030			3,030	件	者											
	総務課																	
121179	物品購入等事務	物品	より良い物を効率的に購入する。	20	1,798			1,798	管財係処理品目数	148		4	A	継続	必要物品の各課調査を実施、及びグリーン購入カタログなどを参考にして商品の選定を行い、単価契約物品の充実を図るとともに、環境に配慮した物品の購入を推進する。			
				21	1,872			1,872	133									
				22	1,842			1,842	139									
	23	1,842			1,842	件												
	総務課																	
121180	法人町民税課税事務	町内に事務所又は事業所がある法人	法令に基づいた適正・公平な課税を行い、自主財源の確保を目指す。	20	3,351	174	174	3,177	賦課誤りによる更正件数	0	課税額	54945	4	4	4	A	継続	迅速かつ効率的な業務推進を要する。全国的な「電子自治体」の実現に向けた取り組みの中で、法人町民税においても申告書の電子化サービスが平成22年12月より開始され、加入法人の拡大が求められる。
				21	1,537	148	148	1,389	0	54291								
				22	1,265	77	77	1,188	0	69579								
	23	1,298	110	110	1,188	件	千円											
	税務課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		課税誤りによる更正件数	課税額	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源												
121181	軽自動車税の賦課	町内を主たる定置場とする軽自動車等(原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車)の所有者	自主財源確保のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	20	3,171	174	174	2,997	0	課税額	40762	4	4	4	A	継続	継続して、適正・公平な課税を行う。	
				21	1,336	128	128	1,208	0		40782							
	22			1,784	121	121	1,663	0	41122									
	23			1,881	218	218	1,663	件	千円									
	税務課																	
121182	国民健康保険税の賦課	国民健康保険の被保険者である世帯主(擬制世帯主)	国民健康保険事業維持のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	20	7,076	1,082	1,082	5,994	0	課税額	330995	4	4	4	A	継続	継続して、適正・公平な課税を行う。	
				21	6,742	702	702	6,040	0		311289							
	22			6,506	564	564	5,942	0	295941									
	23			6,506	564	564	5,942	件	円									
	税務課																	
121183	諸税(町たばこ税・入湯税)課税事務	【町たばこ税】町内の小売販売業者に製造たばこの製造者、特定販売業者又は卸売販売業者等 【入湯税】鉱泉浴場における入湯客	自主財源確保のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	20	3,410	173	173	3,237	町たばこ税:課税額	80059	入湯税:課税額	33208	4	4	4	A	継続	継続して、期限内申告・納入等の実施に努める。
				21	1,604	154	154	1,450	73322	30461								
	22			1,708	104	104	1,604	72646	29462									
	23			1,754	150	150	1,604	千円	千円									
	税務課																	
121184	職員福利厚生	職員	職員の適正な福利厚生を図る。	20	2,458			2,458	給付件数	6		4	A	継続	今後も正確かつ効率的な事務を行う。			
				21	2,416			2,416	9									
	22			2,377			2,377	7										
	23			2,377			2,377	件										
	総務課																	
121185	定員管理等人事業務	職員	総合計画等も勘案しながら、新規職員の採用を抑制、早期勧奨退職を推進することにより、計画的に職員数の適正化を図る。	20	2,458			2,458	削減率	14	増減数	4	A	継続	今後も計画的に定員適正化を図る。			
				21	2,778			2,778	16.7	-10								
	22			2,436			2,436	-3	3									
	23			2,436			2,436	%	人									
	総務課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性						
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案					
					総事業費	事業費	一般財源	人件費														
基本	1-2(1)②住民に信頼される事務を行います																					
121201	人材育成研修制度の充実 職員研修費等	職員	社会経済情勢の変化、多様化する住民ニーズに的確に対応するため、職員の資質向上と能力の開発を図る。	20	1,776	457	457	1,319	受講者数	520						4	A	継続	継続して実施していく。			
				21	2,400	1,071	1,071	1,329	498													
				22	3,904	2,300	2,300	1,604	576													
		総務課			23	3,842	2,535	2,535	1,307	人												
121202	人事評価事務	全職員(平成22年度は制度の試行として管理職のみ)	人事評価により、業績・能力ともに好成績となる職員を増加させるなど職場の活性化・人材育成を図りたい。	20					ハイパーフォーマー職員の人数						3	B	事業のやり方改善	人事評価については、100%客観的な制度、これで完全という制度はない。運用するなかで問題点を検証し改善を重ねる一方、職員一人ひとりが経験を積んで納得性の高い制度に“成熟させていく”ことが必要。「能力評価」も実施して、さらに納得性の高い制度に成熟させていく。				
				21					0													
				22	297			297	0													
		総務課			23	297			297	人												
基本	1-2(2)①他市町等と連携して事業を進めます																					
122101	広域行政の推進(但馬広域行政事務組合)	但馬地域5市町(豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町)	各市町の発展と振興	20	9,256	8,597	8,597	659	協議件数	2						4	4	4	4	A	継続	但馬地域が一つになって、うるおいと活力に満ちた魅力ある但馬づくりに取り組むため、各市町の情報を共有しつつ、交通アクセスや交流拠点の整備促進、環境対策や地域情報化などの広域的な課題解決を進める。
				21	8,659	7,995	7,995	664	2													
				22	8,159	7,802	7,802	357	2													
		企画課			23	8,230	7,873	7,873	357	件												
施策	1-3連携・交流を促進するまちづくり																					
基本	1-3(1)①地域活動の拠点整備を図ります																					
131102	御火浦コミュニティセンター体育館改修事業	御火浦コミュニティセンター	山陰海岸ジオパーク構想のエリア拠点施設として位置付け、地元ガイドの養成並びに訪問者への案内・学習拠点施設として整備する。	20	7,441	4,444	4,444	2,997	進捗率(工事監理)	100	進捗率(工事)					4	4	4	4	A	終了	山陰海岸ジオパーク構想のエリア拠点施設として位置付けており、同施設を活動拠点とした地元ガイドの養成を行い、完成後の受け入れ体制を整備するための交流施設としての活用を検討する。
				21	77,850	74,830	74,830	3,020	75.5	69.02												
				22	38,696	37,092	37,092	1,604	100	100												
		企画課			23			0	%	%												
131103	浜坂コミュニティセンターの管理運営	浜坂コミュニティセンター	適正な維持管理を行う	20	3,541	2,882	2,714	659	委託料	420					4	4	4	4	A	継続	浜坂エリアの小学校再編に伴う跡地利用については、4施設のうち、①赤崎は校舎を取り壊し、グラウンドを拡張済、②三尾は校舎を取り壊し新たに学習・交流拠点施設として改築、③久斗山はすでに都市との交流機能をもった地域特産物製造販売施設として整備している。①～③についてはH23年度より浜坂公民館へ所管替、②については地域の活性化拠点施設として指定管理者制度の導入する。居組については、防災等多目的広場として整備を予定。	
				21	4,429	3,765	3,598	664	420													
				22	3,696	2,210	2,012	1,486	452													
		企画課			23	5,220	3,734	1,283	1,486	円												

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源	補助金											補助金交付件数	
131104	八田コミュニティセンター運営・管理事業	町民	新温泉町の自然や歴史の特性を活かし、交流を通じた地域開発意識を高める場を提供するとともに、地域の活性化を図る	20	6,355	4,197	4,045	2,158	会議室等利用人数	2107	展示会入込数	2581	4	4	3	4	A	継続	指定管理者の自主事業の推進、文化事業の充実、施設管理経費の節減
				21	4,445	3,841	3,841	604	2697	3919									
	22			4,579	3,985	3,985	594	2107	2237										
	23			4,572	3,978	3,978	594	人	人										
	教育委員会分室																		
131105	コミュニティ施設整備事業(集会施設建設)	コミュニティ施設	地域要望を組み入れた施設整備	20	32,428	30,570	83	1,858	進捗率	100			4	4	4	4	A	継続	〇コミュニティ活性化のため、町が事業主体として実施する。
				21	21,480	19,608	145	1,872		100									
	22			23,894	22,111	56	1,783	100											
	23				0		0	%											
	総務課																		
基本	1-3(1)②地域コミュニティの活動を応援します																		
131201	地域振興事業	地域住民のコミュニティ施設(区等)	地域の生活環境施設、コミュニティ施設整備及び活性化推進	20	9,483	5,887	5,887	3,596	補助金交付件数	34			4	4	4	4	A	継続	今後もコミュニティの活性化に向けて各地区への周知を図り、地域主体の事業を推進していくための支援を行う。なお、各地区・町内会長あての周知だけでなく、広報を活用して全町民への周知を図り、住民主体のまちづくりに向け同事業のPRにも務める。
				21	4,253	1,837	1,837	2,416		7									
	22			5,546	3,763	3,763	1,783	18											
	23			7,762	5,979	5,979	1,783	円											
	企画課																		
131202	県民交流広場事業支援	小学校区単位の町民	組織の立ち上げ、気軽に集える場づくりと活動の充実	20	1,259			1,259	実施率	80			4	4	4	4	A	継続	浜坂北、温泉小学校区についても平成22年度に地域選定を受け、平成23年度の事業着手を目指す。町内の10校区中5校区は平成22年度で県補助が終了したため、残りの5校区について事業の人的支援を行う。
				21	1,268			1,268		80									
	22			1,426			1,426	100											
	23			1,426			1,426	%											
	企画課																		
基本	1-3(2)①他市町との住民交流を図ります																		
132102	因但県境自治体会議(コリドール21)	因幡但馬地域6市町(鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、香美町、新温泉町)	県域を越えた交流を通して各市町の発展と振興	20	679	20	20	659	サミット協議件数	7	事業参加市町数	6	4	4	4	4	A	継続	必要最小限の負担金(各市町2万円)で運営しているため、効率的、効果的な事業展開を行う。H23年度は関係市町の交流を促進する事業として婚活イベントを検討している。また、情報発信事業の充実と担当者間の連携強化を図る。
				21	684	20	20	664		7		6							
	22			674	20	20	654	7		6									
	23			674	20	20	654	件		市町									
	企画課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						延べ参加 協会員数	延べ一般 参加人数	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	1-3(3)①国際的視野をもった住民を育てます																		
133101	国際交流推進事業	町民	諸外国との友好交流を通して国際間の理解を深め、また国際交流事業を通して、会員同士の親睦を深めていく。	20	1,719	220	220	1,499	93		39	3	4	3	3	B	継続	協会の自主運営に向けた取組みを継続すべき。但し会員の減少傾向や機運の低下も見られ組織の停滞が課題となっている。会員の拡大、活動の充実で組織の強化を図る必要がある。	
				21	1,710	200	200	1,510	108	40									
				22	1,307	200	200	1,107	100	50									
	23			1,580	200	200	1,380												
	商工観光課							人		人									
政策	2<<安心>>安心な暮らしづくり																		
施策	2-1災害に強いまちづくり																		
基本	2-1(1)①災害に強い基盤をつくります																		
211101	住宅耐震診断推進事業	昭和56年5月以前に建築された町内の民間住宅	住宅の耐震化率を高め、災害に強いまちをつくる。	20	210	30	11	180	累計診断棟数	59		4	4	2	4	B	事業のやり方改善	受診件数を増やすため、町広報、ホームページ等を活用し、PRに努め耐震化を促す。住民の生命・財産を守るため、必要不可欠の事業であるため継続実施する。	
				21	362	0		362	59										
				22	357	0		357	59										
	23			657	300	68	357												
	建設課							棟											
211102	急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地の崩壊危険箇所	住民の生命を保護するために急傾斜地崩壊防止工事を実施する。	20	14,020	13,900		120	防災工事着手箇所数(全体)	93		4	4	4	4	A	継続	年次的に急傾斜危険箇所の解消を進める。	
				21	8,421	8,300		121	95	36.7									
				22	11,119	11,000		119	97	37.9									
	23			19,219	19,100		119												
	建設課							箇所	%										
211103	河川改良(整備)事業	普通河川	河川機能を強化し、災害の軽減・公共の安全を確保する。	20	6,227	5,388	5,388	839	整備率	100		4	4	4	4	A	継続	災害の軽減・公共の安全を確保するため、今後も河川改良工事を継続する。	
				21	5,795	4,949	4,949	846	100										
				22	59	0		59	0										
	23			59	0		59												
	建設課							%											
211104	河川維持管理	普通河川	正常な流水機能を確保する。	20	382	262	262	120	実施率	100		4	4	4	4	A	継続	適正管理を行う。	
				21	60	0		60	0										
				22	4,407	3,575	3,575	832	100										
	23			4,496	3,664	3,664	832												
	建設課							%											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
211106	出合河川敷公園維持管理	町民	健康増進と地域間交流を深めるための大会出場を目指した練習を重ねるための広場を確保する。	20	557	197	197	360	利用人数	600		4	4	4	4	A	継続	グラウンド状況を確認し、真砂土等を補充し管理していく。	
				21	532	170	170	362		600									
	22			357	0		357	650											
	23			499	142	142	357												
	産業建設課																		
211107	災害復旧事業	被災した公共土木施設	原形に復旧し、従前の機能を回復する。	20	120			120	復旧率	0		4	4	4	4	A	継続	公共土木施設災害が発生した場合は、早期に事業実施する。	
				21	242			242		0									
	22			3,335	3,097	3,097	238	100											
	23			3,335	3,097	3,097	238												
	建設課																		
基本	2-1(1)②住民の防災意識を高めます																		
211202	自主防災活動支援事業	自主防災会	自主防災会の自覚(特に浜坂地域)を促し、組織力の強化を図る。災害や火災に備えた訓練の実施をしていただき、有事の際に自主防災会として行動をしていただく。	20	1,883	444	444	1,439	参加世帯	1141	参加人数	1422	4	4	4	4	A	継続	訓練実施の必要性を今以上にPRしていく。
				21	2,862	572	572	2,290		1423		1900							
	22			2,850	674	674	2,176	1727		2167									
	23			2,932	756	756	2,176												
	町民課																		
基本	2-1(1)③防災体制を充実します																		
211305	災害対策、災害救助及び災害弔慰金に関する事業	住民	災害に備えた体制整備をする。被災者への支援を行う。	20	2,943	2,109	1,797	834	災害見舞金給付	100	防災訓練参加	4061	4	4	4	4	A	継続	防災訓練については、実施地域を変えて実施する。災害対策備蓄を充実させる。住民への防災情報の提供と体制整備を促進する。災害見舞金は迅速かつ適正に給付する。
				21	2,091	1,971	1,971	120		100		810							
	22			1,595	822	822	773	100		776									
	23			5,383	4,610	4,610	773												
	町民課																		
基本	2-1(1)④消防救急体制を充実させます																		
211402	消防用施設器具維持	町内全域、消防団	緊急時に即応できるように、施設の整備と車両の更新を確保する。	20	21,203	18,690	18,690	2,513	更新計画実施率	100							A	継続	計画に基づき継続。
				21	54,175	51,849	51,849	2,326		100									
	22			24,769	22,831	22,831	1,938	100											
	23			37,467	35,529	35,529	1,938												
	町民課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
211403	防災無線維持管理	町民全体、町内全域に聞こえるようにする。	緊急放送をリアルタイムで告知できるシステムの構築。 (火災、自然災害、行方不明、交通網の乱れ等)	20	4,309	2,691	2,691	1,618	バッテリー交換		4	4	4	3	A	継続	機器の経年劣化に伴い、早急にデジタル化を検討しなくてはならない。 アナログの修繕や新規機器設置ができなくなっている。
				21	6,305	4,674	4,674	1,631		1							
	22			13,302	11,698	11,698	1,604	1									
	23			14,143	12,539	12,539	1,604	回									
	町民課																
211411	消防団運営	消防団員	消防団員の火災や災害の速やかな出動と、消火防災活動のできる体制をとる。 消防団組織の充実を図る。	20	7,008			7,008	団員組織率	96.5	4	4	4	4	A	継続	積極的な団員勧誘の実施、自治会と連携した団員確保を行うと共に、訓練の充実を図り消防人の育成と組織強化に努める。
				21	61,925	54,224	54,224	7,701	97								
	22			61,988	57,857	57,857	4,131	97									
	23			66,390	62,259	62,259	4,131	%									
	町民課																
施策	2-2安心に暮らせるまちづくり																
基本	2-2(1)①交通事故のない町をめざします																
221101	交通安全施設整備	町道の通行者	交通事故の発生を防止する	20	2,071	1,711	1,711	360	整備率	100	4	4	4	4	A	継続	交通事故の発生を防止するため、継続して取り組む。
				21	4,075	3,592	3,592	483		100							
	22			3,593	3,118	3,118	475	100									
	23			3,675	3,200	3,200	475	%									
	建設課																
基本	2-2(1)②安心して消費生活ができるまちをつくります																
221201	交通安全対策事業	町民	交通事故0、死亡事故0を目指す。 町民の交通ルールの遵守。	20	1,625	270	270	1,355	死亡事故	3	4	4	4	4	A	継続	交通安全の意識意識を高めるため、広報啓発を増やす。 警察との連携により、高齢者指導や道路の安全点検を実施する。
				21	1,410	872	872	538	1								
	22			2,527	1,224	1,224	1,303	0									
	23			2,501	1,198	1,198	1,303	人									
	町民課																
221203	交通災害共済事務	町民	相互扶助の精神のもと、交通事故による負傷時に見舞金の給付が受けられるように住民全員の加入とする。	20	2,909	553	553	2,356	加入者数	9114	4	4	4	4	A	継続	加入率の減少が見られるため、制度の周知と加入効果をPRすると共に、地域ぐるみの加入を促進するため自治会との連携を一層深める。
				21	2,590	537	537	2,053	8959								
	22			2,044	523	523	1,521	8713									
	23			2,061	540	540	1,521	人									
	町民課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				件	円	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源											
221205	消費者生活相談	消費者	消費生活相談により助言・あっせんを行い、消費者トラブルを解決へ導き、住民の財産を守る。消費者事故の被害を未然に防ぎ、住民の生命財産を守る。消費者啓発により消費者被害を防ぐ。多重債務者を救済し、自死を減らすとともに住民の担税力を回復する。	20	779		779	相談件数	51	救済金額	4	4	4	4	A	内容拡大	チラシ・広報・出前講座・ノベルティ配布により相談窓口の設置を住民に浸透させる。特に若年層への広報浸透に力を入れる。また、他機関との連携を密にし、多重債務者の掘り起しを図る。	
				21	4,965	3,311	12		1,654									52
	22			5,808	4,679	902	1,129	87	29175425									
	23			5,231	4,102	404	1,129	件	円									
	住民福祉課																	
221207	戦没者遺族等援護事業	戦没者遺族傷痍軍人(戦傷病者)等	軍人軍属等の公務上の負傷若しくは疾病又は死亡に関し、国家補償の精神に基づき、軍人軍属であった者又はこれらの者の遺族を援護することにより、その福祉の向上や生活の安定を図ります。	20	959		959	各給付金(弔慰金除く)請求率	100	恩給に関する相談件数	4	3	4	A	継続	対象者の高齢化が進む中で、相談・申請受付窓口として、今後もより一層の周知(個別案内)・請求指導の徹底を図り、事業を継続していく。		
				21	803		803		100									
	22			713		713	100											
	23			713		713	%	件										
	福祉課																	
221208	恒久平和祈念式典	戦没者の遺族町民	戦没者に追悼の誠を捧げるとともに、町民の平和意識の高揚を図る。	20	2,153	654	634	1,499	式典出席者数	300	平和祈念作文応募者数	4	4	4	A	継続	すでに一定の改善が見られている。	
				21	2,203	693	673	1,510		250								
	22			1,753	565	545	1,188	200										
	23			1,907	719	699	1,188	人	人									
	福祉課																	
221211	防犯事業	町民	犯罪0を目指す。	20	2,686	1,607	1,607	1,079	街頭犯罪・侵入犯罪の件数	35	4	4	4	A	継続	防犯体制の組織連携をする。		
				21	2,846	1,523	1,523	1,323		51								
	22			2,212	1,522	1,522	690	41										
	23			2,212	1,522	1,522	690	件										
	町民課																	
221213	自衛隊に関する事務	町民	自衛官人材の確保。	20	726	7	7	719	入隊人数	2	4	4	4	A	継続	自衛隊の内容や入隊意義を広く周知する。入隊後の情報提供、父兄会への協力を行い町の支援体制を高める。		
				21	607	3	3	604		0								
	22			597	3	3	594	2										
	23			597	3	3	594	人										
	町民課																	
221215	消費者団体支援	消費者団体	消費者としての認識を深め、消費者に対して地域のアドバイザーとして知識の普及を図る。	20	2,942	351	351	2,591	研修会の参加人数	40	4	4	3	A	継続	消費者としての認識を深め、消費者に対して地域のアドバイザーとして知識の普及をさらに会員から消費者へ発信するようにする。		
				21	2,777	204	204	2,573		50								
	22			2,702	195	195	2,507	50										
	23			2,702	195	195	2,507	人										
	町民課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
施策	2-3健康に生きるまちづくり																	
基本	2-3(1)①生涯にわたる生活習慣病予防の確立を進めます																	
231101	健康づくり推進協議会	委員 13名	行政のみではなく民間・住民も参加した健康づくりをすすめていく	20	1,227	28	28	1,199	健康づくり推進協議会協議件数	1	保健福祉医療等推進会議協議件数	1	4	4	4	A	継続	さらに構成団体等と連携をとり、健康増進計画・食育推進計画の推進を図る。平成24年度は、「健康増進計画・食育推進計画」の見直し年度。平成23年度は、見直しのための意向調査を実施する。
				21	1,579	69	69	1,510		2		1						
	22			1,524	38	38	1,486	2		1								
	健康課			23	1,963	89	89	1,874	件	件								
231103	食生活改善事業	町民(妊娠期～高齢期)	妊娠期から高齢期にいたるまで食の大切さを理解し、健康な体づくりをめざす	20	2,049	238	238	1,811	参加者数	1044	4	4	4	A	継続	管理栄養士の設置により、専門職(保健師、歯科衛生士)を中心とした事業計画、推進をさらにすすめていく。		
				21	1,778	145	145	1,633		1555								
	22			1,464	232	78	1,232	1268										
	健康課			23	1,457	225	75	1,232	人									
基本	2-3(1)②保健・医療・福祉・教育機関との機能的な連携により健康づくりを支えます																	
231201	愛の献血事業	町民(18歳から64歳までの方)	町内会長を通じて回覧、広報等で献血を依頼、また事業所への啓発を行い、会場を増やすことにより、協力者を増加させ安全性の高い血液製剤を供給する。	20	1,249	50	50	1,199	採血者数	331	4	4	4	A	継続	血液不足が続いているため事業継続し献血者数を増やしていく必要がある。若年層への献血の呼びかけ、協力の依頼ができる事業所の拡大など、啓発活動が必要である。		
				21	1,283	75	75	1,208		338								
	22			1,240	52	52	1,188	336										
	健康課			23	1,263	75	75	1,188	人									
231203	母子保健推進員活動	妊産婦、乳幼児期の育児者と乳幼児	委員が家庭を訪問し、地域の子どもたちを見守り地域交流を深めることにより育児の孤立を防ぐと共に行政とのパイプ役となり、母子保健の推進を図る。	20	2,578	480	480	2,098	研修会参加人数	34	訪問件数	94	4	4	4	A	継続	対象者である妊産婦・乳幼児とその保護者への声かけ訪問を通じ、行政との大切なパイプ役として活動していただくため、対象者へ母子保健推進員制度の大切さを周知していき、更なる制度の理解が得られるよう努めていく必要がある。
				21	3,474	454	454	3,020		38		63						
	22			1,807	440	440	1,367	64		52								
	健康課			23	1,906	539	539	1,367	人	件								
231204	母子保健事業	・新生児 乳幼児 ・妊産婦、乳幼児期の育児者 ・中学生	妊産婦、乳幼児の健康状態や育児状況を把握し、健診受診率を100%にする。命の大切さ、性について正しい知識をもち、自分の体を大切にし、両親への感謝の気持ちが持てる	20	8,981	2,505	2,505	6,476	受診率	100	参加人数	44	4	4	4	A	継続	新温泉町の子どもたちがすやかに成長するように、また、病気の早期発見早期治療や療育につながるように、関係機関・関係職種と連携を密にした育児支援体制の充実に努める。若年妊婦対策、性行為感染症(エイズ等)対策から見ても、思春期保健対策は重要な課題であるため、学校保健と連携をとりながら実施していく必要がある。
				21	9,690	1,958	1,958	7,732		98.4		30						
	22			5,994	2,009	2,009	3,985	98		24								
	健康課			23	5,969	1,984	1,984	3,985	%	人								

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
231206	予防接種事業	予防接種法に基づく対象児65歳以上の高齢者行政措置…5歳未満・中学生女子・高校生女子・高校1年2年女子	乳幼児が、児童生徒、高齢者が感染症に罹患しないよう人工免疫をつけ、感染の発生を防ぎ予防する。	20	20,831	16,635	16,635	4,196	乳幼児接種率	87	高齢者接種率	63	4	4	4	A	継続	公衆衛生水準の向上の為に、高い接種率を保持していくことが大切であり、当町は、一部集団接種で高接種率を保っているが、これを維持していくには、医師会・学校等、関係期間との協力連携が重要である。	
				21	24,793	20,263	20,263	4,530	88.9	58									
	22			33,270	27,922	26,236	5,348	90	60.8										
	23			39,843	34,495	24,938	5,348	%	%										
	健康課																		
231207	健康診査事業	20歳以上の町民	生活習慣病の予防と異常の早期発見を行い、生活習慣病などの疾病や介護を要する状態に陥ることをできる限り予防していく。	20	24,369	17,294	16,645	7,075	受診延人数	7058			4	4	4	A	継続	・国保特定健康診査を中心としての未受診者対策に併せて、がん検診も啓発していく。 未受診者への電話による受診勧奨を実施していくことの検討。(国保との調整) 平成23年度は、大腸がん検診節目年齢対象者へのクーポン券・健康手帳の配布による個別勧奨。肝炎ウイルス節目年齢個人負担無料化＝がん検診推進事業が新事業として、実施されることになった。各事業所等と連携をとり、受診率の向上に向けた取り組みをしていく。	
				21	26,017	17,077	16,898	8,940	6644										
	22			26,793	19,481	19,364	7,312	7639											
	23			29,123	21,811	21,643	7,312	人											
	健康課																		
231208	在宅寝たきり者訪問歯科指導事業	歯科医院に通院できない要介護3以上在宅の寝たきり者の内希望者を対象	経口摂取を長く保てるような在宅療養を支援することにより、心身の機能の低下を防ぐとともに、介護の軽減を促す。 需要者は少ないが、口腔機能を良くすることによりいきいきとしたせいかつが送れるようになる。	20	599			599	利用人数				4	4	4	A	継続	歯科受診ができない在宅療養者への歯科訪問指導は必要であり継続実施していく。在宅療養者の口腔への関心がまだまだ低いと、家族や在宅ケアスタッフ、ケアマネージャ等との連携を深め、啓発、指導していく必要がある。	
				21	661	57	604	2											
	22			619	25	594	3												
	23			50	50	50	人												
	健康課																		
231209	保健センター管理事業	浜坂保健センター	適正な維持管理	20	1,326	427	427	899	苦情件数	0	事故件数	0	4	3	3	4	A	継続	浜坂地域の健康づくり事業の会場として使用し活用を継続する。
				21	795	191	604	0											
	22			1,050	456	594	0												
	23			601	304	297	件	件											
	健康課																		
231213	診療所施設管理・運営	町民	町民の健康を守る。各診療所の円滑な運営を図る。	20	55,501	51,305	51,305	4,196	医科延べ患者数	3683	歯科延べ患者数	5432	3	4	4	A	継続	町の医療体制を守るためにも診療所機能は残すことは必要。	
				21	52,802	45,554	45,554	7,248	3226	5615									
	22			68,421	61,291	61,291	7,130	3396	5464										
	23			72,143	65,013	65,013	7,130	人	人										
	健康課																		
231214	国民健康保険事業特別会計繰出金	低所得者に対する保険料軽減分及び保険者支援分・出産育児一時金・財政安定化支援事業・その他運営に必要な経費	国民健康保険の安定的な運営を図る	20	82,245	81,646	26,578	599	歳入決算に係る繰入金金の割合	4.65			4	4	4	A	継続	年々増加する国保税の滞納額や国・県の財政支援が減少している現状では、被保険者に対して適正医療の受診指導や広報活動を充実していかなければならない。	
				21	79,590	78,986	26,291	604	4										
	22			74,336	73,742	21,047	594	4											
	23			69,974	69,380	16,685	594	%											
	健康課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		1人当たり 給付費 (一般)	1人当たり 給付費 (退職)	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源												
231215	国民健康保険給付事業	国民健康保険の被保険者(H22年度平均被保険者数4,710人) 一般4,329人退職381人	適正な給付に努める。あわせて保険指導等により医療費全体を抑えていく。	20	1,183,030	1,177,036	267,173	5,994	1人当たり給付費(一般)	238570	304713	4	4	4	A	継続	医療費の削減を図るためには、特定健診、保健指導の強化が必要。平成22年度は特定健診の個人負担分を無料とした。	
				21	1,243,611	1,236,363	330,849	7,248	254644	294928								
	22	1,044,973		1,037,843	582,718	7,130	254644	294928										
	23	1,027,676		1,020,546	565,421	7,130	円	円										
231216	国保運営協議会に関する業務	新温泉町国民健康保険運営協議会委員	国民健康保険加入者と保険者である町との利害関係を調整し、円滑な事業の遂行を図る。	20	2,805	108	108	2,697	協議、諮問件数	8		4	4	4	A	継続	必要開催回数を4回とし、諮問・報告・協議を行って行く。	
				21	2,225	111	111	2,114	8									
	22			2,180	100	100	2,080	9										
	23			2,215	135	135	2,080	回										
231217	国民健康保険資格管理事業	国民健康保険の被保険者	療養費等の費用負担の適正化を図る為、申請行為を適正に処理して行く。	20	10,208	5,413	4,629	4,795	不当利得(一般・退職)	36	222	4	3	4	A	継続	今後も適正処理を行うため、職員で研修会を開催するなど制度を習得することが必要。	
				21	11,506	4,560	4,263	6,946	59	564								
	22			13,038	6,205	6,205	6,833	59	564									
	23			11,247	4,414	4,414	6,833	件	千円									
231220	保健福祉センターすこやか～に管理運営	町民	健康と福祉の拠点施設として高齢者から乳幼児まで利用しやすい施設環境づくり。施設の維持管理経費の削減と健康福祉のための利用促進。	20	12,067	7,569	7,569	4,498	利用件数	827	13898	4	4	4	4	A	継続	健康福祉の拠点として利用しやすい環境づくりのため、各種相談や事業の内容の充実をはかり、町民の安心と安全の拠点となるようにする。また土・日曜日の利用について、町民センターの利用を促し、光熱水費等の削減を図る。
				21	12,578	7,943	7,943	4,635	862	18445								
	22			12,788	7,507	5,512	5,281	855	16218									
	23			12,781	7,500	5,592	5,281	件	人									
231221	福祉医療協力費	美方郡医師会 美方郡歯科医師会 老人、障害者、乳幼児、母子家庭対象者	老人、障害者、乳幼児、母子家庭等に係る福祉医療費支給制度の円滑な実施を図る	20	2,040	1,860	1,860	180	現物件数	17471		3	B	事業のやり方改善	近隣市町の実態から単価引下げの検討をする必要がある。(H17調査時点:豊岡市3円/件、香住町3円/件、美方郡内5.5円/件、養父市0円/件、朝来市4円/件、丹波市0円/件、篠山市0円/件)⇒現在当町5円/件(20年度～)			
				21	2,221	2,040	2,040	181	31717									
	22			2,218	2,040	2,040	178	35144										
	23			2,098	1,920	1,920	178	件										
231228	歯科保健事業	町民(妊婦・乳幼児～高齢者)	『8020運動』=80歳で20本の歯を残す	20	2,174	1,184	1,184	990	3歳児う歯罹患率	35.5		4	4	4	A	継続	乳幼児期は食育と歯科の関係が必要不可欠であり、生活習慣病予防の観点からも同時に予防事業をすすめていく。保護者に対して具体的な科学的根拠に基づく相談啓発が必要である。ハイリスク児への対応についても検討が必要である。また、元気な高齢者へ、お口の健康から寝たきりの予防の普及啓発していく。摂食咀嚼嚥下対策については、町内の地域ケア関係者、施設関係者に資質向上を図るため、歯科医師と連携し、研修会等を実施していく。	
				21	3,876	1,158	1,158	2,718	45.2									
	22			3,988	1,017	1,017	2,971	26.6										
	23			1,988	1,097	1,097	891	%										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…「NO欄」を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段：一次評価、下段：二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
231232	畜犬登録、狂犬病予防	犬の飼養者	飼犬の登録と予防注射の実施により、狂犬病の発生を防ぐ。	20	3,067	94	94	2,973	注射実施率	82.8					C	事業のやり方改善	予防注射実施率が100%となっていないので、獣医師会と連携を図り、未接種犬の飼養者に対し予防注射の必要性を呼び掛ける。		
				21	1,978	88	88	1,890		81									
				22	2,091	80	80	2,011		85									
	町民課	23	2,112	101	101	2,011	%												
231234	健康教育事業	町民	生活習慣病を予防し、健康を増進するため、健康に関する正しい知識を深め「自分の健康は自分で守る」という認識を高め、壮年期からの健康の保持増進に役立てる。	20	2,480	200	200	2,280	参加延人数	524					A	継続	1.「健康増進計画・食育推進計画」「特定健康診査等実施計画」による生活習慣病予防のためのハイリスクアプローチ及びビジュアルアクションアプローチを実施する。 2. 自殺対策において、自殺対策強化基金補助事業、県モデル事業を実施することによる「こころのちを支える地域づくり」の推進を図る。		
				21	3,551	469	156	3,082		1409									
				22	3,113	371	124	2,742		2327									
	健康課	23	3,142	400	134	2,742	人												
231235	健康相談事業	町民(40歳以上の者)	心身の健康に関した個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立てる。	20	2,982	103	55	2,879	指導延数	329					A	継続	①生活習慣病予防のための意識付けは、なかなか困難であるが、国保・医療等との連携により、意識付けをしていくことが課題。②住民が来庁した場合、各課の窓口から保健師の窓口相談に繋げる横断的な体制づくりも必要である。(行政職員のスキルアップ) ③相談に繋げる啓発をすすめる。社会教育が実施する8月6日 自殺対策をテーマにした講演会を開催。参加者を対象に相談啓発のティッシュを配布。7月には、相談窓口入りの保存版クリアファイルとうつ予防の啓発リーフレットを全戸配布する。		
				21	4,503	213	92	4,290		3209									
				22	3,558	222	109	3,336		1224									
	健康課	23	4,504	1,168	1,055	3,336	人												
231237	訪問指導事業	妊婦、産婦、新生児、乳児、幼児、障害児、成人、老人、精神保健福祉、障害者、難病患者	個人が生活している家庭に訪問し、個人及び家族に家庭環境、生活状況に配慮した健康づくりの支援を行う。	20	5,188	93	93	5,095	指導人数	502					A	継続	地域に出かけていくことで、個人、家族への保健指導にもつながっていく。		
				21	5,874	136	136	5,738		765									
				22	2,878	145	145	2,733		614									
	健康課	23	150	150	150		人												
231239	公立病院薬品等購入事務	入院・外来患者	必要量を適正価格で購入し、薬品等により治療を提供する。	20	121,198	117,602	117,602	3,596	患者1人当り材料費	2126	材料比率	17.15	4	4	4	4	A	継続	常勤医師が減少する状況下で病院経営は厳しいが、コストを重視した適正な物品購入を実施していく。次年度以降は契約期間を6ヶ月とした年2回の見積とする。ただし、薬価改定がある年度については、薬品製造会社と薬品卸会社(見積業者)との間で仕入価格についての調整が必要であることを考慮し、契約期間を3ヶ月・3ヶ月・6ヶ月とした年3回の見積とする。
				21	105,996	103,580	103,580	2,416		2137		19							
				22	112,514	110,137	110,137	2,377		2197		18							
	浜坂病院	23	136,468	134,091	134,091	2,377	円	%											
231240	公立病院施設管理	病院建物、設備、備品、駐車場、医師住宅など有形固定資産	安全を保ち、機能を維持することにより、適正な医療が円滑に提供できる施設・療養環境とする。	20	12,053	9,655	9,655	2,398	事故による医療現場の支障発生件数						A	継続	自ら施工できることは、全て院内で実施するという基本方針のもとで、維持修繕費を抑制しながら施設管理を行なう。		
				21	42,182	40,370	38,690	1,812		0									
				22	16,458	14,675	14,675	1,783		0									
	浜坂病院	23	24,669	22,886	22,886	1,783	件												

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円			収入の適正処理件数	支出の適正処理件数	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						事業費	一般財源											人件費		
231241	公立病院会計経理	病院事業の全ての取引、財産(資産、負債、資本)	取引の都度、複式簿記により記帳し、期間の経営成績、期末の財産状況を明らかにし、経営の全容を数値的に掌握する。現金預金等の出納、資金計画、資金・財産の適正管理を行う。	20			10,789	100	100						4	A	継続	引き続き、適正かつ円滑に事務処理を進めていく。		
				21			8,456	100	100											
	22			8,556		8,556	100	100												
	23			6,833		6,833	%	%												
	浜坂病院																			
231242	公立病院医療事務	病院利用者	医療保険制度に基づいて、適正な医療費を請求する。診療報酬の保険者の査定による減額発生率を、同床数病院の平均値である0.3%以下を目指す。	20	25,567	5,632	5,632	19,935	入院査定通過率(査定減発生率)	99.87	外来査定通過率(査定減発生率)	99.87					4	A	継続	本年度同様、査定減発生率を最小限に押さえながら、適正な医療の提供ができるよう診療報酬の面からメディカルスタッフと協力していく。
				21	24,486	3,316	3,316	21,170	99.8	99.8										
	22			24,320	3,316	3,316	21,004	100	100											
	23			22,828	3,316	3,316	21,004	%	%											
	浜坂病院																			
231243	公立病院総務(庶務・人事)	職員	医療供給体制(組織・人事・施設)を管理し、業務運営を総合調整する。	20	11,988		11,988	給与適正処理件数	100	共済組合事務処理件数	100				3	A	継続	常勤医の確保を公募等により進める。一方で現在の体制でより良い病院となる方策を院内の各委員会で討議し実施する。		
				21	11,476		11,476	100	100											
	22			11,527		11,527	100	100												
	23			11,289		11,289	%	%												
	浜坂病院																			
231244	介護老人保健施設総務(庶務・人事)	職員	介護体制(組織・人事・施設)を管理し、業務運営を総合調整する。	20	3,596		3,596	給与適正処理割合	100	統計調査適正処理割合	100			4	A	継続	臨時職員やパートの職員が増加傾向にあるため、適正な賃金計算及び迅速な処理が必要である。			
				21	2,416		2,416	100	100											
	22			2,377		2,377	100	100												
	23			2,377		2,377	%	%												
	介護老人保健施設ささゆり																			
231245	介護老人保健施設会計経理	病院事業の全ての取引、財産(資産、負債、資本)	取引の都度、複式簿記により記帳し、期間の経営成績、期末の財産状況を明らかにし、経営の全容を数値的に掌握する。現金預金等の出納、資金計画、資金・財産の適正な管理を行う。	20	4,795		4,795	収入更正件数	3	支出更正件数	1			4	A	継続	支払の滞りがないよう迅速な支出を行っていく。収入金額を適切に把握する。			
				21	2,416		2,416	1	0											
	22			2,377		2,377	0	0												
	23			2,377		2,377	件	件												
	介護老人保健施設ささゆり																			
231246	介護老人保健施設施設管理	建物 3057㎡ 公用車 3台	安全を保ち、機能を維持することにより、適正な介護が円滑に提供できる施設・療養環境とする。	20	19,699	18,500	18,500	1,199	故障による医療現場の支障発生件数	0	事故発生件数	1		4	A	継続	設備部分で老朽化が激しく年々修繕にコストがかかっている。大規模な改修が必要と考える。送迎については、軽自動車リースを計画している。			
				21	21,020	18,000	18,000	3,020	0	0										
	22			18,471	15,500	15,500	2,971	1	4											
	23			4,571	1,600	1,600	2,971	件	件											
	介護老人保健施設ささゆり																			

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
231247	介護老人保健施設契約業務	契約	契約どおり業務が履行され、施設の運営がスムーズに行なえるとともに、施設の維持管理を行い施設の延命化を図る。	20	18,758	17,559	17,559	1,199	契約不履行件数	0	賃貸借契約内容の見直しによるコスト削減額	400710	4	A	継続	引き続き、入札・契約等の公平性・透明性並びに競争性の確保及びコスト削減を図るとともに、指名業者の見直しを図るなど町内業者にとらわれず広域的な視点を持って入札を行う必要がある。			
				21	16,981	16,377	16,377	604		0	1182000								
	22			19,094	18,500	18,500	594	0		-193000									
	23			18,894	18,300	18,300	594	件	円										
231248	介護老人保健施設保険請求事務	施設利用者	サービスの対価としての介護報酬を適正に請求し、受領する。	20	2,997			2,997	適正請求件数	30934			4	4	4	4	A	継続	介護報酬の改定に備え、新システムの構築を検討する必要がある。
				21	1,812			1,812		31201									
	22			1,783			1,783	30624											
	23			1,783			1,783	件											
231249	介護老人保健施設サービス計画	施設利用者	在宅復帰率を高める	20	1,198			1,198	在宅復帰率	13			4	4	4	4	A	継続	通所利用者が減少傾向にあるため、新規開拓を行っていく必要がある。
				21	1,812			1,812		13									
	22			1,783			1,783	13											
	23			1,783			1,783	%											
231250	妊婦健康診査費助成事業	妊婦	子育て支援として妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎える	20	3,879	3,280	1,645	599	助成率	100			4	4	4	3	A	継続	受診回数は14回まで、助成額の限度額を8万円までとし、適正な受診をすることで安心して出産が迎えられるようにする。
				21	4,785	4,181	2,039	604		100									
	22			7,576	6,388	4,590	1,188	100											
	23			9,188	8,000	6,650	1,188	%											
231251	国民健康保険特定健診・特定保健指導事業	40歳～74歳の国民健康保険被保険者	生活習慣病の予防と健康状態の異常の早期発見を行い、疾病の重症化や介護を要する状態に陥ることを予防する。平成24年度における特定健康診査の受診率を65%まで引き上げる。	20	6,812	5,613	1,829	1,199	受診者数	1222	受診率	36.45	4	2	3	B	事業のやり方改善	平成23年度より骨粗しょう症健診の同時実施及びがん検診推進事業(節目年齢の方を対象とした大腸がん検診・肝炎ウイルス健診の受診費用の無料化)の実施を行う。	
				21	7,980	6,772	1,828	1,208		1154	34								
	22			7,721	6,533	2,507	1,188	1272		38									
	23			9,277	8,089	4,063	1,188	人	%										
231252	後期高齢者医療保険事業	後期高齢者医療制度に加入される方	新制度の主旨や内容の周知を図り、保険料の収納率の向上を目指し、後期高齢者医療制度の充実、定着を図る。	20	178,250	171,357	171,357	6,893	保険料収納率	99.58			4	4	4	A	継続	現在の制度を継続する。	
				21	186,091	179,145	179,145	6,946		99.46									
	22			188,912	181,485	181,485	7,427	99.2											
	23			197,480	190,053	190,053	7,427	%											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必須性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
施策	2-4安心して子育てができ、高齢者や障害者等が暮らせるまちづくり																		
基本	2-4(1)①地域福祉の充実に努めます																		
241101	民生委員児童委員協議会運営事業	新温泉町民生委員児童委員協議会(委員数53名)	民生委員法に基づき、民生委員児童委員相互の連携調整機関として、委員活動を促進し地域福祉の向上を図る。	20	8,212	4,675	1,579	3,537	活動日数	7933	相談件数	1364	4	4	4	4	A	継続	継続して民生委員児童委員協議会の運営費を助成します。
				21	8,601	4,675	1,579	3,926		7551		1284							
				22	7,527	4,675	1,579	2,852		8074		1454							
	福祉課						日	件											
241102	社会福祉協議会補助事業	社会福祉協議会の専門員の人員費相当を助成します。	社会福祉協議会の能率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図ります。	20	14,778	14,179	14,179	599	社協登録団体ボランティア	30	社協登録個人ボランティア	62	4	4	4	4	A	継続	平成21年度から県補助要綱は「1町・1社協」が補助対象となったので、町としても新温泉町社会福祉協議会(本部)の専門員を助成対象として見直しを検討する。
				21	15,052	14,146	14,146	906		30		73							
				22	15,037	14,146	14,146	891		30		73							
	福祉課						団体	人											
241104	生活保護関係事務	自力で生活できない困窮世帯	最低限度の生活(生活費等)を保障します。	20					保護決定		保護廃止		4	4	4	4	A	継続	今後も継続して実施機関の福祉事務所と連携して相談、支給業務を行う。
				21	1,752			1,752		7		10							
				22	1,723			1,723		10		10							
	福祉課						世帯	世帯											
241105	日本赤十字社事務	全世帯に日本赤十字社の「社員加入」を促進します。	赤十字の活動を推進します。(災害救護・地域福祉・ボランティア育成など)	20					達成率				4	4	4	4	A	継続	今後も継続し、毎年5月「日本赤十字社員増強運動月間」にあわせ、区長・町内会長を通じて社資募集の協力依頼を行う。
				21	967			967		88									
				22	654			654		92									
	福祉課						%	%											
基本	2-4(1)②仕事と子育ての両立支援に努めます																		
241201	認定こども園運営事業	・幼児教育を希望する就学前の幼児 ・保育に欠ける就学前までの幼児 ・入園児の保護者	充実した就学前教育を受けることができる。 保育中児童がけがや事故に遭うことなく安全に過ごす。児童が楽しく過ごし、集団の中でルールを学ぶことができる。保護者が園の職員を信頼し安心して預けることができる。	20	179,684	176,687	145,550	2,997	入園率		一時保育利用率	100	4	4	4	A	継続	保護者アンケートの実施、職員研修の充実、認定こども園運営委員会の開催(運営内容の検討)などにより保護者の多様なニーズへの対応と充実した就学前教育、安全な保育を提供する。	
				21	219,205	212,561	176,754	6,644		100		100							
				22	227,760	225,977	180,963	1,783		100		100							
	福祉課						%	%											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241202	ふれあいセンター運営事業	・幼児教育を希望する就学前の幼児 ・保育に欠ける就学前までの幼児と保護者 ・ライフステー	幼保一体化施設の特性を生かし、幼児教育と保育並びに子育て支援機能がより一体的に機能することにより、園児は心豊かでたくましく生きる力の育成が図られる。また、子育て支援センターでは、子育て中の親と子が共に育ち育てられる支援機能の更なる実践と充実を図り、地域における連携の輪を広げる。	20	225,527	60,087	32,226	165,440	100	子育て支援センター利用者数	7077	4	4	4	A	継続	実施計画に基づく基本事業の「仕事と子育ての両立支援」に対応すべく、職員の意識改革をさらに推し進め、質の高い保育並びに幼児教育を目指す。職員の資質向上のため、更なる研修を進める。
				21	175,358	61,124	32,507	114,234	100		5345						
	22			167,749	65,054	40,355	102,695	100	5000								
	23			176,223	75,823	40,979	100,400	%	人								
241203	私立保育園児童委託扶助	私立保育所	国で定められた保育単価で入所児童数、年齢に応じた適正な運営を支援する。	20	50,396	49,737	16,956	659	107	対象幼児数に対する入所率	71	4	4	4	A	継続	需要に十分対応可能となるよう、園の体制を整え、保護者や地域住民の理解、信頼を保てる施設として運営されるよう町からの指導助言、財政的援助を継続して実施する。
				21	46,850	46,246	18,136	604	124		78						
	22			56,687	55,974	20,843	713	140	88								
	23			47,895	47,182	17,304	713	%	%								
241204	子育て支援センター運営事業	特に就学前児童(未就園)を持つ保護者を対象とする。	センターに集うことで、就学前児童(未就園)を持つ保護者同士の交流や、職員に相談することで、子育てに関する悩みや、ストレスを解消する。	20	11,122	10,763	5,773	359	8459	参加人数		4	4	4	A	継続	継続性を持って、育児者を丁寧に育てていくことで、支援の輪を広げていき、支援体制を充実する。
				21	12,851	5,905	915	6,946	9857								
	22			6,897	5,946	1,316	951	14311									
	23			7,653	6,702	3,002	951	人									
241205	放課後児童健全育成事業	保護者等が労働等により、昼間家庭にいない小学校の児童	適切な遊びや生活の場を与えて、健全な育成を図る	20	4,389	3,130	1,987	1,259	1079	のべ利用者数		4	4	4	A	内容拡大	23年度より障がい児の受入れを開始する。また、温泉小学校区にも開設を検討しており、現在設置場所を思案中である。場所の確保ができれば、開設へ向けて進めていく。
				21	7,873	3,029	1,850	4,844	1183								
	22			8,479	3,524	1,694	4,955	1353									
	23			12,567	5,788	2,839	6,779	人									
241206	児童手当支給事務事業	小学校修了前までの児童を養育している者	所得階層の低い者が多い若年層の保護者(受給者)の負担を軽減する。	20	123,418	119,641	31,463	3,777	828	受給者数		4	4	4	D	終了	23年度の9月末まで、22年度と同様に「子ども手当」として支給されるが、10月以降どのようなかは、国会で現在協議中のため、現在のところ見通しがたっていない。
				21	114,488	113,340	31,097	1,148	790								
	22			19,449	19,330	5,417	119	793									
	23				0		0	人									
241207	児童扶養手当	父又は母のいない家庭や父又は母が極めて障害の状態にある家庭の児童(18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者又は20歳未満で心身に障害のある者)を監護している父母等。	所得水準の低い者が多い母子(父子)世帯の保護者(受給者)の負担を軽減し、自立を促進する。	20	747	28	28	719	92	受給権者数		4	4	3	A	継続	現況届が未提出となっている受給者への催促、またその他各種手続で、漏れ、不備等が無いよう受給者へ連絡を取りながら、受給者が確実に手当を受け取れるよう努めていく。
				21	1,110	23	23	1,087	100								
	22			914	23	23	891	106									
	23			917	26	26	891	人									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241208	特別児童扶養手当	身体または精神に障害のある児童を監護する父等。	対象児童を養育する保護者に金銭的な支援を行うことで、負担軽減を図る。	20	704	45	1	659	受給者数	29		4	4	3	A	継続	本制度は障がいを持つ児童を養育する保護者へ経済的、精神的負担の軽減を図る重要な役割を担っている。以前と比べ障害を持つ子どもの数が増加傾向にあり、子どもを養育する親の負担が重くなっている家庭が増加していることから、制度を維持していくことは必須といえる。
	21			1,134	47	1	1,087	33									
	22			998	48	△1	950	33									
	23			935	44		891	人									
241212	乳幼児医療扶助費支給事業	0歳から9歳に到達した最初の3月31日を経過していない乳児・幼児等	乳幼児等に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ります	20	32,297	29,719	19,403	2,578	受給件数	21973	医療費助成額	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
	21			32,923	30,205	21,682	2,718	24776		27892							
	22			32,020	29,346	22,107	2,674	24077		28822							
	23			31,336	28,662	21,093	2,674	件	千円	27984							
241213	母子家庭医療扶助費支給事業	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子又は遺児	母子家庭の母と子又は遺児に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	20	6,706	3,888	1,613	2,818	医療費助成額	1176	受給件数	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
	21			4,518	1,498	△782	3,020	1498		125							
	22			6,772	3,801	3,801	2,971	1171		120							
	23			5,499	2,528	2,528	2,971	千円	件	125							
241214	次世代育成支援行動計画策定委員会運営事業	策定委員	策定委員会によって、次世代対策について十分な検討がされ、効果的な計画がたてられる。また、年次ごとの進捗管理がされる。	20	695	36	36	659	審議件数	1		4	4	4	A	継続	策定委員会を開催し、素案を審議し、後期計画として承認を受ける。
	21			302	0		302	0									
	22			619	25	25	594	1									
	23			638	44	44	594	件									
241215	保育料多子軽減事業	18歳未満の第3番目以降の幼児が保育所を利用している世帯	対象世帯に対し、適正に補助金が交付される。	20	1,334	1,034		300	給付率	100		4	4	4	A	継続	県補助事業継続のため、町においても継続実施する。
	21			1,819	1,215		604	100									
	22			1,666	1,072		594	100									
	23			1,934	1,340		594	%									
241217	子ども手当支給事業	中学校修了前までの児童を養育している者	所得階層の低い者が多い若年層の保護者(受給者)の負担を軽減する。	20					受給者数	0		4	4	4	A	継続	現在国会で新制度の創設へ向けて協議中のため、現時点では見通しが立たない。
	21							0									
	22			233,555	230,347	29,338	3,208	975									
	23			288,396	285,188	56,188	3,208	人									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241218	こども医療費助成事業	9歳に達する翌日以後の最初の4月1日から、15歳に達する日以後の最初の3月31日を経過していないこども	こどもに係る入院医療費の助成をすることにより、こどもの福祉の増進を図ることを目的とする	20					受給件数	医療費助成額	4	4	4	4	A	継続	平成23年度は制度事業拡大もあるためより制度の周知を図っていく	
				21														
	22	1,414	523	333	891	9	523											
	23	2,660	1,769	1,769	891	件	千円											
健康課																		
基本	2-4(1)③高齢者等が安心して暮らせるように支援します																	
241301	外出支援サービス事業	高齢者(要介護者)	社会的に移送手段を確保することにより在宅生活を支援する。	20	2,794	1,295	1,087	1,499	利用者延人数	297		4	4	4	3	A	継続	事業の周知を図り継続して事業実施する。
				21	2,683	1,173	961	1,510		301								
	22	2,797	1,431	1,150	1,366	398												
	23	3,002	1,636	1,406	1,366	人												
福祉課																		
241302	軽度生活援助事業	一人暮らし高齢者等(要介護者)	生活援助を必要とするひとり暮らし高齢者等にホームヘルパーを派遣し在宅生活を支援します。	20	686	626	566	60	利用者延人数	301		4	4	3	4	A	継続	介護保険制度を優先し、介護保険対象外の者、介護認定で非該当となった者、また、介護保険認定申請から決定までの期間にホームヘルパーを派遣する。介護保険利用対象者以外の一人暮らし高齢者等の支援策として、各介護予防事業や広報等でPRを行う。PR後も利用者数が増加していかないときは、目標数値を見直す。
				21	895	593	536	302		285								
	22	989	395	357	594	190												
	23	1,176	874	790	302	人												
地域包括支援センター																		
241303	緊急通報システム事業	高齢者(要介護者)	急病や事故などの緊急事態になった時、近隣協力員等の協力を得て、いち早く助けられる体制を作り、生活の安全を確保します。	20	8,488	7,589	7,589	899	活動件数	2		4	4	4	3	A	継続	古い機種を新しい機種へと更新していく。
				21	8,646	7,740	7,740	906		11								
	22	8,109	7,574	7,574	535	11												
	23	8,406	7,871	7,871	535	件												
福祉課																		
241304	高齢者生きがい活動支援通所事業	比較的元気な60歳以上	通所の方法により施設において、各種のサービスを提供することにより、高齢者の介護予防、健康増進を図ります。	20	8,405	8,105	4,010	300	利用者数	3413		4	4	3	3	B	事業のやり方改善	多くの高齢者に利用していただき、高齢者の自立支援につなげる。社協委託事業については、H23年度から温泉地域、浜坂地域両方とももみじホールで実施する。(以前は、もみじホール、とユートピア浜坂で実施していた。)
				21	7,809	7,265	3,605	544		3050								
	22	7,452	6,739	3,336	713	2836												
	23	9,123	8,410	4,150	713	人												
地域包括支援センター																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
241305	高齢者生活福祉センター運営事業	高齢者(60歳以上の要援護者)	介護支援機能、居住機能、交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援します。	20	8,171	7,392	6,873	779	入居率	48		4	4	4	4	A	継続	今後も継続して入所者の増員に向けて、居宅事業所のケアマネ、民生委員等に引き続き周知する。
				21	8,276	7,430	6,809	846		55								
				22	7,994	7,519	6,614	475		65								
	福祉課						%											
241306	長寿・敬老祝福事業	満88歳・地区・地域	高齢者の長寿及び敬老を祝福するとともに、町民の敬老思想の高揚を図ります。	20	3,134	2,235	2,235	899	祝品受給率	100	地域敬老会開催地区数	4	4	4	4	A	継続	地域が開催する地域敬老会開催事業支援を実施してきたが、全地区が実施できるよう、周知を図っていく。
				21	3,202	2,598	2,598	604		100								
				22	3,099	2,564	2,564	535		100								
	福祉課						%		件									
241307	百寿祝品支給事業	百寿者(満年齢100歳に達した者で、本町に住所を有し、引き続き10年以上居住している者)	町民の敬老思想の高揚を図ります。満100歳の誕生日に対象者を訪問し、記念品(額)を贈呈し、その長寿を祝福する。	20	881	282	282	599	被贈呈率	100		4	4	4	4	A	継続	このまま事業継続する。
				21	1,037	252	252	785		100								
				22	686	329	329	357		83								
	福祉課						%											
241308	金婚夫婦祝福事業	金婚夫婦	結婚50年を迎えられた夫婦の長寿と家庭の繁栄を祝福し、これを機に、より一層健康を保ち、健やかに過ごしていくこと。	20	445	145	145	300	参加率	100	配付率	3	4	4	4	A	継続	夫婦を迎えられた長寿を祝う場として、他の機会がないため現状では必要だが、今後見直しの必要がある。
				21	278	97	97	181		100								
				22	226	77	77	149		100								
	福祉課						%		%									
241309	老人クラブ助成事業	単位すこやかクラブ・新温泉町すこやかクラブ連合会	高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、老後の生活を豊かなものとする。	20	7,282	6,383	2,862	899	加入率	48.6		3	4	3	4	A	継続	活動経費を支援することで、クラブ活動での高齢者の健康増進につなげていただくため継続実施していく。
				21	7,184	6,399	2,849	785		46								
				22	6,988	6,453	2,866	535		44								
	福祉課						%											
241310	高齢者等住宅改造助成事業	①介護保険の認定を受けた者 ②身体障害者手帳1級又は2級の者 ③療育手帳「A」判定の者	低所得の高齢者・障害者等の世帯の住宅改造に要する経費を助成して、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送れることができる住宅環境を整備します。	20	2,181	1,761	881	420	改造費助成件数	3		4	4	3	3	B	内容縮小	類似事業があり平成23年度より相談・申請窓口(係)を一元化し継続して実施する。(介護保険係)
				21	437	135	68	302		1								
				22	59	0		59		0								
	福祉課						件											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241311	高齢者いきがい施設運営事業(ユートピア浜坂)	高齢者をはじめとした町民、交流人	高齢者の心身の健康増進並びに相互の交流促進、世代間及び地域間の交流促進。利用者がゆつくりくつろげる施設。生きがい活動支援。	20	33,590	18,236	△ 2,940	15,354	利用者数	81837	4	4	3	4	A	継続	改革・改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①魅力ある施設づくり(サウナ風呂やカラオケルームの新設検討、施設の内装・外構改修) ②施設の有効利用(機能回復室や研修室の利用増、健康器具設置検討、使用料見直し検討) ③運営形態の検討
				21	50,519	35,147	△ 908	15,372	78289								
	22	50,161	34,327	16,362	15,834	73144											
	23	42,329	26,495	26,495	15,834	人											
241312	無年金外国籍高齢者等福祉給付金支給事業	国民年金制度上、国籍要件があったために国民年金の受給資格を得ることができなかった在日外国籍高齢者	制度上の要件により公的援助が受けられなかった方に給付金を支給することにより、地域生活への支援を行う。	20	468	348	174	120	支給人数	1	4	4	4	4	A	継続	引き続き事業実施していく必要があり、支給単価は県の基準に準じていく。
				21	493	372	184	121	1								
	22	520	401	199	119	1											
	23	525	406	204	119	人											
241313	国民年金事務	国民年金被保険者(20歳～60歳)、請求者(老齢65歳、障害20歳以上)	国民年金に関する届出について適切な処理を行う。年金制度に対する理解を深め、年金に関する諸手続きについて周知を図る。	20	5,323	528		4,795	免除保険者数	444	4	4	4	4	A	継続	引き続き、広報を積極的に行い、年金制度の周知と適切な事務処理に努める。
				21	5,461	629		4,832	433								
	22	5,429	676		4,753	420											
	23	5,538	785		4,753	人											
241315	農業者年金受託事業	加入対象者(農業者)	農業者の老齢について必要な年金等の給付事業を行うことにより、国民年金の給付と相まって農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業者の確保に資することを目的とする。	20	959			959	新制度加入者数	13	4	4	4	4	A	継続	本町は農業者年金加入数値目標をすでに達成しているが、さらに加入者の上乗せを目指す。今後においても毎年説明会の開催、町広報「農業委員会だより」を活用し、年金の加入推進並びに適正事務に努める。
				21	1,027			1,027	12								
	22	951			951	13											
	23	951			951	人											
241331	家族介護手当事業	在宅の要介護4以上相当で、市町村民税非課税世帯の高齢者を現に介護している家族(介護者)	高齢者等を介護している家族の精神的・経済的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	20	180	120	47	60	支給者数	1	4	4	4	4	A	継続	県の事業実施状況に合わせ事業の見直しを行う。
				21	180	120	47	60	1								
	22	179	120	47	59	1											
	23	419	360	142	59	人											
241332	介護用品の支給	在宅の要介護4以上相当で、市町村民税非課税世帯の高齢者を現に介護している家族(介護者)	高齢者等を介護している家族の経済的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	20	306	246	100	60	支給者数	6	4	4	4	4	A	継続	上限額(75,000円)の見直しなど検討をする。*類似事業…「紙おむつ給付事業」3,000円相当分(社協事業)
				21	285	225	90	60	3								
	22	354	295	118	59	9											
	23	659	600	240	59	人											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241333	家族介護者交流事業	介護者	高齢者等を介護している家族の身体的・精神的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	20	310	250	98	60	参加延べ人数	91		4	4	4	4	A	継続	今後の継続して事業実施し、委託料等の見直しなど検討する。
				21	310	250	98	60		88								
	22			309	250	98	59	104										
	23			309	250	98	59											
	福祉課							人										
241334	二次予防事業	介護認定うけていない65歳以上の高齢者に生活機能評価25項目を実施し、スクリーニングにより対象者を抽出。	要介護状態になることを予防する。	20					実施率	12	14	4	4	4	A	継続	介護予防は若い時から、身近な地域で健康づくりに取り組める環境づくり、地域づくりに取り組むことが必要であり、地域の状況に合わせた事業の展開をして行く為にも虚弱高齢者の参加に努めていく。プログラムの内容も検討して効果的に進める。	
				21	5,623	2,724	2,724	2,899		24	23							
	22			7,358	2,751	2,751	4,607	24		34								
	23			6,815	2,208	2,208	4,607											
	地域包括支援センター							回										
241335	一次予防事業	介護認定者以外の地域の高齢者	要介護状態の発生を出来る限り防ぎ、地域で安心して高齢者が生活出来るよう支援する。	20					健康づくりのつどい参加者	3380		4	4	4	A	継続	身近な地域で健康づくりに取り組める環境づくり、地域づくりが必要。地区評価を行い自主的に集まっている所については計画していただくかたちで入る等地域に合わせた、地域づくり、健康づくりに取り組んでいく。リーダー育成の為のボランティア育成や継続して健康活動に取り組める支援、定期的に体を動かす機会の確保をしていく。地域によればリーダーが不在の地区があり、地区活動が衰退しているため、重点的に社会福祉協議会とタイアップして重点地区として入っていく必要がある。介護予防のリーダーづくりを今後も続けて実施していく。	
				21	4,975	1,472	1,472	3,503		2318	178							
	22			4,381	1,351	1,351	3,030	1989		132								
	23			4,654	1,624	1,624	3,030											
	地域包括支援センター							人										
241336	高齢者福祉タクシー助成事業	75歳以上の独居世帯	移動手段を確保することが困難な高齢者に対しタクシー代の一部を助成し支援する。	20					利用率			4	4	3	4	A	内容拡大	平成23年度は75歳以上のみの高齢者世帯等に対象世帯を拡大して実施する。
				21														
	22			1,259	1,021	1,021	238	38										
	23			10,896	10,658	10,658	238											
	福祉課							%										
基本	2-4(1)④介護サービスで高齢者が自立できるよう支援します																	
241401	第1号被保険者介護保険料賦課徴収事業	65歳以上の高齢者	町介護保険条例に基づき、所得段階に応じて保険料の賦課徴収を行う。	20	5,409	54	54	5,355	特別徴収徴収率	100	普通徴収徴収率	94.8	4	3	4	A	継続	滞納者について、納期到来後早い時期に臨戸訪問をし、制度の説明等を行い徴収に当る。
				21	5,422	46	46	5,376		100		94						
	22			5,357	69	69	5,288	100		93								
	23			5,403	115	115	5,288	%		%								
	福祉課							%	%									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241402	介護保険資格管理事業	65歳以上の高齢者(40歳以上で特定疾病により介護が必要となった者も含む)	年齢到達者や転入による対象者全員に、介護保険被保険者証を交付する。居所不明により交付できない場合においては戸籍担当と協議し資格を職権消除する。	20	3,057			3,057	被保険者証交付率	100	被保険者証交付率	100	4	4	4	A	継続	国の制度であり、今後も継続して実施する。温泉総合支所における住民サービスの向上(ワンストップサービス)の観点から総合支所に介護保険担当窓口を置く(平成22年5月実施)。居所不明については被保険者証が交付できないので戸籍担当と協議し資格を職権消除するよう検討する必要がある。
				21	2,054			2,054	100	100								
	22			2,020			2,020	100	100									
	23			2,020			2,020	%	%									
	福祉課																	
241403	老人福祉施設措置事業	65歳以上の高齢者(環境上の理由及び経済的理由により在宅において日常生活を営むのに支障があるもの)	日常生活や健康面において安心安全な生活の確保を図ります。	20	17,306	16,107	13,488	1,199	新規措置者		年度末対象者	6	4	4	4	A	継続	措置の法的性格により、入所措置は高齢者からの申請により開始するのではなく、措置の実施者である町が職権によって自主的に行うものである。そのことを踏まえ、今後も高齢者の総合相談窓口である、地域包括支援センターを中心に関係機関等の協力を得ながら、高齢者の状況を的確に把握し、積極的に措置の対象とみられる高齢者の発見に努めなければならない。
				21	14,963	13,755	12,207	1,208	1	6								
	22			14,569	14,272	13,096	297	1	6									
	23			18,847	18,550	17,049	297	人	人									
	福祉課																	
241404	介護保険給付事業	加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となった要介護(支援)認定者	対象者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、適切な介護(予防)給付を行うことにより、対象者・介護者の生活支援、自立支援を図る	20	1,166,667	1,163,550	143,522	3,117	利用延人数	19597		4	4	4	A	継続	高齢化に伴い要介護(支援)認定者は今後も増加していく見込みであり、給付費の減少は見込めない。給付の適正化を図ることにより極力不正請求等の防止に努める。	
				21	1,243,719	1,239,189	352,674	4,530	22505									
	22			1,321,570	1,317,113	377,878	4,457	24841										
	23			1,295,075	1,290,618	380,737	4,457	人										
	福祉課																	
241406	介護保険事業計画策定委員会事業	介護保険事業計画策定委員会	計画策定及び進捗管理を行い、介護保険事業の円滑な運営に寄与する。	20	4,141	1,024	1,024	3,117	実施計画実施率	100	協議件数	18	4	4	4	A	継続	平成23年度は第5期介護保険事業計画の策定の年であり、今後の介護保険事業量及び事業費を見込んで保険料を決定し、第4期介護保険事業計画の最後の年の進捗管理を行い円滑な運営に努める。
				21	2,757	39	39	2,718	100	19								
	22			2,747	73	73	2,674	100	19									
	23			2,827	153	153	2,674	%	件数									
	福祉課																	
241407	社会福祉法人等利用者負担額軽減措置事業	低所得で生計が困難である者について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等であって、当事業に係る利用者負担額の軽減を行うことを知事及び町長に申し出た者	社会福祉法人等が、その社会的役割に鑑み、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図る。	20	929	210	103	719	軽減証交付者数	11	利用法人数	5	4	4	4	A	継続	社会福祉法人等減免を実施している事業所のみ対象であり、同じ生活困難者でも入所している施設により制度の恩恵を受けることが出来ない。未実施の事業所に働きかける必要がある。
				21	1,979	650	163	1,329	20	5								
	22			1,974	667	168	1,307	12	2									
	23			1,974	667	168	1,307	人	施設									
	福祉課																	
241409	総合相談支援業務	高齢者、その家族	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援していく。また、緊急対応が必要な方には当事者の課題を明確にし、個別の支援計画を策定し、それに基づき適切に支援をしていく。	20	4,431	115	15	4,316	地域ケア会議	9	相談業務	1657	4	4	4	A	継続	地域住民から相談が入りやすい体制づくりを進める。地域ケア関係機関と引き続き連携して個別や地域課題に取り組むため地域ケア会議を活用する。また、ケア会議を通して地域ケアネットワークづくりを進める。
				21	4,547	198	198	4,349	11	2075								
	22			4,760	185	185	4,575	6	2050									
	23			4,808	233	233	4,575	回	件									
	地域包括支援センター																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241410	権利擁護事業	高齢者や地域住民	高齢者の尊厳を保持するため、地域の関係機関等との連携により、地域の高齢者虐待防止ネットワークを形成し、住み慣れた地域における高齢者の安心した生活を確保していく。	20	3,284	89	12	3,195	認知症サポーター養成講座参加者数	404						継続	高齢者の権利擁護、虐待への理解を深め、早期発見・早期対応で予防していくことを目標に、地域から相談が寄せられやすい体制の整備、広報を行う。虐待の起きにくい地域づくりに取り組む。介護予防事業とともに地域住民の関係作りへの取り組みを進める。また、認知症への理解と地域の見守り機能としての役割を推進することを目的に、引き続き認知症サポーター養成講座を開催する。事例を通し、関係機関とのネットワークづくりをすすめていく。
				21	3,327	126	126	3,201	179			4	4	4	A		
	22			3,102	72	72	3,030	279									
	23			3,248	218	218	3,030	人	回								
241411	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	○地域の高齢者(65歳以上) ○地域のケアスタッフ	○住み慣れた地域、在宅での生活を継続していくことができる ○資質の向上、関係機関とのネットワーク構築	20	4,316	1,139	142	3,177	サービス担当者会議協議件数	24	地域包括支援センター研修会参加者	24				継続	高齢化、要介護認定高齢者は加速し、また高齢者の在宅生活、介護などを困難にしている要因、多様化・複雑化してきている。今後も高齢者の状況・変化に応じて、包括的・継続的支援をしていけるよう、事業の継続が必要である。
				21	4,365	1,164	1,164	3,201	276			4	3	4	A		
	22			4,314	1,284	1,284	3,030	322									
	23			4,506	1,476	1,476	3,030	件	人								
241412	在宅介護支援センター運営事業	温泉地域の高齢者とその家族	身体機能が低下しても、可能な限り住み慣れた地域社会で家族や隣人と暮らしたい。という高齢者の希望をかなえる。	20	3,359	1,920	1,920	1,439	総合相談業務 高齢者実態把握	605					継続	現在の体制を維持し、継続実施する。	
				21	3,370	1,920	1,920	1,450	602			4	4	4			A
	22			2,752	1,920	1,920	832	601									
	23			3,082	2,250	2,250	832	件									
241417	老人保健医療給付事業	・75歳以上の者 ・65歳から75歳未満の者で、政令で定める障害の状態にある者	対象者に適正な医療給付を行うことにより福祉の向上に努める。	20	203,253	202,654	6,393	599	医療費助成額	183464	受給件数	6235			廃止	20年4月から後期高齢者医療制度が始まったことにより制度が廃止となり、21年度、22年度で過誤等の精算処理を行う。	
				21	10,361	9,757	9,708	604	224			4	4	4			D
	22			1,076	482	481	594	0									
	23			0	0			千円	件								
241418	老人医療扶助費支給事業	65歳の誕生日の属する月の初日から70歳に到達する月の末日を経過していない者	老人に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ります	20	33,785	30,188	18,589	3,597	受給件数	15078	医療費助成額	27984			継続	事業の継続実施	
				21	36,197	33,177	24,251	3,020	15668			4	4	4			A
	22			33,160	30,189	24,069	2,971	15848									
	23			30,333	27,362	24,101	2,971	件	千円								
241421	入所判定委員会	環境上の理由、経済的理由等により生活困難者	養護老人ホームへの適切な入所措置	20	300			300	判定件数					継続	老人福祉法に基づき実施していく。		
				21	327	25	25	302	1			4	4			4	A
	22			174	25	25	149	1									
	23			234	85	85	149	回									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241422	訪問理美容サービス事業	高齢者(要援護者)	加齢による身体機能の低下のために、理美容院へ向くことが困難な高齢者等に、出張による訪問理美容サービスを提供し在宅生活を支援します。	20	63	3	3	60	利用延べ人数	2	3	3	2	3	C	抜本的見直し	町内の理美容事業者へ、要援護高齢者への訪問理美容代を免除していただけるよう働きかけることを検討する。	
				21	63	3	3	60	2									
	22			59	0		59	0										
	23			67	8	8	59	人										
	福祉課																	
241423	介護予防支援業務	介護保険認定者要支援1.2	要支援状態の改善や重度化予防を行うことにより、本人ができることはできるだけ本人が行えるようにする。	20	3,117			3,117	ケアプラン利用者		4	4	4	A	継続	ケアマネを増員して増加傾向にあるプラン作成を解消していきたい。(専門職の養成)		
				21	5,153	2,012	2,012	3,141	1318									
	22			5,388	2,595	2,595	2,793	1311										
	23			5,491	2,698	2,698	2,793	人										
	地域包括支援センター																	
241424	在宅老人日常生活用具給付等事業	低所得者のひとり暮らし高齢者等(要援護者)	日常生活用具を給付・貸与し、日常生活の便宜を図ります。	20	60			60	貸与・給付実績		3	3	2	3	C	抜本的見直し	対象用品、自己負担額等要綱の見直しを行う。	
				21	60	0		60	0									
	22			59	0		59	0										
	23			94	35	35	59	件										
	福祉課																	
241426	要支援・要介護認定事業	介護保険被保険者で介護サービスが必要な者	介護保険法に定められた基準に従い、要支援、要介護別に適正な認定を行い、介護保険サービスの受給に繋げる。	20	18,977	6,423	6,423	12,554	不服申立件数	0	平均処理日数	33.7	4	4	4	A	継続	申請日から認定日までの処理期間の短縮に努め、適正な認定を行う。主治医意見書や調査票の提出が遅れた場合には早急に医療機関等へ催促し、期限内の提出を促す。
				21	22,948	6,580	6,580	16,368	0	39								
	22			22,533	6,787	6,787	15,746	0	41									
	23			22,839	7,093	7,093	15,746	件数	日									
	福祉課																	
241429	特別養護老人ホームゆむら運営事業	特別養護老人ホームゆむら	償還期間の平成24年度まで助成し健全な運営を図る。	20	9,128	8,828	8,828	300	償還金助成	8828	1	1	1	4	D	廃止	平成22年度より廃止	
				21	8,946	8,644	8,644	302	8644									
	22			297			297	0										
	23				0		0	千円										
	福祉課																	
241430	介護基盤緊急整備特別対策事業	町が行う施設の整備及び既存の小規模多機能型居宅介護支援事業所介護事業所等の開設準備に要する経費の助成。	地域密着介護施設の充実と強化、及び雇用の創設。	20					施設等の整備進捗率		4	4	4	4	A	終了	平成22年度のみで終了	
				21														
	22			30,594	30,000		594	100										
	23							%										
	福祉課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	2-4(1)⑤障害者等が自立できるよう支援します																		
241501	障害者社会参加促進事業	町内に居住する身体障がい者(ただし、対象範囲及び所得要件等において一定要件あり)	身体に障がいのある方の就労支援を行うとともに、社会参加の促進を図る。	20	420	300	75	120	助成件数	3		4	4	3	4	A	内容拡大	自動車運転免許取得費助成事業については、身体障がい者に限定した事業となっており、知的障がい者及び精神障がい者が対象となっていない。地域性により、求職活動を行う上で運転免許の有無は大きな意味を持つため、障がいのある方への社会参加支援という観点から、「知的障がい者及び精神障がい者」の対象者追加を検討する必要がある。	
				21	500	198	68	302		2									
				22	363	185	47	178		2									
	福祉課	23	578	400	100	178	件												
241502	重度心身障害者(児)介護手当支給事業	65歳未満の在宅の重度心身障がい者(児)を介護する者	介護者に手当を支給することにより、介護者及び重度心身障がい者(児)に係る負担の軽減を図ります。	20	600	300	158	300	受給者数	3	支給総額	300	4	3	4	A	継続	現状維持。	
21	542	240	140	302	2	240													
22	487	190	111	297	2	190													
福祉課	23	587	290	169	297	人	千円												
241503	重度障害児・者等日常生活用具給付等事業	重度の身体及び知的障がい児・者等	市町事業としての裁量を最大限に発揮するため、利用者の状況に応じた柔軟な事業形態に努め、障がい者等の地域生活を支援する。	20	3,162	2,263	566	899	給付件数	203		4	4	4	A	継続	現状維持。		
				21	3,662	2,877	1,000	785		238									
				22	4,028	3,256	814	772		252									
	福祉課	23	5,515	4,743	1,186	772	件												
241509	身体障害者(児)補装具費支給事業	身体障がい者(児)	身体障がい者(児)に対し、補装具(身体上の障がいを補うための用具)の購入又は修理に係る費用を支給することで、日常生活の便宜を図ります。	20	4,350	2,971	744	1,379	支給対象補装具数	46	支給総額	2971	4	4	4	A	継続	現状維持。	
21	4,480	3,393	393	1,087	38	3393													
22	5,799	4,730	1,183	1,069	43	4730													
福祉課	23	6,069	5,000	1,250	1,069	具	千円												
241510	身体障害者自立支援医療(更生医療)給付事業	更生医療(ペースメーカー植込み術や人工関節置換術等、生活能力の回復・向上等を目的とした医療)を受ける、18歳以上の身体障害者手帳所持者	更生医療給付の必要性を個別に検討して支給認定することで、対象者の医療費負担軽減を図ります。	20	4,596	3,397	△ 100	1,199	更生医療給付費実支給者数	8	更生医療給付費実支給率	100	4	4	4	A	継続	指定医療機関が町内に無く、利用者の利便性の向上のため調整が必要。	
				21	7,089	6,183	△ 2,328	906		8									89
				22	11,767	11,173	2,796	594		12									100
	福祉課	23	15,595	15,001	3,751	594	人	%											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…「NO欄」を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
241511	知的障害者職親委託事業	知的障害者	職親による生活指導及び技能習得訓練業務を通じて、社会的自立及び地域生活への移行につなげていく。	20	420	360	90	60	委託件数	1			3	4	4	A	継続	障害者の就労機会の確保を含め、社会参加を行う上で、事業自体は引き続き事業実施していく必要がある。一方で、現在の利用者に対し、ステップアップのための場所を検討する必要がある。	
				21	420	360	90	60		1									
				22	419	360	90	59		1									
	福祉課	23	419	360	90	59	件												
241512	障害者福祉金	重度身体障がい者(児) 知的障がい者(児) 精神障がい者	障がい者(児)又は当該者を扶養する者に対し、福祉金を支給することにより、福祉の向上を図ります。	20	5,107	4,508	4,508	599	総支給者数(3月支給分)	381	支給率	73	3	3	4	2	C	抜本的見直し	障害者自立支援法施行に伴い受給資格者を拡大した平成18年度当時と比較して、①障害福祉サービス等の負担が軽減(平成22年4月より、市町村民税非課税の障がい者の方の障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担が無料となる)、②町単独の福祉制度の新設(平成22年度より福祉タクシー制度が開始)、③障がい福祉に関する社会資源不足の顕在化(制度は整備されていても、事業所が町内にない等)、などの現況を鑑みると、改めて事業の抜本的見直し(縮小、再編、代替事業)についての検討が必要である。
				21	5,443	4,839	4,839	604		410		75							
				22	5,629	5,154	5,154	475		449		79							
	福祉課	23	6,427	5,952	5,952	475	人	%											
241514	知的障害者自立生活訓練事業(わくわくホーム「いずみ」運営事業)	知的障害者生活訓練施設(訓練ホーム)を運営する者	知的障害者の社会的自立のための訓練施設として位置付け、運営主体への支援を行う。	20	2,712	2,532	1,266	180	延利用者数	663			4	3	3	4	A	継続	宿泊を通しての訓練は、在宅の知的障害者の社会的自立を図る上で重要であり、引き続き実施していくこととする。現行制度の課題として、アパートの1室を借りて実施しているため、部屋が少なく、同時に異性を受け入れることができない環境にある。引き続き育成会役員を中心とした検討会を実施していく。
				21	2,713	2,532	1,266	181		583									
				22	2,710	2,532	1,266	178		647									
	福祉課	23	2,710	2,532	1,266	178	人												
241515	難病患者等居宅生活支援事業	難病患者等のうち、介護保険法、老人福祉法、障害者自立支援法等の施策の対象外となる人	在宅で生活する難病患者が居宅介護、短期入所の利用並びに日常生活用具の給付を行った場合、その費用に要する経費の一部を負担し、在宅生活の継続並びに介護者の負担軽減を図ります。	20	180	0		180	利用件数	0			4	4	1	4	A	継続	事業の周知や関係機関との連携を徹底しながら、事業を継続していく。
				21	181	0		181		0									
				22	178	0		178		0									
	福祉課	23	525	347	87	178	件												
241517	寡婦医療扶助費支給事業	母子家庭医療の給付を受けられなくなった母	母子家庭医療の給付を受けられなくなった母により、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	20	1,823	624	624	1,199	医療費助成額	624	受給件数	49	4	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
				21	1,832	624	624	1,208		860		55							
				22	2,539	1,351	1,351	1,188		1083		55							
	健康課	23	2,421	1,133	1,133	1,288	千円	件											
241519	人工透析通院費助成事業	人工透析患者の通院費を助成します。	人工透析患者の通院費を助成し、福祉の増進をはかる。	20	1,559	960	960	599	助成決定件数	40	受給額	960	4	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
				21	1,126	522	522	604		28		522							
				22	1,314	720	720	594		27		480							
	健康課	23	708	648	648	60	件	千円											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		件	千円	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源												
241520	高齢重度障害者医療扶助費支給事業	後期高齢者医療制度に加入し次の①～③に該当する者 ①身体障害者手帳1～2級保持者 ②療育手帳療育手帳A判定保持者 ③精神障害者保健福祉手帳1級保持者	高齢重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	20	19,402	16,885	9,451	2,517	受給件数	9119	医療費助成額	16313	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
				21	19,012	16,475	9,194	2,537	3836	16051								
				22	21,680	19,303	13,028	2,377	4316	18959								
	健康課	23	20,537	18,160	9,389	2,377	件	千円										
241521	地域療育支援事業	身体障がいのある児童・幼児	身体に障がいのある児への療育訓練を実施し、また発達を促す支援をする。また家庭や保育所、学校との連携により、情報の共有化により、同じ目的、課題を持って、支援ができる	20	2,674	576	576	2,098	参加延人数	161			4	4	4	A	継続	個人の支援の部分では、その都度、検討しながら関係機関と連携を取っていく。事業の継続が必要。
				21	2,690	576	576	2,114	145									
				22	2,359	576	576	1,783	131									
	健康課	23	2,359	576	576	1,783	人											
241524	重度障害者医療扶助費支給事業	身体障害者手帳1～2級保持者 療育手帳療育手帳A判定保持者 精神障害者手帳1級保持者	重度(心身、精神)障害者に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	20	15,354	14,455	7,706	899	受給件数	2210	医療費助成額	14145	4	4	4	A	継続	事業の継続実施
				21	14,952	14,046	7,472	906	2403	13854								
				22	15,836	15,123	8,665	713	2462	14902								
	健康課	23	15,520	14,807	7,701	713	件	千円										
241526	障害区分認定審査会事業	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスのうち、介護給付サービスを受けようとする者	急な場合でもサービスが利用できるよう、できるだけ多くの方に認定を受けていただく。	20	1,224	505	253	719	審査会件数	17			4	4	4	A	継続	障害者自立支援法に基づき、継続実施する。
				21	1,796	467	204	1,329	38									
				22	2,101	497	216	1,604	30									
	福祉課	23	2,296	692	346	1,604	件											
241527	障害福祉計画等策定事業	住民	障害のある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障害者福祉に関する総合的な計画を策定する。	20	599			599	障害福祉計画(第2期見直し)	100			4	3	4	A	継続	毎年度計画に対する進捗状況を管理し、目標達成に向けて各団体及び関係機関からの意見を求めるとともに、内部での検討会を実施していく。
				21	423			423	0									
				22	119	0		119	0									
	福祉課	23	299	180	180	119	部											
241528	障害児・者移動支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児であって、外出時での移動に介助を必要とする方	外出時の移動をサポートすることにより、地域生活への支援と社会参加の促進を図る。	20	734	434	109	300	利用人員	7			4	4	4	A	継続	利用者のニーズにより柔軟に対応できるよう、町内事業者の移動支援専従ヘルパーの確立を目指す。
				21	767	405	102	362	6									
				22	1,118	702	176	416	10									
	福祉課	23	1,218	802	201	416	人											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241529	障害児・者日中一時支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児	日中において預かり等のサービスを提供することにより、地域生活への支援、保護者等の就労支援及び負担軽減を図る。	20	631	391	98	240	利用人員	3		4	4	4	4	A	継続	日中預りについて、利用者のニーズにより柔軟に対応できるよう、町内事業者による早期の事業実施を目指す。
				21	213	32	8	181		1								
	22			380	83	21	297	4										
	23			699	402	101	297	人										
福祉課																		
241530	障害児・者相談支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児	多様なニーズに対応するため、相談支援事業等の専門機関に関わってもらいながら、相談支援体制を充実させていく。	20	2,655	2,056	2,056	599	延相談件数	213		4	4	4	4	A	継続	昨年度同様、定期相談に合わせ、「相談支援事業実務者会議」を毎月1回開催し、定期相談の報告及び諸課題の検討、困難事例のケース検討、障害福祉サービス利用者におけるサービスの充足状況及び問題点の把握等について協議していく。
				21	3,566	2,056	2,056	1,510		392								
	22			3,972	2,368	2,368	1,604	626										
	23			3,972	2,368	2,368	1,604	件										
福祉課																		
241531	障害者コミュニケーション支援事業	聴覚、言語、音声機能障がい等により意思の疎通を図ることに支障のある方	手話通訳者等を派遣することにより、意思疎通の円滑化を図る。	20	371	71	18	300	利用者	1		4	3	4	A	内容拡大	町内に派遣できる手話通訳者等がないため、有資格者の養成が急務となっているが、対象者が少ないうえに、全国統一試験での合格率は20%を切るほど難しいこともあり、いきなり有資格者の養成は困難である。このため、まずは社会福祉協議会の協力を得て、19年度より手話教室等を開催し、手話通訳者として活動していただける方の底辺作りを進めており、引き続き実施を予定している。	
				21	387	85	30	302		3								
	22			257	79	20	178	2										
	23			280	102	26	178	人										
福祉課																		
241534	介護給付・訓練等給付費	身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児	サービスが必要とされる方に支給決定を行い、適切なサービス提供につなげていく。	20	1,678			1,678	利用者	70		4	4	4	A	継続	サービスが必要とされる方に速やかに支給決定を行い、適切なサービス提供につなげていく。	
				21	146,563	145,053	38,478	1,510		75								
	22			177,263	175,183	42,281	2,080	78										
	23			198,880	196,800	48,450	2,080	人										
福祉課																		
241535	障害者地域活動支援センター事業	障害者地域活動支援センターを運営する者	運営費助成を行うことにより、事業所の安定経営を支援する。	20	15,462	15,042	10,292	420	延利用者	312		4	4	3	4	A	継続	各事業所の安定経営を支援し、利用者の促進、増加を図る。
				21	23,307	22,824	17,534	483		567								
	22			23,301	22,826	16,926	475	504										
	23			23,301	22,826	16,926	475	人										
福祉課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					一般財源															
政策	3≪誇り・生きがい≫ころ豊かな人づくり																			
施策	3-1人権が尊重されるまちづくり																			
基本	3-1(1)①人権問題の解消に向けた推進体制を確立します																			
311101	人権相談事業	住民、人権擁護委員	人権擁護委員等の活動を支援し、住民が相談を受けやすい環境を整える。	20	992	93	63	899	人権相談件数	12								継続	浜坂地域と温泉地域の2会場で人権相談を開設しているが、各委員同士が情報交換を図れるよう年に一度は委員全員で会合をもち、同じスタンスで人権相談に取り組むようにする。	
				21	1,000	94	64	906		5										
				22	982	91	61	891		5										
		人権推進室			23	1,073	182	152	891	件										
311102	隣保館運営	住民	住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決に資する	20	25,517	16,777	8,229	8,740	年間事業参加者数	1039	年間会館利用者数	5010	4	4	4	4	A	継続	人権講座(成人学級)の受講依頼を近隣10町内会にとどまらず、会館だより、過去の受講者などに周知・呼びかけをお願いします。講座生の拡大・参加率の向上を図るとともに、内容をアレンジすることにより、内容に新鮮味や関心を持たせる。町民の方々に交流や学習の場を設け、理解をより一層深めていくことが重要である。交流事業の参加者の高齢化、減少が問題なので、誰でも参加しやすいような事業を新たに模索し、町内会長会議などで提案し、会館の交流事業の内容の見直しを検討する。	
				21	29,058	18,795	10,161	10,263		1006		5996								
				22	29,623	19,503	10,982	10,120		1018		5385								
		人権推進室			23	29,177	19,057	11,338	10,120	人	人									
311103	新温泉町人権教育協議会	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	20	4,456	2,945	2,945	1,511	人権セミナー出席率	58	「つどい」の参加者数	434	4	4	4	4	A	継続	・同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人等、それぞれ固有の問題点や日常の暮らしの中で起こる様々な課題に、人権尊重の立場から積極的に取り組む。・人権尊重の理念を普及させるため、支部、地域、行政等と連携し、事業推進を図る。・広報・啓発活動に積極的に取り組み出席者数を増やす。	
				21	4,129	2,556	2,556	1,573		52		380								
				22	4,300	2,556	2,556	1,744		62		326								
		社会教育課			23	4,300	2,556	2,556	1,744	%	人									
基本	3-1(1)②人権意識の高揚に向けた啓発活動を行います																			
311201	人権啓発推進事業	住民	人権が尊重され、誇りが持てる町づくりの実現のため、人権尊重の理念に基づき、人間性を豊かにする人権啓発を推進し、人権意識の醸成及び高揚に努める。	20	6,794	1,639	1,089	5,155	人権学習会・講演会・イベント等来場者数	1709								継続	人権施策推進計画(施策実施計画)の進捗を確認しながら人権施策の推進を図っていく。人権意識の高揚を図るため、町民、人権啓発推進委員会、関係団体などから幅広く意見を戴くとともに、啓発効果を十分検証しながら実施していく必要がある。	
				21	6,773	1,579	1,072	5,194		1713										
				22	6,995	1,885	1,147	5,110		1843										
		人権推進室			23	7,698	2,588	2,012	5,110	人										
311202	人権教育事業	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	20	1,513	726	566	787	ささゆり・ひまわり出席率	95								継続	児童、生徒の日頃の人権、表現学習と体験的な仲間づくり活動とが、より効果的につながり、相乗的に深まっていくよう、指導面で工夫・配慮していく。学習内容が固定化している傾向があることや学習者を拡大したことに伴い、学習者のニーズに応えられるよう、児童生徒・保護者・地域の理解を得ながら、系統的なプログラムや指導体制を再構築するよう努める。地域に根ざし、地域全体の教育力を高めるためにも地域の人材や教材をさらに活用する。	
				21	1,289	925	765	364		95										
				22	1,615	1,076	916	539		94										
		社会教育課			23	1,834	1,295	1,135	539	%										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案			
						事業費	一般財源													
311203	人権学習冊子編集事業	町民	・人権作品を募集して、人権課題について考えるきっかけづくりとする。 ・冊子を全戸に配布し、人権学習資料として活用する。	20	438	347	347	91	発行部数	6000	応募作品数	96	4	4	4	4	A	継続	作品募集の周知、その他の改善。作品集の活用方法の検討と実施。募集の周知方法を工夫し、一般の応募を増加させる。	
				21	431	340	340	91		6000		126								
	22			424	333	333	91	6000		109										
	23			439	348	348	91	部	点											
	社会教育課																			
311204	人権教育事業(分室)	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	20	1,708	502	502	1,206	研修会参加率	75.8	各種団体学習会参加人数	155	4	4	4	2	B	事業のやり方改善	啓発活動を充実し、学習会、研修会への参加を呼びかけていく。文化会館との連携を密にし、効果的、効率的な事業を展開していく。生涯学習推進委員会を中心とした地区学習会の充実を支援していく。 町人教として、組織、役員、予算の一本化を検討。	
				21	1,418	450	450	968		80		160								
	22			1,469	510	510	959	80		160										
	23			1,409	450	450	959	%	人											
	教育委員会分室																			
基本	3-1(2)①男女共同参画のまちづくりを推進します																			
312101	男女共同参画推進	住民	男女が、お互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する子どもができる男女共同参画社会を形成する。	20	1,209	10	10	1,199	女性登用率	18.4									内容拡大	早急に男女共同参画社会プラン推進委員会を設置する必要がある。 男女共同参画社会プランの計画期間が最終年となるため、プラン推進委員会を設置しプランの進捗を確認しながら、住民意識調査を実施し、意識調査に基づきプランの見直しを図る。
				21	1,218	10	10	1,208		19.6										
	22			1,188	0		1,188	19												
	23			1,310	122	122	1,188	%												
	人権推進室																			
施策	3-2次世代の担い手を育成するまちづくり																			
基本	3-2(1)①住民参加による教育環境の充実を図ります																			
321101	トライやる・ウィーク推進事業	中学校2年生	地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心を育てるとともに、自立性を高め、「いきる力」を育む	20	2,459	1,500	750	959	生徒の参加率	100									継続	年々受入事業所が減少しつつある。そのため、事業所への啓発及び開拓が必要である。小学校では、体験してもらうことが少なく受け入れ事業所の見直しが必要である。県の機関(土木事務所等)について但馬教育事務所を通じて受け入れ先を増やしていく必要がある。
				21	2,466	1,500	750	966		100										
	22			2,451	1,500	750	951	99.4												
	23			1,500	1,500	750		%												
	学校教育課																			
321102	オープンスクール	各園・小・中学校の保護者、地域住民	教育活動に参画・協働できる機会を提供し、子どもたちの教育に関する理解と関心を深めてもらう。	20	270			270	参加者数	1824									継続	学校開放をするための安全対策のあり方を考える。
				21	276			276		2297										
	22			273			273	1627												
	23			273			273	人												
	学校教育課																			

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	3-2(1)②参加・体験型学習の充実を図ります																				
321201	環境体験事業	小学校3年生の児童	地域の自然に出かけて行き、自然観察や栽培・飼育など五感をゆさぶるものと直接接触れることによって育まれる感性を養う。	20	1,380	540	270	840	体験児童数	109	参加率	100	4	4	4	4	A	継続	小学校3年生が在籍する8校実施予定。		
				21	1,575	660	330	915	148	99											
	22			1,322	480	240	842	131	100												
	23			480	480			人	%												
	学校教育課																				
321203	いきいき学校応援事業	各小・中学校	特色ある教育活動を推進するとともに、開かれた学校づくりを進めるため、また、総合的な学習の時間等において支援を得るなど、地域住民の「協働と参画」による学校教育の充実を推進する。	20	1,259	600	600	659	学校支援ボランティア数	910			4	4	4	4	A	継続	町単事業であるが、平成23年度も継続。		
				21	1,325	600	600	725	860												
	22			1,713	1,000	1,000	713	1010													
	23			1,000	1,000	1,000		人													
	学校教育課																				
321204	自然学校推進事業	小学校5年生	児童が豊かな自然の中で集団宿泊生活を通じ、自然や人とのふれあい、地域社会への理解を深める。	20	4,645	3,566	1,783	1,079	体験人数	151	参加率	100	4	4	4	4	A	継続	毎年、救護員の確保が困難な状況にある。教員が順番で引率するが、その間学校が手薄になる。そのため、専門員の確保が必要となる。		
				21	4,151	3,064	1,532	1,087	151	100											
	22			4,299	3,348	1,674	951	154	100												
	23			3,348	3,348	1,559		人	%												
	学校教育課																				
321205	中学校海外研修事業	中学校生徒	国際化に対応した広い視野と豊かな国際感覚を培い地域活性化に資する人材を育成するとともに、国際理解の一助とする。	20	6,597	5,039	5,039	1,558	中学校3年生に対して参加者の占める割合	8.38			4	4	4	4	A	継続	2中学校の交流が本格的に始まった。浜坂中学校と同じように、夢が丘中学校がマウント・ハット・カレッジと姉妹校として交流ができるように、今後とも努力をしていく。		
				21	1,570	0		1,570	0												
	22			5,825	4,280	4,280	1,545	8.5													
	23			5,905	4,360	4,360	1,545	%													
	学校教育課																				
321206	中学校海外受入事業	中学校生徒・NZ生徒	お互いの国の文化に触れて様々な体験をする。	20					ホームステイ日数				4	4	4	4	A	継続	2中学校の交流が本格的に始まった。浜坂中学校と同じように、夢が丘中学校がマウント・ハット・カレッジと姉妹校として交流ができるように、今後とも努力をしていく。		
				21	60	0		60	0												
	22			935	281	281	654	8													
	23			1,911	1,257	1,257	654	日													
	学校教育課																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
321207	小学生社会施設見学の旅	新温泉町内小学4年生と引率教諭及びその保護者	貴重な体験をするとともに、マナーやエチケットなどの学習	20	2,812	2,153	2,153	659	参加者数	269	引率者数	102	4	4	4	4	A	継続	一層の利用促進に努めるための保護者負担額の軽減を図る
				21	3,435	2,771	2,771	664		285		76							
				22	2,412	2,353	2,353	59		294		54							
	企画課	23	3,355	2,695	2,695	660	人	人											
基本	3-2(2)①青少年を取り巻く環境整備を図ります																		
322101	新温泉町連合PTA事業	PTA及び保護者会組織	相互の連携を促進・組織の育成	20	275	215	215	60	通学路等危険箇所調査要望校数	13	通学路等危険箇所調査要望件数	52	4	4	4	3	A	継続	PTAと保護者会の連携促進を図るため、今後も補助事業を継続する。補助金は学校教育課に予算を計上しているが、具体的な運営は社会教育課で行っているため、事務の効率化を図るための協議を行う。
				21	268	208	208	60		10		41							
				22	259	200	200	59		8		50							
	学校教育課	23	259	200	200	59	校	件											
322102	教育相談電話設置事業(子ども相談室)	教育に関する相談を行いたい者。	相談を受け、精神的に気持ちを楽にするとともに解決策を見出していく。	20		61	61		相談件数				4	4	4	4	A	継続	継続して電話を設置するとともに、子ども相談室を活用し、不登校等の減少に努める。
				21	61	61	61	0		0									
				22	2,818	92	92	2,726		0									
	学校教育課	23	2,846	120	120	2,726	件												
322104	新温泉町青少年育成推進協議会	町民	地域が連携し、青少年が安全に安心して生活し、健全に育つ。	20	4,919	1,622	1,582	3,297	参加者数	746			4	4	4	4	A	継続	重点目標として、関係機関及び諸団体並びに地域住民の連帯、青推協組織体制づくりの再構築、学校支援地域本部事業組織体系づくりの強化、地域における規範意識の向上、地域・家庭・学校園・行政の連携による総合的教育力の向上、青少年安全安心パトロールの継続・啓発を推進する。
				21	3,645	1,712	1,632	1,933		742									
				22	3,464	1,622	1,547	1,842		788									
	社会教育課	23	3,464	1,622	1,547	1,842	人												
基本	3-2(2)②児童の健全育成を図ります																		
322201	要保護児童対策	要保護児童	児童が、家庭・保育所・幼稚園・学校・地域等において安定した環境で育成される。	20	508	29	29	479	地域協議会開催率	100	要保護対象件数に対する個別支援会議開催率	100	4	4	4	A	継続	現状は、継続的な見守り等細かい配慮が出来にくい状況にあるので、現在の社会的状況を鑑み、児童相談体制を強化すべき。	
				21	443	20	20	423		100		100							
				22	1,322	15	15	1,307		100									
	福祉課	23	1,341	34	34	1,307	%	%											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	3-2(3)①通学環境の改善に努めます																	
323101	通学バス運行事業(小・中学校)	バス通学の必要な小・中学校の児童生徒	児童・生徒の通学の安全を確保する。保護者の負担軽減を図る。	20					定期券発行数		定期券発行数						継続	引き続き児童生徒の通学手段の確保をしていくとともに、児童生徒にとって時間的な余裕を持って乗車できるよう、安全面についても改善を図る。
				21	2,312	1,406	1,406	906	129	192								
	22			594			594	134	226									
	23			594			594	枚	枚									
	学校教育課																	
323102	通学費補助事業(小・中学校)	各小・中学校児童	新温泉町立小・中学校に通学する児童のうち、遠隔地に住所を有する児童の保護者負担の軽減を図る。	20	6,633	6,034	6,034	599	補助金支給率	100	補助金支給率	100					継続	今後とも児童生徒の通学手段の確保をしていく。
				21	2,634	2,030	2,030	604	100	100								
	22			2,163	1,569	1,569	594	100	100									
	23			2,239	1,645	1,645	594	%	%									
	学校教育課																	
基本	3-2(3)②教育施設の整備・改善を図ります																	
323202	小学校営繕工事(教育施設維持管理事業)	各小学校施設	学校施設の補修・点検を行い、安全で快適な学校生活の実現を図る。	20	5,853	3,755	3,755	2,098	要望達成率	6.9						継続	施設の老朽化が進んでいるため、継続的な修繕が必要である。	
				21	66,075	63,961	63,961	2,114	17.7									
	22			22,377	20,297	20,297	2,080	8.5										
	23			2,080	0		2,080	%										
	学校教育課																	
323203	中学校営繕工事(教育施設維持管理事業)	各中学校施設	学校施設の補修・点検を行い、安全で快適な学校生活の実現を図る。	20	2,069	271	271	1,798	要望達成率	2.3					継続	施設の老朽化が進んでいるため、継続的な修繕が必要である。		
				21	30,929	29,117	29,117	1,812	9.5									
	22			7,453	5,670	5,670	1,783	13.6										
	23			1,783	0		1,783	%										
	学校教育課																	
323204	学校建築事業(学校耐震補強・大規模改造事業)	各学校施設	老朽化した学校施設を改築、耐震補強、大規模改造等し、安全で快適な学校生活の実現を図る。	20	22,226	16,532	16,532	5,694	耐震化率	75	耐震化済学校数	9			継続	老朽化した学校施設の大規模改造等を計画的に実施していく必要がある。		
				21	582,007	575,907	299,251	6,100	81.5	9								
	22			293,066	287,005	161,456	6,061	92.3	8									
	23			6,061	0		6,061	%	校									
	学校教育課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323205	学校等備品購入事業 (小学校)	各小学校	各小学校備品を整備し、教育環境の充実を図る。	20	5,905	3,627	3,627	2,278	計画に対する整備率	120						継続	児童用の机・椅子を新規のものに順次統一していく。		
				21	15,532	13,237	8,793	2,295		80			4	4	4			A	
	22			10,411	8,153	3,753	2,258	100											
	23			5,483	3,225	3,225	2,258	%											
	学校教育課																		
323206	学校等備品購入事業 (中学校)	各中学校	各中学校備品を整備し、教育環境の充実を図る。	20	2,216	1,197	1,197	1,019	計画に対する整備率	117						継続	教材備品、特に学校図書・体育器材の充実を図る。		
				21	6,293	5,266	3,844	1,027		84			4	4	4			A	
	22			5,322	4,312	2,812	1,010	100											
	23			2,746	1,736	1,736	1,010	%											
	学校教育課																		
323208	教育用コンピュータ整備事業(小学校)	各小学校	各小学校の教育用コンピュータの整備・更新を行い情報教育の充実を図る。	20	25,175	24,815	24,815	360	児童1人当りパソコン台数	1	教職員1人当りパソコン台数	0.76	4	4	4	4	A	継続	教員に対するパソコン台数が不足しているため、リース期間終了後のパソコンを教員用に有効活用して整備を図る。
				21	24,451	24,089	24,089	362		1		1							
	22			20,237	19,880	19,880	357	1		1									
	23			12,910	12,910	12,910		台	台										
	学校教育課																		
323209	教育用コンピュータ整備事業(中学校)	各中学校	各小学校の教育用コンピュータの整備・更新を行い情報教育の充実を図る。	20	8,870	8,570	8,570	300	児童1人当りパソコン台数	1	教職員1人当りパソコン台数	0.97	4	4	4	4	A	継続	教員に対するパソコン台数が不足しているため、リース期間終了後のパソコンを教員用に有効活用して整備を図る。
				21	5,983	5,621	5,621	362		1		1							
	22			3,916	3,559	3,559	357	1		1									
	23			5,617	5,617	5,617		台	台										
	学校教育課																		
323214	心身障害児就学指導委員会	就学指導委員19名・オブザーバー	心身障害児の就学指導に関する調査、審議及び教育相談等を行い就学の適正を図る。	20	1,462	23	23	1,439	判定件数	35			4	4	4	A	継続	近年障害児が増える傾向にある。また、LDやADHDの子どもが増える傾向にある。これらの子ども達に対する委員会としてのかかわり方・支援策を考えていかなければならない。	
				21	1,543	24	24	1,519		35									
	22			1,519	23	23	1,496	45											
	23			1,532	36	36	1,496	件											
	学校教育課																		
323215	結核対策委員会	結核対策委員8名	町内小・中学校に在籍する児童、生徒及び教職員の結核予防対策等の専門的な検討を行う。	20	604	5	5	599	判定件数(問診)	24	判定件数(校医)	2	4	4	4	A	継続	結核は近年減少してきてはいるが、先進地の中ではまだ発症率・死亡率共に高い状況にある。そのために、1年に1回の定期検診の受診、その結果での早期発見・早期治療が必要である。内科健診終了後、すぐに委員会を開き、対応を行う。	
				21	669	5	5	664		35		0							
	22			658	4	4	654	21		0									
	23			5	5	5		件	件										
	学校教育課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323216	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業(小・中学校)	各小・中学校児童・生徒	義務教育の円滑な実施に資するため、小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して教育費に係る費用の一部を援助する。	20	8,146	6,408	6,408	1,738	認定率(小学校)	98.3	認定率(中学校)	96.9	4	4	4	A	継続	不景気における保護者の収入減等、多彩な原因が元で申請者が増えつつある。少しでも教育における負担の軽減になればと考えるため、今後最も必要な事業である。そのため継続していかなければならない。	
				21	8,086	6,334	6,334	1,752		98		94							
	学校教育課			22	7,538	5,815	5,815	1,723	100	100									
				23	9,353	7,630	7,630	1,723	%	%									
323217	特別支援教育就学奨励事業(小・中学校)	各小・中学校児童・生徒(特別支援学級入級者)	義務教育の円滑な実施に資するため、小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して教育費に係る費用の一部を援助する。	20	1,407	748	495	659	認定率(小学校)	100	認定率(中学校)	100	4	4	4	A	継続	保護者の負担を少しでも軽減するために、継続して行かなければならない事業である。	
				21	1,153	489	312	664		100		100							
	学校教育課			22	1,355	701	450	654	100	100									
				23	1,128	474	308	654	%	%									
基本	3-2(3)③教育環境の整備・指導体制の充実に図ります																		
323301	小・中学校児童、生徒各種大会派遣費補助事業	各小・中学校児童・生徒	体育及び情操教育を奨励し、心身の健全な育成を図る。	20	8,555	7,956	7,956	599	延派遣人数	1984			4	4	4	4	A	継続	小・中学校児童・生徒の体育及び情操教育を奨励し、心身の健全な育成を図れた。今後も継続して補助が必要である。
				21	9,178	8,514	8,514	664		2018									
	学校教育課			22	9,009	8,355	8,355	654	人	1741									
				23	8,295	7,641	7,641	654											
323302	教育指導主事設置事業	学校の教職員	学校教職員、児童・生徒に指導・助言を行い、学校運営の適正化を図る。	20	2,453	1,913	1,913	540	会議の回数	12					4	A	継続	年々事務量が増えてきて大変だが、学校の教職員並びに児童生徒のために、指導・助言し健全な学校教育を目指すため継続しての採用が必要である。また、継続して不登校等の対策が必要である。	
				21	2,526	1,913	1,913	613		17									
	学校教育課			22	4,430	3,826	3,826	604	回	12									
				23	4,430	3,826	3,826	604											
323304	スクールアシスタント設置事業	ADHD等特別な支援を要する児童・生徒	ADHD等特別な支援を要する児童・生徒がきめ細かく適正な教育的支援及び指導が受けられるように補助活動を行う。	20	8,140	7,870	7,870	270	配置率	100	配置率	100	4	4	4	4	A	継続	支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い、適切な人員配置を行う必要がある。
				21	8,200	7,924	7,924	276		100		100							
	学校教育課			22	10,050	9,777	9,777	273	100	100									
				23	12,235	11,962	11,962	273	%	%									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323305	障害児教育指導補助	特別支援学級の児童・生徒	特別支援学級の児童・生徒への学校における学習面、生活面での支援補助を行う。	20	10,092	9,822	9,822	270	配置率	100	配置率	100	4	4	4	4	A	継続	支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い、適切な人員配置を行う必要がある。
				21	4,818	4,542	4,542	276		100		0							
				22	9,856	9,583	9,583	273		100		100							
	学校教育課	23	10,241	9,968	9,968	273	%	%	%	%									
323306	英語指導助手導入事業	中学校生徒及び小学校児童	中学校に英語指導助手を配置し、町内公立学校における学校教育及び国際交流の語学指導を行う。	20	4,787	3,828	3,828	959	活動日数	203			4	4	4	4	A	継続	ALTを各中学校に配置して、継続して事業を行う。
				21	4,566	3,600	3,600	966		222									
				22	6,270	5,319	5,319	951		243									
	学校教育課	23	9,207	8,256	8,256	951	日												
323307	学校保健事業	児童・生徒・教職員	児童・生徒・教職員の健康管理及び事故発生時の報告及び処理を行う。	20	7,624	3,608	3,608	4,016	受診率	100			4	4	4	4	A	継続	ブラッシング指導における報償費について、鳥取からの旅費相当分の支払いが出来ないかが今後の課題である。歯科衛生士に依頼するにも仕事を持って人が多く確保が難しい。
				21	6,893	3,450	3,450	3,443		100									
				22	6,608	3,221	3,221	3,387		98									
	学校教育課	23	3,841	3,841	3,841		%												
323308	教育委員会	教育委員 5名	学校その他の教育機関の管理及び教育職員の身分取扱に関する事務、並びに社会教育その他教育等に関する事務等を管理・執行する。	20	6,423	1,028	1,028	5,395	議事件数	38			4	4	4	4	A	継続	教育行政を行う上で必要な組織であるため現状を継続していく。また、温泉地域の小学校再編をスムーズに行うための協議も引き続き行う。
				21	6,506	1,010	1,010	5,496		34									
				22	6,460	1,053	1,053	5,407		33									
	学校教育課	23	6,560	1,153	1,153	5,407	件												
323309	教育研修所事業	町立小・中学校等教育関係教職員	教育関係職員の研修及び教育に関する専門的事項の研究	20	1,219	350	350	869	部会開催のべ回数	43			4	4	4	A	継続	教職員の資質向上及び自己研鑽、また児童生徒指導等のため、今後も研修等を重ねていかなければならない事業であり継続していく。	
				21	1,290	350	350	940		44									
				22	1,277	350	350	927		32									
	学校教育課	23	1,277	350	350	927	回												

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	3-2(3)④健康管理・食環境の改善を図ります																				
323402	給食施設維持管理事業(浜坂)	浜坂学校給食センター	給食センターの補修・点検を行い、安全で快適な学校での食生活の実現を図る。	20	5,641	1,445	1,445	4,196	給食緊急停止	0								継続	行革実施計画に基づき、センターの統合を行うには、現状の施設では無理があり、増設・改修が必要となる。また、食器・コンテナ・配送時間等の調整も必要となり、それらについて協議検討していく。必要があれば両センターの代表者で検討委員会を設ける。		
				21	9,730	3,086	3,086	6,644	0												
	22	13,628	7,092	6,584	6,536	0															
	23	7,581	2,233	2,233	5,348	件															
323404	学校給食事業(浜坂)	各小学校・中学校園児・児童・生徒	安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図る。	20	153,768	111,056	64,107	42,712	児童・生徒年間残飯(浜坂地域)	797								継続	児童生徒に、安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図るための有益な事業であるので、引き続き実施する。また、子ども達が好むような献立を考え、残菜量が少なくなるような献立作りを継続して研究していく。さらに、食育教育を強化し、食に対する意識改革の推進を図る。		
				21	98,690	58,186	14,017	40,504	734												
	22	99,489	65,294	25,097	34,195	741															
	23	97,453	64,441	22,539	33,012	kg															
323405	給食施設維持管理事業(温泉)	温泉学校給食センター	給食センターの補修・点検を行い、安全で快適な学校での食生活の実現を図る。	20	3,375	2,176	2,176	1,199	給食緊急停止件数	0								継続	施設が古く、修繕箇所が年々増加しつつあるが、浜坂給食センターとの統廃合までは計画的に施設修繕が必要である。		
				21	3,459	1,647	1,647	1,812	0												
	22	4,127	2,344	2,344	1,783	0															
	23	3,448	1,665	1,665	1,783	件															
323407	学校給食事業(温泉)	温泉地域の各小学校・中学校児童・生徒	安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図る。	20	72,106	44,079	11,067	28,027	児童生徒年間残飯量(温泉地域)	628								継続	児童生徒に、安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図るための有益な事業であるので、引き続き実施する。また、残飯量なしを目指し、栄養価を考慮しながら献立表を作成していくとともに、児童・生徒の「食」に対する関心、また好き嫌いをなくすための工夫等今後も継続的な献立の研究を続けていかなければならない。		
				21	74,182	46,664	16,744	27,518	313												
	22	72,157	44,872	16,305	27,285	258															
	23	65,979	38,694	10,640	27,285	kg															
基本	3-2(4)①ふるさとを愛する次世代の担い手を育成します																				
324102	新温泉町成人式実施事業	町民(新成人)	新温泉町で生まれ育った新成人が、そのエネルギーを新温泉町のまちづくりに生かし、社会貢献への意欲を育てる契機となるようにする。	20	2,431	795	795	1,636	出席率	81.1	実行委員数 人	8						継続	昨年と同様に、対象者名簿作成、抽出基準を、住民基本台帳法及び個人情報保護条例と事業目的・必要性を十分検討し適正に利用する。対象者名簿作成の抽出基準を検討し、住民登録のある者を基本とし、広報等を通じて出身者等に参加を呼びかける。実行委員会主催行事(スナック写真展示、DVDサービス)について、効率性と必要性を勘案しながら検討する。		
				21	2,421	772	772	1,649	80	8											
	22	2,436	814	814	1,622	85	17														
	23	2,667	1,045	1,045	1,622	%															
	社会教育課																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		参加人数(地域)	参加人数(学校)	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源												
324103	ふるさと文化いきいき教室事業	地域住民及び児童・生徒	芸術文化の分野において児童生徒が主体的に、体験活動に参加する機会や場所を提供し、伝統文化等、地域の特色を生かして体験活動の充実を図る。	20	620	440	440	180	1826	652	4	4	3	4	A	継続	H23年度は町内全校での実施を目指す。	
				21	281	100	100	181	1715	652								
				22	346	49	49	297	0	1344								
	23	347	50	50	297													
	社会教育課							人	人									
施策	3-3生きがい・楽しみ・誇りづくり																	
基本	3-3(1)①地域文化の継承と創造を図ります																	
331101	展示啓発事業	町民・来館者	新温泉町の歴史・文化を町民や来館者に理解していただくとともに、町民の創造活動や文化交流の場として、各種展示やイベントを開催します。	20	1,611	412	412	1,199	9371	54	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	来館者の固定化があり、新たな来館者を確保するため、新たな展示分野を開拓し、入館者の増を図る。また、以命亭支援ボランティアとして、「友の会」の活動の充実を図る。	
				21	1,478	210	210	1,268	8134	45								
				22	1,452	264	264	1,188	7957	54								
	23	1,396	208	208	1,188													
	社会教育課							人数	人数									
331102	前田純孝顕彰事業	全国の中学生以上の学生	郷土の先人「前田純孝」を顕彰するとともに、若い人々への短歌の普及を図ります。	20	2,179	621	621	1,558	2734	4482	4	4	3	4	A	継続	今後当該事業は、先人顕彰事業の一つとして継続する必要がある。ただし、第20回(平成26年度)を区切りとして、事業を見直す。また、引続き積極的なPR活動、全国の高校への要綱の発送、また、新聞等でのPR等を行う。	
				21	2,408	638	638	1,770	3525	5287								
				22	2,291	609	609	1,682	2809	4662								
	23	2,320	638	638	1,682													
	社会教育課							人数	点									
331103	宇野雪村顕彰事業	全国の中学生以上の学生及び書道愛好家	郷土の先人「宇野雪村」を顕彰するとともに、書道の普及を図る	20	4,498	2,340	1,150	2,158	1165	1514	4	4	4	4	A	継続	積極的なPR活動、全国の高校への要綱の発送、また、新聞等でのPR等を図るとともに、応募料等の事業財源の確保に努め、一般財源の軽減を図ることで継続する。報道機関の後援(毎日新聞社)により、より全国的な事業展開を図る。	
				21	4,726	2,352	1,184	2,374	1111	1359								
				22	4,044	1,768	548	2,276	1281	1653								
	23	4,480	2,204	874	2,276													
	社会教育課							人数	点									
331104	子どもふるさと教室事業	町内の小学生(4年生～6年生)	町民の文化財保護・保存に対する意識の高揚を図ります。	20	1,189	20	20	1,169	79		4	4	3	3	B	事業のやり方改善	通年参加者募集から各回ごとの募集に変更し、より参加しやすいようにする。	
				21	1,616	20	20	1,596	72									
				22	887	20	20	867	96									
	23	887	20	20	867													
	社会教育課							参加人数										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
331105	新温泉町わが町再発見 写真展事業	町民及び写真 愛好家	町民の作品発表 交流の場と、町民 が新温泉町を再発 見する機会を提供 し、町民の文化振 興と町民が誇れる 町づくりを図りま す。	20	1,315	116	116	1,199	出品作品 数	60	来館者数	658	4	4	3	4	A	継続	浜坂駅開業100年記念協賛、またジオパーク関連事業として、 事業を展開する。また、入賞作品等の活用を図る。
				21	1,388	120	120	1,268		64		304							
				22	1,366	118	118	1,248		72		258							
	社会教育課																		
基本	3-3(1)②郷土文化の保護・保存・活用を図ります																		
331201	文化財保護審議会	町内に所在す る文化財全 般・審議委員 10名	町内に所在する文 化財について、調 査・研究・審議し、 その保護・保存を 町教育委員会に意 見具申する。	20	1,383	154	154	1,229	審議議案 件数	21			4	4	4	A	継続	事業効果としては達成されている。また、両地域の文化財につ いて、さらに委員の認識を深める必要があり、町内に所在する文 化財の詳細調査が必要である。また、委員の高齢化に伴い後継 者の育成が必要である。	
				21	1,627	152	152	1,475		17									
				22	1,095	109	109	986		15									
	社会教育課																		
331202	文化財保護事業	町内に所在す る指定文化財	町内に所在する指 定文化財について、 必要な措置を講 じ、指定文化財を 後世に継承しま す。	20	987	118	118	869	文化財保 護実施率	100			4	4	4	A	継続	地域住民の保護意識の高揚を図るとともに、国・県の支援事業 を積極的に活用し、町内に所在する指定文化財を保護する必 要がある。	
				21	1,495	62	62	1,433		100									
				22	1,710	843	843	867		100									
	社会教育課																		
331203	文化財啓発事業	町民	町民の文化財保 護・保存に対する 意識の高揚を図り ます。	20	949	80	80	869	文化財愛 護作品展	42			4	4	3	3	B	継続	次代を担う子どものふるさと教育の一つとして、またすべての町 民を対象に文化財保護意識の高揚を図るため、継続する。他の 応募作品募集と違う魅力の検討。
				21	1,409	115	115	1,294		36									
				22	877	10	10	867		36									
	社会教育課																		
331204	文化財調査事業	町内に所在す る文化財全般	町内に所在する文 化財について調査 し、その保護保存 を図ります。	20	904	35	35	869	文化財調 査実施率	100			4	4	3	A	継続	町内には未調査の文化財、また文化財的価値の未確定の物件 が多数あり、引き続き継続する必要がある。	
				21	1,600	29	29	1,571		100									
				22	920	53	53	867		100									
	社会教育課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源														
331205	文化財保護団体	町内に所在する文化財保存団体	町民自らが指定文化財の保護保存及び活用のために行う必要な措置を支援する	20	1,029	100	100	929	補助計画実施率	100						A	継続	引き続き、補助団体の自発的な保護保存意識の高揚を図る。		
				21	1,316	100	100	1,216		100										
	22			1,007	81	81	926	100												
	23			976	50	50	926	%												
	社会教育課																			
331210	おもしろ昆虫化石館運営事業	町民	新温泉町の自然や歴史の特性を活かし、交流を通じた地域開発意識を高める場を提供するとともに、地域の活性化を図る	20	2,025	1,665	1,605	360	来館者数	3736						A	継続	新たな化石の発掘、展示を行っていない状態で、入館者数が年々減少してきているため、いかにして入館者を増やすか、魅力ある施設としていかに求められている。入館者数の増加に繋ぐべく、施設・設備の充実とPRを図るとともに、山陰海岸ジオパークの取り組みと連携を深めていく。		
				21	1,584	1,524	1,524	60		3584										
	22			1,700	1,581	1,581	119	2819												
	23			1,697	1,578	1,578	119	人												
	教育委員会分室																			
基本	3-3(1)③歴史的景観の保護・保存・活用を図ります																			
331301	先人記念館維持管理事業	町民・来館者	豊かな自然環境、郷土の歴史・伝統文化を生かした体験活動を進め、人づくりや町づくり、地域交流の促進の拠点施設として多くの人達が利用できるよう先人記念館の維持管理を行なう。	20	6,888	2,906	2,906	3,982	入館者数	9371							A	内容拡大	引き続きより多くの入館者の増加を図るため、事業内容の改善及び充実を図る。平成24年度開館20周年を迎え、施設の修繕と、記念事業を開催する。	
				21	6,678	2,686	2,686	3,992		8134										
	22			6,569	2,665	2,665	3,904	7957												
	23			7,034	3,130	3,130	3,904	数												
	社会教育課																			
基本	3-3(2)①芸術・文化団体を育成・支援します																			
332101	オペレーター育成事業	高校生以上の町民	ステージオペレータークラブを育成することで夢ホールイベントの円滑な運営を図る。	20	616	340	340	276	養成講座受講者数	2	クラブ会員数	33						A	継続	夢ホール事業を行うにあたってはオペレータークラブは必要な組織であり、今後も継続するよう支援していく必要がある。
				21	503	305	305	198		2		33								
	22			417	303	303	114	3		33										
	23			430	316	316	114	人	人											
	温泉公民館																			
332102	文化協会育成事業	文化協会会員	会員の文化振興を図ることにより地域文化の向上に寄与する。	20	2,710	267	267	2,443	参加者数	1325							C	事業のやり方改善	これまでどおり事業を推進する。22年度より事業の一本化、会計の一元化を図り真に新温泉町文化協会となり、文化活動の拡大と活性化運営の効率化を図る。しかし補助団体でもあるためいつまでも事務局として関わっていくのは適正ではないと思われるため、事務局の移行等を図る必要がある。特に会計面においては早急に取り組みたい。	
				21	2,470	267	267	2,203		1330										
	22			2,441	267	267	2,174	1313												
	23			2,441	267		2,174	人												
	浜坂公民館																			

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	3-3(2)②住民の芸術・文化の鑑賞と創作活動を促進します																		
332201	町民文化祭運営事業 (温泉会場)	町民	芸術・文化を発信する場を提供するとともに、町民の交流も行う。	20	1,545	211	211	1,334	出展者数	547	来場者数	1400	4	4	4	3	A	継続	浜坂会場、温泉会場を統合することは難しいと考えるが、町民の生涯学習意欲の促進等図るためにも、それぞれの良い部分を吸収し盛り上げる工夫をする必要がある。
				21	1,678	211	211	1,467		630		1300							
				22	1,484	210	210	1,274		800		1700							
		温泉公民館			23	1,485	211	211	1,274	人		人							
332202	町民文化祭運営事業 (浜坂会場)	町民	文化に対する町民の認識を高めると共に豊かな文化の振興を図る	20	1,375	206	206	1,169	来場者数	1263			4	4	4	4	A	継続	これまでどおり事業を継続していく。経費の削減のなか、内容の質の維持、向上に努めていく。
				21	981	196	196	785		1969									
				22	1,039	190	190	849		2345									
		浜坂公民館			23	1,039	190	190	849	人									
332203	夢ホールイベント事業	町民	舞台芸術を身近に体験することで芸術・文化の振興を図る。	20	5,077	2,874	2,762	2,203	イベント1回当たり入場者数	201	イベント入場者総数	1714	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	夢ホールイベントは事業検討会(夢ホール利用者や音楽活動家による検討会。メンバーは6名)からの意見等を参考にするなどできるだけ一般の人々を巻き込みながら実施していく。夢ホール利用支援事業は、指定日を設定しないで申請のあった日の可否について協議し支援決定をする方法で取り組んでいく。
				21	4,135	2,047	933	2,088		333		1470							
				22	3,569	2,090	2,090	1,479		243		730							
		温泉公民館			23	3,733	2,254	2,254	1,479	人		人							
332204	もみじコンサート	温泉地域町民	音楽愛好者(団体)の発表の場を提供するとともに、音楽活動の活性化と町民への広がりにつなげる。	20	497	101	101	396	出演団体	12	入場者数	546	4	3	4	4	A	継続	対象者が温泉地域に限定していることは検討課題である。事業の趣旨等を考えると全町的な取り組みが望ましいが、その場合ホールの収容人員も考慮し検討する必要がある。学校再編を考慮し、24年度からの事業実施について検討が必要。
				21	511	109	109	402		11		522							
				22	550	104	104	446		9		524							
		温泉公民館			23	587	141	141	446	組		人							
332206	県民芸術劇場鑑賞事業	町内の中学生(全生徒)	質の高い芸術文化活動を形成するため、中学生の時期から優れた芸術文化に接する機会を提供し、鑑賞力、創造性の芽を育む。	20	67	7	7	60	鑑賞者数	—	県芸術文化協会との事業打ち合わせ	1	4	4	4	4	A	継続	平成19年度までは、(財)兵庫県芸術文化協会の補助を受けて毎年実施していたが、平成20年度以降は、対象を中学生、3年に1回の開催として、事業を効率的に継続する。
				21	67	7	7	60		—		1							
				22	1,291	1,172	855	119		523		2							
		社会教育課			23	86	26	26	60	人		回							

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						事業費	一般財源												
332207	新春書き初め展	新温泉町内の小・中・一般	作品を募集・展示するとにより、書道への関心を高め、多くの方が書に親しむようにする。	20	241	7	7	234	来場者数	217	出展数	665	4	4	4	4	A	継続	子ども会年賀状コンクール展と同時に開催しており、来場者も多く書への関心を高めることができおり、継続して実施していく。温泉地域の展示開催については会場の確保が難しい(広いスペースが必要)。一般の出展者が少ないため、一般部門の出展数増になるように、町広報・ケーブルテレビなどを活用しPRしていく。
				21	188	7	7	181	242	685									
	22			212	7	7	205	202	681										
	23			212	7	7	205	人	品										
	浜坂公民館																		
332208	文化展	町民	各種の作品展を開催することで町民の文化意識の高揚につなげ、文化・芸術の向上を図る。	20	408	48	48	360	来場者数	133			4	4	3	4	A	継続	幅広く、様々な分野の作品展示を行い、住民の文化意識の醸成と、芸術・文化発展の機会をつくる。他の公共施設との連携開催等も検討していく。
				21	339	37	37	302	495										
	22			209	31	31	178	300											
	23			226	48	48	178	人											
	温泉公民館																		
332209	文化体育館施設管理・整備事務	町民	地域の文化芸術の発信基地として、また町民の心をつなぐふれあいの場を提供するために、施設を常により良い状態に保つための管理を行う。	20	8,465	7,160	6,890	1,305	利用者数	19160	利用回数	124	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	建物、備品機器等については、なお継続観察を行っていく。また有効性の高い利活用を考える上で、施設の管理運営のあり方の検討も行っていく。
				21	25,155	23,014	22,653	2,141	17126	117									
	22			10,893	8,619	8,318	2,274	16170	119										
	23			11,375	9,101	8,767	2,274	人	回										
	温泉公民館																		
基本	3-3(3)①生涯学習のための推進体制を確立します																		
333101	派遣社会教育主事活動事業	町民	派遣社会教育主事が新温泉町の生涯学習推進の指導者として活動するとともに県との連携を強化することで、町の生涯学習を推進する。	20	868	110	110	758	担当する事業・講座数	9			4	4	4	4	A	継続	県派遣社会教育制度は、合併後5年間は合併前の人数を確保するとの県教育委員会の方針であるが、県財政によっては減員される可能性もある。平成23年度には2人から1人に減員される。新温泉町の社会教育を推進する上で、次期派遣社会教育主事の選定、人材の養成(研修受講・資格取得)が必要となる。
				21	2,094	629	629	1,465	9										
	22			790	65	65	725	9											
	23			395	30	30	365	件											
	社会教育課																		
333102	社会教育委員活動事業	町社会教育委員 14名 町民	町民の多様化・高度化する学習ニーズにあった新温泉町の生涯学習の推進とその体制を審議する。	20	2,438	280	280	2,158	協議議案数	14	研修会出席委員数	33	4	4	4	A	継続	生涯学習推進体制指針の策定のため、委員会を継続的に審議する。	
				21	1,229	202	202	1,027	14	25									
	22			1,136	185	185	951	7	24										
	23			1,340	389	389	951	件	人										
	社会教育課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						事業費	一般財源												
333103	新温泉町青い鳥学級	視覚障害者、支援ボランティア	参加者が、生きがいのある生活を送るため、体験教室や講師による講話、話し合いを行う。また、地域社会が障がいを持っている人を理解し、温かく助け合える体制を確立するため、相互交流の機会を提供する。	20	1,158	221	221	937	学級生参加者数	42	ボランティア参加者数	160	4	4	4	4	A	継続	ガイドヘルプ養成講座の実施について積極的な反響があり、ボランティアの「学びたい」という欲求を感じている。また、学級生から「安心できる手引きをお願いしたい」という要求があることを考慮すれば、今後の学級事業として社会福祉協議会とタイアップしながら、情報提供や学びの場の提供する。
				21	1,258	321	321	937	43	121									
	22			1,213	285	285	928	35	107										
	23			1,273	345	345	928	人	人										
	社会教育課																		
333104	公民館講座	町民	各種の教室を受講し、技術の習得を図ると同時に受講生同士の交流を図る。また、定期講座については一定の期間内(3年程度)でグループを育成し自主活動に移行する。	20	1,524	310	310	1,214	受講生(延べ人数)	428	自主活動グループ育成数		4	4	3	4	A	継続	各講座の状況を踏まえ自主活動に移行していくよう働きかけを行っていく。ただし、本事業は文化団体育成に必要な事業であるので、基本的な考え方として、新講座を開設しながら3年程度を目途に自主活動に移行させる方針とする。温泉地域における公民館機能の役割を果たしており、温泉地域のソフト事業としての公民館体制が確立され、町全体の生涯学習体系が確立されるまでは、役割は重要である。
				21	1,211	305	305	906	596	1									
	22			1,050	337	337	713	448	1										
	23			1,056	343	343	713	人	グループ										
	温泉公民館																		
333105	高齢者向け生涯学習	60歳以上の町民	高齢者に生涯学習の場を提供し、学習していただくと同時に、交流の場としても活用していただく。	20	2,962	468	468	2,494	学生数	243	出席率(一般教養講座)	70	4	4	4	4	A	継続	高齢者の学習や生きがいづくりの場として、継続運営していく。
				21	3,700	459	459	3,241		229		75							
	22			3,247	347	347	2,900	226		72									
	23			3,518	618	618	2,900	人	%										
	温泉公民館																		
333106	子ども音楽教室	町内小学生	音楽に興味のある子どもが集まり、練習や演奏活動を通じて音楽に親しみ、相互の交流を図る。	20	578	191	191	387	受講生(延べ人数)	171			4	4	4	4	A	継続	引き続き、浜坂地域の小学生の参加を呼びかけ、町全域での盛り上げを推進していく。
				21	553	191	191	362		321									
	22			554	197	197	357	437											
	23			622	265	265	357	人											
	温泉公民館																		
333107	青少年新春かるた大会	町内小、中学生	かるたを通じ学校や家庭、地域での交流を図ると同時に、古歌に関心をもちつことで情操教育につなげる。	20	643	50	50	593	参加者数	128			4	4	4	3	A	継続	参加者数は学校での取り組みが大きく影響しているが、学校のカリキュラムに組み込むことが難しい現状である。少子化により年々児童・生徒の数が減少することが明らかであり、小学校再編の影響を考慮しながら取り組んでいく。
				21	742	55	55	687		129									
	22			732	87	87	645	101											
	23			753	108	108	645	人											
	温泉公民館																		
333108	パソコン教室	町民	誰でも気軽にパソコンの講習が受けられる場を提供し、楽しくパソコン操作技術を習得してもらおう。	20	707	287	287	420	受講生(延べ人数)	192			4	4	4	4	A	継続	個々の習得レベルの違いがあり、講座内容については要望等も考慮しながら、基本的にパソコンの基礎的な習得をサポートしパソコン人口の裾野を広げるためのカリキュラムを実施していく。
				21	951	287	173	664		267									
	22			1,059	287	175	772	264											
	23			1,068	296	176	772	人											
	温泉公民館																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
333109	公民館推進委員活動事業	公民館推進委員 浜坂地域11名 温泉地域9名 計20名 生涯学習の推進	両公民館体制について協議、検討し、よりよい体制に整えていく。また、公民館事業に参画し、公民館が提案した事業について話し合い、事業の円滑な推進を図る。	20	897	222	222	675	委員延べ出席者	44		4	4	3	3	B	事業のやり方改善	町条例で定められている。生涯学習の基本となる公民館活動を充実させるため、公民館活動推進について協議する場として委員会の継続は必要となる。浜坂、温泉公民館のあり方について検討していくべき。
				21	706	222	222	484		27								
				22	693	222	222	471		42								
	23	690	219	219	471	人												
333110	地区公民館協力委員活動事業	各地区公民館の運営協力委員	各地区公民館事業の活動推進と協力体制の確保	20	295	100	100	195	委員会出席(延べ人数)	221		4	4	4	4	A	継続	地区公民館を運営していくために協力員は重要な役割を果たしており必要であるので、今後も継続していく。
				21	100	40	40	60		220								
				22	126	40	40	86		220								
	23	126	40	40	86	人												
333111	各地区公民館活動事業	浜坂地域旧小学校区(居組・諸寄・大庭・久斗・久斗山・赤崎・三尾)地区住民	参加しやすい生涯学習の場を提供し、交流、学習を深め、明るく活力のある人づくり・地域づくりを目指す。	20	3,323	820	820	2,503	各講座参加者(延べ人数)	14006		4	4	4	4	A	継続	生涯学習推進のため、継続して実施する。講座・教室の内容がマンネリ化しないよう、創意工夫し参加者の拡大を図る。
				21	3,115	820	820	2,295		15413								
				22	3,445	820	820	2,625		12436								
	23	3,445	820	820	2,625	人												
333113	高齢者大学宇都野学園	高齢者	生涯学習の一環として組織的な学習機会を提供する	20	3,190	357	357	2,833	入園者数	165	79.4	4	4	4	4	A	継続	今後も、高齢者が生き甲斐のある充実した生活を営み、豊かな情操を培うため、引き続き学園を開講し、高齢者の学習の場を設ける。魅力ある学園運営に努める必要がある。新たな講師の発掘をするため、生涯学習リーダーバンクや兵庫県出前講座の講師を活用する。
				21	2,736	441	441	2,295		159	73.9							
				22	3,184	500	500	2,684		153	72.46							
	23	3,346	662	662	2,684	人	%											
333114	少年少女音楽隊育成事業	小学生	異年齢の子ども達に団体行動を通して心のつながりを深め、金管楽器による音楽演奏への関心を持ち地域活動へ参加する	20	1,349	315	315	1,034	行事参加回数	5	841	4	4	4	4	A	継続	基本的には昨年度と同様の内容で継続。隊員募集を広くPRし隊員数の増加を図る。
				21	1,110	264	264	846		5	822							
				22	1,328	305	305	1,023		5	1030							
	23	1,373	350	350	1,023	回	人											
333116	男子調理教室	町民男性	男性に調理の機会を設けて調理に親しみ、自らの食生活に関心を持ち、健康管理に心がけるようにする	20	464	29	29	435	出席者	57		4	4	3	4	A	継続	受講者が固定化しないよう、また参加者が1人でも多く増えるよう、広報等でPRする。
				21	330	28	28	302		39								
				22	404	25	25	379		55								
	23	404	25	25	379	人												

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
333117	グループ養成講座	町民	技術・作法の基本を学び、この教室を開催する事により、自主的なグループを養成する。	20	792	58	58	734	出席者 (延べ)	114	4	4	4	4	A	継続	これまでどおり継続する。幅広い分野で講座内容を選考し、2年間限定でグループの養成を図る。この講座により、多くのグループが自主活動している。今後も、自主グループに養成する講座を考えていく必要がある。	
				21	661	57	57	604		95								
	22			780	50	50	730	123										
	23			787	57	57	730	人										
	浜坂公民館																	
333118	子ども体験教室事業	小学生	さまざまな体験を通じて知りたいという好奇心を高め、自分の町のすばらしさを再認識をしてもらう。	20	164	17	17	147	参加者数	36	4	4	4	4	A	継続	これまでと同様に実施していく。これまで以上に参加者を多くするため、各学校へ児童数分パンフを配付する。また参加し易い日時を設定する。土日は他の行事と重なり易いので、平日の実施を考える。	
				21	196	15	15	181		42								
	22			224	19	19	205	57										
	23			224	19	19	205	人										
	浜坂公民館																	
333119	女性教養講座事業	町民女性	女性の学習意欲を高める	20	1,328	50	50	1,278	出席者	120	4	4	4	4	A	継続	昨年と同様に継続して事業(当初、年間事業を受講生で計画する。)を行うが、自主的に参加するよう促進する(参加率の向上)。講座の内容により出席者にバラツキがあり講座の目的の自覚を促す。継続の受講生はもちろんのこと、新規の受講生が増えるよう広報等でPRする。	
				21	835	50	50	785		100								
	22			758	28	28	730	125										
	23			780	50	50	730	人										
	浜坂公民館																	
333121	図書館啓発事業	幼児から高齢者までの幅広い生涯学習対象者	新着図書及び本の紹介やイベントのお知らせ、募集を通して、図書館のことを知ってもらい利用していただく。	20	2,860	72	72	2,788	図書館だより配布部数	2760	4	4	4	4	A	継続	新一年生や転入等で新しく住民になられた方にも図書館をPRし、新規利用者の開拓を図るため、メディア(町広報・新聞・ケーブルテレビ)やインターネットを活用しPRに努める。図書館だよりの配布先の拡大を図るため、温泉・浜坂公民館、地区公民館等へ配布する。図書館システムの更新及び蔵書検索のインターネット公開により、図書館のより多くの情報を発信して、利用者の「生きがいがいい・楽しみ・誇りづくり」への利便性を高めるように、さらに啓発を行っていく。	
				21	3,424	11	11	3,413		2760								
	22			3,757	10	10	3,747	2760										
	23			3,716	60	60	3,656	部										
	加藤文太郎記念図書館																	
333122	図書館イベント事業	町民、山岳愛好者	より多くの人々に身近な図書館として利用していただく。また、読書力の向上や本のすばらしさ等を知ってもらう。加藤文太郎を顕彰する。	20	3,222	134	54	3,088	イベント参加人数	1051	出張おはなし会参加人数	4	4	4	4	A	継続	町内で行われる他のイベントと日程・内容等が重ならないための工夫と調整が必要であり、社会教育課の中で共催できる事業はできるだけ協力体制をつくり開催していく。また、図書館としてのオリジナルティーのあるイベントを考えていく。本来の図書館業務を円滑にするため、イベント回数の見直しをする。
				21	3,008	139	19	2,869		1138								
	22			3,600	150	18	3,450	1055		6378								
	23			3,494	135	55	3,359	人	人									
	加藤文太郎記念図書館																	
333123	移動図書館車運営事業	移動図書館車巡回地域の住民	図書館に出向くことが出来ない地域に対して場所・時間の設定を行い、図書資料を多くの方に利用してもらいます。	20	2,963	318	318	2,645	利用者数	2009	貸出冊数	4	4	3	4	A	継続	図書館車が老朽化しており、後輪駆動のため冬期間でも天候に左右されず安定した巡回ができるように4WD車両に更新をする。また、事業の各種メディアを使ったPR強化、利用がない地域の方々を利用しやすいステーションの検討及び、利用しやすい巡回時間の検討、運転手の安定確保を行う。
				21	4,901	370	370	4,531		2013								
	22			5,944	346	346	5,598	2021		8200								
	23			16,326	10,728	2,157	5,598	人	冊									
	加藤文太郎記念図書館																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
333125	温泉地区生涯学習推進事業	生涯学習推進委員	各地区公民館を地域の生涯学習活動の核として位置付け、より地域に密着した活動が行えるような体制づくりを推進する。	20	561	81	81	480	協議事項	協議事項	2	4	4	3	3	B	事業のやり方改善 浜坂地域では地区公民館を中心とした生涯学習の推進を図っており、一つの町でそれぞれ違う体制では、住民の学習機会の不均衡、社会教育施策推進の一貫性、生涯学習への支援・助成等のアンバランス等不合理な面が生じる。今後、地域の意見の公聴や公民館推進委員会が拠点施設、地域範囲、推進体制等の協議、検討を行う。
				21	127	67	67	60			2						
	22			299	61	61	238	2			-						
	23			417	179	179	238	件	件								
	教育委員会分室																
333126	ふれあい学級(温泉地域)	町民(温泉地域)	各地区で行われる「ふれあい学級」「子育て学級」の充実を図ることによって、町民が学習しやすい環境の形成に努めると共に、世代間のコミュニケーションの充実を図ります。	20	879	340	340	539	参加人数		5265	4	4	3	4	A	内容拡大 実施集落の固定化及び事業内容の恒常が見られるため、推進員の研修、自治会内での協力体制の推進を図る。浜坂地域における公民館活動を含めた生涯学習推進体制の見直し及び各地区での推進体制の強化。
				21	400	340	340	60			5632						
	22			618	380	380	238	6816									
	23			618	380	380	238	人									
	教育委員会分室																
333127	手づくり工夫作品展	町内小学生	作品を作ることで、児童・生徒の創造性を養うとともに、町内小学生の作品を展示・鑑賞することにより、情操教育をさらに進める。	20	556	22	22	534	参加人数	来場者数	874	4	4	4	4	A	継続 有効な事業であり今後も継続していく事業。
				21	627	23	23	604			707						
	22			557	22	22	535	737			242						
	23			568	33	33	535	人	人								
	温泉公民館																
基本	3-3(3)②生涯学習施設の整備充実を図ります																
333201	図書館維持管理事業	町民	図書館の運営等がスムーズに行えるように、施設整備、維持管理等を行い、快適で安全な場所提供を行う。	20	10,431	4,945	4,945	5,486	苦情・要望件数		0	4	4	4	4	A	継続 図書館周辺環境整備はボランティアさんの協力を得ながら継続して進めていく。図書館の防犯警備、エレベーター・自動ドア・空調機器等の保守管理は引き続き業者に委託する。潮風等により施設外周が腐食してきているので修繕が必要あり、備品についても耐用年数を経過しているため修繕・買い替えが必要であるため、年次計画を立てて順次修繕、買い替えをしていく。
				21	9,340	6,048	6,048	3,292			1						
	22			8,920	5,334	5,004	3,586	0									
	23			7,772	5,007	4,588	2,765	件									
	加藤文太郎記念図書館																
333202	図書館運営事業	町民	利用者のニーズに対応し、より充実した図書館運営を図る。	20	6,502	646	629	5,856	来館者数	貸出冊数	35146	4	4	3	4	A	継続 窓口業務、レファレンス業務等を現在の体制で継続していき、さらに図書館利用者の拡大を図る。温泉公民館図書室との連携を図り、相互利用が円滑に出来るように協議する。図書館ボランティアとのさらなる関係強化に努めていき、よりよい図書館づくりを進める。
				21	6,497	666	646	5,831			35894						
	22			5,215	602	595	4,613	37938			69574						
	23			4,545	753	743	3,792	人	冊								
	加藤文太郎記念図書館																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源	人件費											単位:千円	
333203	図書館図書整備事業	町民	町民のニーズに応え幅広い収集を行い住民に提供する。	20	6,544	3,365	3,365	3,179	リクエストに対する対応率	100	蔵書冊数	78282	4	4	4	4	A	継続	住民のニーズに十分答えられる図書及び資料の収集を行う。当館にない図書及び資料は他の図書館より借り受けて、利用者提供する。寄贈図書の受け入れを継続していく。
				21	7,269	4,309	2,578	2,960	100	80401									
	22			8,252	5,277	4,099	2,975	100	83059										
	23			8,292	5,317	1,170	2,975	%	冊										
333204	図書館システム管理事業	図書館情報システム及び機器	敏速な顧客対応が円滑に行えるように、図書館情報システム及び機器の適正管理を行う。	20	4,200	2,402	2,402	1,798	トラブル発生回数	2	図書選書委員会協議件数		4	4	4	4	A	継続	図書館情報システムのハード及びソフトの更新、蔵書検索のインターネット公開により利便性がアップしたが、それに合わせてインターネットでの予約システムを整備し、さらなるサービス向上を図る。また、公民館図書室の蔵書のデータ化により有効活用を図る必要がある。
				21	4,483	2,369	2,369	2,114	4										
	22			5,696	2,606	2,606	3,090	5											
	23			7,348	4,258	3,124	3,090	回											
333205	図書館協議会・図書選書委員会活動事業	図書館協議会委員・図書選書委員会委員	図書館運営の円滑化及び図書資料の充実を図るため、協議会及び委員会を開催する。	20	1,335	76	76	1,259	図書館協議会協議件数	8	図書選書委員会協議件数	3	4	4	4	4	A	継続	今後も継続していくと共に、各委員に図書館への認識や理解をさらに深めていただくため、図書館を積極的に利用していただく。また、他の図書館へも出向き、調査研究をいただき、図書館に対する意見の参考にさせていただく。
				21	1,347	79	79	1,268	8	3									
	22			2,762	88	88	2,674	8	3										
	23			2,227	147	147	2,080	件	件										
333211	図書利用促進	町民	地域の生涯学習の拠点の一つであり、情報教育の推進として読書を推奨するため、新温泉町民センター内図書室の蔵書の管理及び更新を行う。	20	458	98	98	360	利用者数(延べ人数)	335	貸出冊数	615	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	加藤文太郎記念図書館での一元管理、利用しやすいシステム構築等の検討が必要。
				21	524	101	101	423	505	1015									
	22			516	101	101	415	353	766										
	23			519	104	104	415	人	冊										
基本	3-3(3)③住民のスポーツ振興を推進します																		
333304	び〜ちふえすた 2010 いんしんおんせん	町内外参加者	山陰海岸国立公園内に位置する浜坂県民サンビーチを広く一般にPRするとともに、ビーチポイントを通じて海への関心と清掃活動を通じて地球環境保全に対する意識を深めさせる。	20	2,596	600	600	1,996	参加チーム数	63	参加者数	252	4	4	4	4	A	継続	参加募集にあわせて、ボランティアスタッフの募集を積極的に行い参加者に満足してもらえるようなイベント運営を心がけたい。イベントのマナー化を防ぐため、毎回イベント内容に工夫を凝らし全ての来場者が楽しめるイベントづくりを心がけたい。
				21	2,611	600	600	2,011	63	372									
	22			2,579	600	600	1,979	73	360										
	23			2,579	600	600	1,979	チーム	人										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
333305	体育施設維持管理事業	7施設 ①浜坂体育センター ②B&G海洋センター体育館 ③浜坂すこやか広場 ④浜坂山村広場 ⑤浜坂相撲場 ⑥B&G海洋センター(プール・艇庫) ⑦浜坂多目的公園グラウンド・ゴルフ場	指定管理者へ業務委託することにより、管理料の経費節減をはかり、併せて直営管理施設においても安全・安心な施設利用を提供する。	20	12,457	9,700	9,700	2,757	施設利用者数	50293						継続	管理運営体制を低下させないようにし、適正且つ経費節減に努めて行く。浜坂多目的公園グラウンドゴルフ場については、指定管理の方向で検討する。
				21	13,686	9,700	9,700	3,986	58693								
				22	14,402	10,480	10,480	3,922	51285								
	23	14,399	10,477	10,477	3,922	人											
	社会教育課																
333306	B&G水泳教室事業	町内在住の小学生(1～3年生)	技術と体力の向上を図る	20	1,844	46	46	1,798	参加者数(延べ)	230						事業のやり方改善	水泳教室は継続していく。但し、規模等を拡大していくには、指導者の確保が必要である。
				21	1,277	9	9	1,268	102								
				22	1,274	26	26	1,248	152								
	23	1,265	17	17	1,248	人											
	社会教育課																
333307	少年相撲教室	町内在住の小学生	技術と体力の向上を図るとともに、相撲を通して青少年の健全育成を推進する。	20	540	120	120	420	修了書の交付	10	参加者数(延べ)	149				事業のやり方改善	日本の国技である相撲を通して、青少年の健全育成を図る。一人でも多くの子ども達が参加しやすい教室の開催。民間団体への委託検討。
				21	362	120	120	242	9	166							
				22	358	120	120	238	6	112							
	23	358	120	120	238	人	人										
	社会教育課																
333309	B&G町民水泳記録大会	町民	町内の水泳愛好者への成果の確認の場としての機会を提供する。又、記録を測定することで意欲の向上を図る。	20	343	103	102	240	参加者	85					継続	校長会等を通じて、参加の呼びかけをしていく。低学年の水泳教室等を通じて水泳に対する意識の向上を図っていく。	
				21	556	115	114	441	93								
				22	555	121	121	434	91								
	23	571	137	137	434	人											
	社会教育課																
333310	スーパーソフトドッジ大会	町民	だれでも気軽にできる大会を目指し、併せて親睦、交流の場とする。	20	260	20	20	240	参加チーム数	19					抜本的見直し	ニュースポーツの普及振興を図る目的からすれば、一般の部の参加がないことなどから、有効性が低く、愛好者が増加するような種目への見直しが必要である。大会実施ではなく、団体や地域のリーダーを対象としたニュースポーツ教室の実施も含め見直しを進める必要がある。小学生対象の現大会は、ニーズを把握し、継続すべきか検討するなど抜本的な見直しが必要。	
				21	322	20	20	302	6								
				22	258	20	20	238	1								
	23	260	22	22	238	チーム											
	社会教育課																
333312	地域スポーツ活動支援事業	町推進委員会・スポーツクラブ員	誰でもいつでも気軽に参加できるスポーツ環境を整え、クラブの円滑且つ、安定した活動を促進し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進める。	20	1,111	92	92	1,019	事業実施回数	2	交流大会	9			事業のやり方改善	スポーツクラブが地域の活動と一体となって取り組んでいけるようクラブの自立を支援する。クラブ運営に対しての地域の取り組みや意識の持ち方を指導していく。	
				21	647	164	164	483	3	参加クラブ	8						
				22	500	84	84	416	3	8							
	23	610	194	194	416	回	数										
	社会教育課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源										
333314	体育奨励事業(温泉)	地区及び地域(温泉地域)	地区、地域が主体的に実施する体育大会に奨励金を交付し、町民の健康づくりと心豊かな人づくりを図る。(できれば校区での体育大会開催を奨励する。)	20	1,190	830	830	360	1195	1150	4	3	3	4	A	内容拡大	体育奨励制度のあり方について関係機関との協議(温泉地域の各地区、体育協会、ほか)。体育推進を含めた生涯学習推進体制統一への協議・奨励金交付の窓口の一本化(現行は浜坂地域は体育協会、温泉地域は教育委員会)への検討
				21	615	555	555	60	685	1410							
	22			728	490	490	238	560	1425								
	23			838	600	600	238	人	人								
	教育委員会分室																
333315	体育施設維持管理事業(温泉)	施設 *旧八田中学校グラウンド及び体育館(指定管理) *旧照来小学校グラウンド及び体育館	社会体育施設の安全で良好な施設維持管理を行い、町民のスポーツとコミュニティー活動の振興を図る。	20	1,271	618	306	653	5051		3	4	4	4	A	継続	現指定管理者の自主活動の促進と地域団体等との連携強化。旧照来小学校体育館及びグラウンドについても利用者はほぼ地元の住民であるため指定管理者制度を検討する。施設の老朽化とともに維持管理費、修繕費等が増加すると見込まれるため計画的な維持管理計画を行う。
				21	943	586	366	357	3149								
	22			424	310	310	114	3688									
	23			392	278	278	114	人	人								
	教育委員会分室																
333316	スキー競技大会	町民(小学、中学、高校、一般)	体を動かす機会の少なくなる冬場において、町民の体力づくりを図るとともに、スキー技術の向上と相互の親睦を図る。又、雪国ならではのスポーツであり、雪に親しむ機会とする。	20	478	70	50	408	-		4	4	4	4	A	継続	今後も雪不足が懸念されるため、今年度も開催時期の前倒し(1月下旬～2月上旬)を関係機関と協議を行う。また更なる浜坂地域の参加者の増加を図る。スキー大会運営の協力団体を募る。
				21	414	60	43	354	-								
	22			702	216	216	486	32									
	23			702	216	216	486	人	人								
	教育委員会分室																
333317	駅伝大会	町民	走ることを通して、スポーツ精神の高揚を図り、体力を養うと共に、相互の親睦と地域連帯意識を深める。	20	1,108	279	258	829	306	46	3	3	4	3	C	事業のやり方改善	昨年は岸田川駅伝として新たなスタートを切ったが、警察からの指導により国道の使用は困難となり、今年度は、また新たなコース設定をする必要がある。
				21	947	264	264	683	310	47							
	22			2,322	751	751	1,571	359	63								
	23			2,322	446	446	1,571	人	チーム								
	社会教育課																
333318	ソフトバレー大会	町民	ニュースポーツに親しみ、世代層を超えたふれあいを大切にし、健康増進を図る。	20	304	31	16	273	22	120	2	3	3	2	C	抜本的見直し	大会は定着化したが、参加チーム数の増が見込めない。今後、他の実施主体を活用することで効率化が図れないか検討する。
				21	419	39	39	380	22	121							
	22			318	53	53	265	23	134								
	23			265	37	37	265	チーム	人								
	社会教育課																
333319	500歳ソフトボール親善大会	町民	壮年層の健康づくりの意識を培うとともに、参加者相互の親睦の場を提供することで、地域コミュニティの発展を推進する。	20	455	47	47	408	12	329	3	3	3	4	C	事業のやり方改善	ソフトボール協会などの協力を得ながらやっているが、出場チームで相互審判に取り組むなど参加者を活用していく。浜坂地域での体育協会主催の「壮年ソフトボール」大会という同種の競技があり、一本化を含めた事業改善を検討する。
				21	412	58	58	354	11	287							
	22			359	9	9	350	11	294								
	23			380	30	30	350	チーム	人								
	教育委員会分室																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源													
333323	体育振興事業(B&G プール・艇庫)	町民、町外利用者	プール、艇庫事業とも沢山の参加・利用いただき、体力・健康づくりへとつなげる。	20	4,388	1,073	1,073	3,315	プール利用者	899	艇庫利用者	1159	3	2	2	B	事業のやり方改善	安全・安心な事業推進していくうえに、プール監視員の確保。マリンスポーツの若手指導者の育成に努めて行く。	
				21	3,776	919	810	2,857		740		1103							
	22			4,383	1,632	1,597	2,751	1298		198									
	23			4,035	1,284	1,194	2,751	人	人										
	社会教育課																		
333324	体育振興事業(新温泉町体育協会)	新温泉町体育協会、住民	体育協会への加盟団体の増を図る。各種大会への多くの参加をいただき、豊かなスポーツライフを送っていただく。	20	8,825	7,566	7,566	1,259	加盟団体	23	大会開催数	18	4	4	4	4	A	継続	事業経費の節減を図りながら、参加しやすく、安全対策に配慮した各種大会の開催に努める。
				21	8,490	7,222	7,222	1,268		23		20							
	22			8,186	6,938	6,938	1,248	23		19									
	23			8,186	6,938	6,938	1,248	数	数										
	社会教育課																		
333325	体育振興事業(麒麟獅子マラソン)	町民、町外参加者	大会を開催することで、参加者(住民)の健康増進と交流の場として親睦を深めてもらい、観光PRと経済効果のでる大会とする。	20	4,056	1,700	1,700	2,356	前夜祭参加者	430	大会参加者	1907	4	4	4	4	A	継続	大会は、実行委員会方式による開催であるが、行政が関わっている部分が多くある。大会継続に向けて、組織の自主運営へ努力していただき、行政はバックアップ体制での開催が望ましい。経費の節減と前夜祭・参加記念品の検討が必要。
				21	4,074	1,700	1,700	2,374		0		0							
	22			3,322	1,700	1,700	1,622	500		2510									
	23			3,322	1,700	1,700	1,622	人	人										
	社会教育課																		
333326	新温泉町青少年育成指定コミュニティスポーツ事業	一般住民(特に青少年、親子を対象)	親子間、異世代間、そして地域間のふれあい・交流を深める。また、高校卒業とともに新温泉町を離れた若者が集う場所(コミュニティ)、機会を提供し、新温泉町の魅力を再確認してもらう。	20	2,832	956	956	1,876	教室大会参加者数	220	大会参加チーム	13	4	4	4	4	A	継続	次年度は、事前に参加申し込みがあった者だけでなく、当日参加可能なビーチイベントを実施し、さらに多くの子どもたちが参加できる機会、場所を提供する。また、町内のビーチサッカー団体が行うビーチサッカー大会と同日に開催し、双方協力のうえ、多くの参加者を募る。
				21	3,228	1,295	197	1,933		318		17							
	22			2,845	944	850	1,901	210		18									
	23			3,495	1,594	304	1,901	人	チーム										
	社会教育課																		
基本	3-3(3)④住民のスポーツ指導体制を確立します																		
333401	体育指導委員活動事業	体育指導委員	各種スポーツ大会、ニュースポーツ大会の実施	20	2,665	1,286	1,286	1,379	定例委員会協議件数	6	スポーツ大会指導出席者数	31	4	3	4	A	継続	町事業の大会とスポーツ振興法に規定されている体育指導委員の活動を整理する必要がある。	
				21	1,989	660	660	1,329		6		51							
	22			2,021	714	714	1,307	6		52									
	23			2,070	763	763	1,307	件	人										
	社会教育課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
政策	4<<活力>>豊かな地域産業づくり																				
施策	4-1産業間の連携と人材を育成するまちづくり																				
基本	4-1(1)①産業技術を伝承し、後継者を育成します																				
411101	杜氏館維持管理	杜氏館	来館者が但馬杜氏の歴史について興味を持って見学できるように管理する	20	3,910	3,550	3,550	360	来館者数	27137								継続	観光協会や但馬杜氏組合と連携して独自のイベントを考えていく。		
				21	4,058	3,575	3,575	483	22197												
				22	3,898	3,423	3,423	475	19451												
		振興課			23	3,924	3,449	3,449	475	人											
411102	杜氏館イベント	杜氏館	来館者の増に結びつけたい。	20	219	39	39	180	来館者数	27137								継続	観光協会や但馬杜氏組合と連携して独自のイベントを考えていく。		
				21	332	30	30	302	22197												
				22	327	30	30	297	19451												
		振興課			23	335	38	38	297	人											
411105	季節労務対策	但馬杜氏	冬季就業期間は、町の情報が入らないため広報、チラシ等を送付し地域情報を提供していく。	20	1,020	61	61	959	参加人数		組合事業	5						継続	冬季就業者の把握、求職・保険受理解説会開催。各就業先へ地域の情報提供としてふるさとだより町広報等を発送していく。		
				21	2,206	636	636	1,570	60		5	4	4	4	4	A					
				22	992	635	635	357	60		5										
		商工観光課			23	992	635	635	357	人		回									
411106	森林技術者確保対策事業	森林技術者	町内就業を図ることに併せ、後継者確保並びに将来的な森林の公益的・多面的機能の増進を図れる。	20	1,951	1,591	1,591	360	対象技術者数									継続	県との随伴事業として香美町とも連携している事業であり、単独での判断が難しいが、時期がくれば見直しをする必要があると思われる。県及び香美町を交え、森林組合との調整が必要である。		
				21	2,188	2,007	2,007	181	31												
				22	2,126	2,007	2,007	119	31												
		農林水産課			23	1,710	1,591	1,591	119	人											
411107	若者就業者町内施設利用券交付事業	町内在住の35才以下の若者	若者就業者の支援事業を実施し、若者が各施設を利用することによって町づくりへの参画を促していく。	20	895	236	236	659	利用件数									継続	施設利用をしてもらう事によって、若者の町づくりへの参画を促していく事が出来るため本制度のPRを継続していく。		
				21	769	105	105	664	4												
				22	462	105	0	357	4												
		商工観光課			23	462	105	74	357	件											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	4-1(1)②企業を誘致し、雇用を促進します																				
411201	サンシーホール浜坂運営	町民	町民コミュニティ施設として、幅広く町民が利用できるようにしていく。	20	9,757	2,390	2,390	7,367	利用人数	13233	雇用促進奨励金	0	4	4	4	4	A	継続	平成15年に雇用・能力開発機構から公用使用を目的に町が売買取得した。今後も町民コミュニティ施設として、運営していく。また相談員による求人情報の提供も継続して行っていく。		
				21	12,983	5,557	5,557	7,426		9212											
	22			6,965	5,361	5,557	1,604	7164													
	23			6,920	5,316	5,316	1,604	人													
	商工観光課			20	24,930	24,570	24,570	360	企業立地助成金	0	人	4	4	4	4	A	継続	引き続き、地域活性化施設の利用募集を行うなど企業誘致促進を進めるとともに、助成金制度の広報を行い町内既存企業の育成を図る。			
411202	企業立地奨励事業	該当企業	本制度を活用し、企業誘致の促進と町内の企業の育成をし、産業振興と雇用の拡大を図っていく。	21	362	0		362	0												
				22	357	0		357	0												
				23	1,894	1,537	1,537	357	件												
基本	4-1(1)③各種団体を育成・連携し、産業を活性化します																				
411301	美方郡広域シルバー人材センター支援	シルバー人材センター会員	高齢者の就業の場を確保するために、情報収集及び提供、就業相談を行い高齢者の就業の拡大を図っていく。	20	5,985	5,386	5,386	599	就業延人数	22598	3	4	4	4	A	継続	運営委員会で事業内容を精査し、運営の助成を行う。				
				21	6,026	5,422	5,422	604		22315											
	22			6,016	5,422	5,422	594	22400													
	23			6,016	5,422	5,422	594	人													
	商工観光課			20	1,199			1,199	参加人数	37	2	3	2	3	C	事業のやり方改善	組織運営、特に宣伝関係の充実				
411302	産業特産品振興	浜坂産業観光振興協議会会員	イベントへの参加を促し、新温泉町特産品のPRをしてもらう。	21	1,208			1,208		37											
				22	178			178		37											
				23	1,020			1,020		人											
施策	4-2自然活用型産業を振興するまちづくり																				
基本	4-2(1)①農業経営基盤を強化し農地を保全します																				
421101	米生産数量調整円滑化推進事業	農業者	県より配分された米の配分量・配分面積を超過しない生産調整を達成する。	20	7,044	1,110	435	5,934	水稲作付面積(目標配分)	615	水稲作付確定数量	3019710	4	4	4	A	継続	生産調整者のメリット拡大策と、調整した水田への振興作物の交付額(町予算を通らない協議会交付金)のさらなる増額が望まれる。また、米生産意欲が高い地域であるので、良質米の栽培継続と野菜振興作物の推進と産地化が課題である。その一方で調整することによる耕作放棄田の解消に取組む必要がある。			
				21	6,083	1,070	454	5,013		612		3015640									
	22			8,841	937	396	7,904	614		3015540											
	23			8,445	541	0	7,904	ha	kg												
	農林水産課																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			進捗率 (農道)	進捗率 (水路)	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源													
421105	中山間地域総合整備事業	整備の遅れている中山間地域の農業生産基盤、防災安全施設	営農しやすい生産基盤、安全な集落環境とする	20	46,334	40,400	40,400	5,934	進捗率 (農道)	68.4	進捗率 (水路)	4	4	4	4	A	継続	当初計画どおり実施する。	
				21	132,467	126,850	126,850	5,617		100									
	22			99,570	94,460	94,460	5,110	100											
	23			19,100	19,100	19,100	5,110	%	%	%	%								
	農林水産課																		
421107	大庭地区県営ほ場整備推進事業	大庭耕地	ほ場整備事業を実施して、大型機械が作業可能な農地とし、地域の貴重な資源である優良農地の保全・活用を図る	20	360	0		360	進捗率	5		4	4	4	4	A	継続	ほ場整備推進委員会と土木又地元区長等とよく協議し、事業を進めていく。	
				21	2,597	0		2,597		10									
	22			7,710	2,600	2,600	5,110	10											
	23			500	0		5,110	%	%	%	%								
	農林水産課																		
421108	農業用施設災害復旧事業	異常なる降雨等により被災した農地、農業用施設	原形に復旧またはこれに代わるべき必要な施設を整備する。	20	659			659	進捗率 (現年)		進捗率 (繰越)	4	4	4	4	A	継続	災害発生随時、継続実施していく。	
				21	18,593	17,264	17,264	1,329		100									
	22			5,496	3,000	3,000	2,496	0		100									
	23			2,496			2,496	%	%	%	%								
	農林水産課																		
421109	農地災害復旧事業	異常なる降雨等により被災した農地、農業用施設	原形に復旧またはこれに代わるべき必要な施設を整備する。	20	5,215			5,215	進捗率 (現年)		進捗率 (繰越)	4	4	4	4	A	継続	災害発生随時、継続実施していく。	
				21	1,329			1,329		100									
	22			1,901			1,901	0		0									
	23			1,901			1,901	%	%	%	%								
	農林水産課																		
421110	町単農業振興事業	国県費の補助対象とならない小規模の未整備農業用施設等	営農しやすいように整備する	20	973	314	314	659	交付決定率	100		4	4	4	4	A	継続	農道舗装が主であるがこの制度自体、中山間直払い・農地水等で地元対応するよう指導する。	
				21	2,113	180	180	1,933		100									
	22			2,496	300	300	2,496	100											
	23			0	0		0	%	%	%	%								
	農林水産課																		
421111	農業委員会運営事業	農業委員数22名	農業委員による農地パトロールを随時実施し、違法転用を未然に防止する。また、遊休農地解消対策について、行政期間と連携して遊休農地を減少させる。	20	3,237			3,237	許可・受理件数	341		4	4	4	4	A	継続	改正農地法が平成21年12月15日から施行されたので、制度の周知・組織体制の充実を図る。農地基本台帳の整備の強化、充実を図るためにも組織強化必要	
				21	10,280	4,965	2,892	5,315		324									
	22			7,390	2,042		5,348	498											
	23			7,390	2,042		5,348	件	%	%	%	%							
	農林水産課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
421112	農業経営基盤強化措置 特別会計事務	・国有農地及び貸付者	・耕作放棄地とならないよう適正利用を図る	20	360		360	貸付け農地	3			4	4	4	A	継続	貸付け地の不適切管理(耕作放棄)防止対策の強化する。農地パトロール等により、耕作状況を確認、是正する。	
				21	826	101	42		725									3
				22	713	59			654									3
		農林水産課			23	713	59		654	%								
421114	二尾山農地対策	この団地に入植出来る者は、新温泉町民及び町民が組織する団体又は法人若しくは、町が実施する新規就業支援事業による就農者とする。	広大な土地利用の中で生産所得の向上と産地確立を目指し、地域の活性化と専業農家の育成、土地利用の有効活用を図る。	20	10,367	9,048	8,631	1,319	農地利用率	86	行事(参加人数)	2	3	3	2	C	事業のやり方改善	除草を目的とした放牧利用などの入植の条件の緩和や広報等によるPRIにより、入植対象者を拡大し、未利用農地を減少させる。
				21	10,479	9,150	8,895	1,329		54								
				22	10,027	9,017	8,684	1,010		79.6								
		産業建設課			23	10,683	9,673	8,660	1,010	%	人							
421115	歌長栽培施設管理	住民・観光客	観光と農業利用による四季型農業の推進を図るため、花いっぱい運動推進事業に提供する花苗の生産等を行う。	20	395	95	95	300	全体生産量	25800		1	1	1	1	D	終了	22年度は民間業者からの花苗購入配布の形態で対応した。22年をもって施設を廃止し、温泉地域の花いっぱい運動を、今後浜坂方式に一本化する方向で調整する。
				21	397	95	95	302		23370								
				22	732	435	435	297		0								
		産業建設課			23		0	0	本									
421116	農地農業用施設災害復旧事業	被災した農地、農業用施設	被災農地、農業施設の早期の復旧により、農業の維持を図り、併せて農家経営の安定に寄与する。	20	6,658	5,040		1,618	復旧率	58		4	4	4	4	A	継続	今後災害が発生した場合、現人員での対応が難しいため農林水産課と調整の上事業執行する。
				21	21,749	20,118		1,631		92.85								
				22	9,801	8,494	4,340	1,307		100								
		産業建設課			23	1,309	2	2	1,307	%								
421117	土地改良区の指導	土地改良区	・土地改良区の適正運営 ・運営に係る諸問題の解決	20	300			300	解決数	10					2	C	内容縮小	今後、土地改良区の運営について、自立した運営の心がけを再認識させ指導にあたる。なお、国県からの調査等、関係機関との調整が必要なものに関しては適宜指導にあたる。
				21	302			302		5								
				22	297			297		3								
		産業建設課			23	297			297	回								
421118	県営地すべり対策事業に関する調整	農地、農村	災害から農業農村の住民の生命・財産を守る。	20	1,019			1,019	指定件数	1					4	A	継続	地区住民からの要望、情報提供などを的確に確認し、県の担当課へと要望していく。
				21	1,027			1,027		0								
				22	1,010			1,010		0								
		産業建設課			23	1,010			1,010	件								

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案				
						一般財源															
421119	(社)兵庫みどり公社農地保有合理化事業	農地	保有合理化を実施する。	20												継続	町基本構想との整合性があり、農地保有合理化事業を替って実施できる団体等があれば移行する。				
				21	760	35		725	売却事業	0	その他事業	0	4	4	4			4	A		
	22			659	5		654		0		0										
	23			654	0		654	件		件											
421120	農業経営基盤強化資金利子補給事業	農業者	農林漁業金融公庫資金を借入れた、農業者に利子補給金を交付する。	20												継続	農業者への金融機関の貸し渋りが出ないよう、金融機関と調整していく。				
				21	1,341	12	6	1,329	実績農業者数	1			4	4	4			4	A		
	22			788	134	67	654		3												
	23			786	132	67	654	人													
421121	農地利用集積円滑化事業	農用地等の所有者及び効率的かつ安定的な農業経営を営む者	農地利用集積円滑化事業の普及啓発及び面的集積	20												継続	農用地等の所有者及び効率的かつ安定的な農業経営を営む者から、農地の利用について委任を受けてから、迅速に農地を面的にまとめた形で貸付等を実施する。(H23年度より米戸別所得補償対象事業となる。)				
				21					利用権設定数				4	4	4			4	A		
	22			1,054	400		654		1												
	23			1,054	400		654	人													
421122	中山間地域等直接支払事業	対象地域において取組内容を定めた協定締結集落及び協定参加者	耕作放棄の防止並びに農地の持つ多面的機能の維持 将来にわたる営農活動の担い手の育成	20	96,245	89,712	22,406	6,533			29					継続	他の関連施策(耕作放棄地・担い手育成)との連携によって、集落の営農活動の維持並びに将来的な活動の継続が可能となるよう方向付けを行っていく。				
				21	95,492	89,271	22,318	6,221	協定対象地内耕作放棄地	0	協定締結集落数	29	4	4	4			4	A		
	22			103,428	97,427	24,275	6,001		0		31										
	23			103,453	97,452	24,279	6,001	ha		集落											
基本	4-2(1)②林道等の林業生産基盤を充実させます																				
421201	公有林整備事業	町有林・町行造林	保育整備し、森林の公益的・多面的機能の増進を図る。	20	5,858	5,199	12	659								抜本的見直し	①町有林は、中長期的の施策計画を作成し検討。分取造林地は、木材単価の低迷の中、伐採搬出を行える状況になく、長伐期へ移行せざるを得ない。②平成22年12月に国が策定した「森林・林業再生プラン」では、補助制度が大きく変更され、搬出を伴わない事業は補助金がもらえない。③今後、町行造林の施策にあたってはA)搬出を目標とした施策を継続するか。B)補助金がもらえない状況でも、環境整備として施策を継続するかの検討が必要。				
				21	6,713	5,565	85	1,148	実施率	100								4	4	4	4
	22			9,523	8,216	520	1,307		100												
	23			8,059	6,752	3,376	1,307	%													
	農林水産課																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
421202	林業振興事業	林業関係者	施業のための作業道開設を推進する。	20	665	245	245	420	作業道延長	490	m		4	4	4	4	A	継続	国・県の補助随伴事業であり、施業推進のための作業道開設の唯一の事業であることから、継続の必要があると考えられる。
				21	704	160	160	544		320									
	22			1,174	104	104	1,070	209											
	23			1,570	500	500	1,070												
	農林水産課																		
421203	林道維持管理事業	林道	良好で安全な状態に保つ	20	6,775	4,557	4,557	2,218	通行不可件数	1	件		4	4	1	4	B	継続	簡易な作業は町直営で取組んでいる。今後も工事対応を極力縮小して経費の削減に努め、限られた予算内で可能な限り多くの事業を実施するようにする。また、毎年法面崩壊等が発生し、側溝清掃・路面整形等の修繕工事対応をする必要がある箇所(路線)については、林道改良工事(法面改良・舗装工事)を行い抜本的な対策を取ることが、長期的に見て経済的でもあり、目的を達成するための有効な対策と考えられる。
				21	6,042	3,022	3,022	3,020		2									
	22			14,113	11,499	11,499	2,614	3											
	23			9,914	7,300	7,300	2,614												
	農林水産課																		
421204	県営林道整備事業	県営林道池ノ尾線	開設事業の推進を図る	20	27,259	26,000	26,000	1,259	林道開設進捗率	79.7	用地登記進捗率	0	4	4	4	4	A	継続	開設工事については平成21年度で約87%の進捗となり、早期完成に向け関係者が一丸となって取組んでいる。県との連携により残工事の円滑な実施を図る。また、林道用地の未登記区域については、地籍調査事業と併せ登記処理を行う。
				21	23,327	21,998	21,998	1,329		87									
	22			20,204	19,194	19,194	1,010	91											
	23			21,510	20,500	20,500	1,010	%	%										
	農林水産課																		
421205	有害鳥獣防除事業	有害鳥獣	捕獲し、被害軽減を図る	20	4,317	2,039	2,039	2,278	捕獲頭数	190	匹		4	4	4	4	A	継続	有害被害は増加の傾向にあり、シカ・外来生物(アライグマ、ヌートリア等)などの被害動物の出没も増えている状況の中、集落ぐみの防護と捕獲による対策推進、意識改革が必要となっている。また、捕獲班(猟友会会員)は高齢となり、特に銃所持者は近年激減しつつある。その対策として、平成23年度より5年間、①有害鳥獣捕獲班確保対策事業②新規免許取得者確保対策事業の2事業を実施し、技術の向上や安全対策、新規狩猟者の確保に取り組んでいる。
				21	4,619	1,720	1,720	2,899		197									
	22			7,577	3,120	3,120	4,457	387											
	23			7,642	3,185	3,185	4,457												
	農林水産課																		
基本	4-2(1)③港湾の整備と漁業資源の管理・育成に努めます																		
421302	県営漁港改良事業	浜坂漁港、諸寄漁港、居組漁港	安全で円滑な漁業活動ができるように漁港施設の改良を図る	20	108,527	108,405	11,261	122	漁港施設に関する苦情件数	0	漁港関連施設に関する苦情件数	0	4	4	4	4	A	継続	漁港施設が老朽化してきており、継続しての改良が必要。漁港内の航路に土砂の堆積が続いており、継続して浚渫が必要。
				21	140,242	140,000	14,000	242		0									
	22			88,228	88,050	8,805	178	0											
	23			18,000	18,000	1,800	178												
	農林水産課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
421303	内水面漁業振興事業	内水面	稚魚放流しなければ、釣り人により漁数が大幅に減少する。	20	900	720	720	180	アユ基準達成率	100	ウナギ基準達成率	100	4	4	4	4	A	継続	兵庫県内水面漁業管理委員会から割り当てられた放流量の一部について支援している。気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がつづいており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。そのため、河川内構造物(堰堤等)の改良を進め、魚の産卵場の確保及び造成を図るとともに、降水量に影響を及ぼしていると考えられる河川流長を維持する必要がある。
				21	962	720	720	242	100	100									
	22			898	720	720	178	100	100										
	23			898	720	720	178	%	%										
	農林水産課																		
421304	漁業振興事業	漁業者	漁業の効率的かつ安定的な水産物供給の確保と漁家経営の安定を図る。	20	4,179	2,261	2,261	1,918	アワビ・ヒラメ漁獲量	4600	総漁獲高	3119	4	4	4	4	A	継続	町の産業、漁家経営の安定のために有効な事業であるので、社会情勢を鑑みながら弾力的に補助を継続する。
				21	43,714	41,721	41,721	1,993	5554	3759									
	22			3,260	2,963	2,963	297	4394	4352										
	23			3,684	3,387	3,387	297	kg	百万円										
	農林水産課																		
421306	並型魚礁設置事業	沿岸魚類の漁獲量の増加を図る。	魚価の高いカサゴ、メバル類の漁数を増やす。	20					コンクリート角型魚礁空m		鋼製魚礁空m		4	4	4	4	A	終了	現時点では、次年度以降の計画はない。
				21															
	22			31,161	28,665	4,915	2,496	1032	713										
	23							m ²	m ²										
	農林水産課																		
421307	県営漁港整備事業	浜坂漁港、諸寄漁港、居組漁港の水産業関係者	安全で円滑な漁業活動ができるように漁港施設内の整備を図る。	20	4,268	2,350	352	1,918	船舶座礁件数	0	積雪苦情件数	0	4	4	4	4	A	継続	漁港施設が老朽化してきており、継続しての改良が必要。漁港内の航路に土砂の堆積が続いており、継続して浚渫が必要。
				21	9,190	7,197	1,106	1,993	0	0									
	22			854	200	30	654	0	0										
	23			5,150	2,000	1,830	3,150	件	件										
	農林水産課																		
421308	町営漁港整備事業	三尾漁港、釜屋漁港の水産業関係者	安全で円滑な漁業活動ができるように漁港施設内の整備を図る。	20		0		0	三尾漁港苦情件数	0	釜屋漁港苦情件数	0	4	4	4	4	A	継続	漁港施設が老朽化してきており、継続しての修繕が必要。
				21		0		0	0	0									
	22			1,618	1,321	1,321	297	0	0										
	23			3,594	3,000	3,000	594	件	件										
	農林水産課																		
421309	外国人漁業研修生受入事業	底引網漁業	外国人漁業研修生を受け入れることで船員不足が解消され、底曳網漁船の出漁を可能とする。	20	6,109	4,850	4,850	1,259	研修生及び実習生受入人数	11	底引き網漁業漁獲高	2711	4	4	4	4	A	事業のやり方改善	町の産業活性化、漁家経営の安定のために有効な事業で引き続き支援をしていく。
				21	9,879	8,550	8,550	1,329	15	2564									
	22			5,286	3,385	3,385	1,901	14	2199										
	23			2,009	108	108	1,901	人	百万円										
	農林水産課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
421310	サクラマスの里づくり事業	内水面	兵庫県内水面漁場管理委員会から指示されている増殖基準数量を達成し、自然と親しめる豊かな岸田川を創出することで環境保全の形成に資する。	20	820	640	640	180	サクラマス生息調査数	352		4	4	4	4	A	継続	兵庫県内水面漁業管理委員会から割り当てられた放流量の一部について支援している。気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がつついており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。そのため、魚の移動を阻害する河川内構造物の改良を進め、産卵場の確保及び造成を図るとともに、降水量に影響を及ぼしていると考えられる河川流量を維持する必要がある。	
				21	818	576	576	242	402										
	22			754	576	576	178	459											
	23			754	576	576	178	尾											
421311	外来魚駆除緊急対策事業	内水面	外来魚(ブラックバス、ブルーギル)駆除により固有魚種被害を軽減し、豊かな水産資源を維持する。	20	340	160	160	180	外来魚捕獲数量(ブラックバス)	5	外来魚捕獲数量(ブルーギル)	4	4	4	4	4	A	継続	外来魚による被害、気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がつついており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。それゆえ、外来魚の生息拡大により、河川における固有魚種の減耗等の生態系破壊が懸念されており、外来魚の生態及び駆除方法の解明や住民に対する普及啓発が課題となっている。
				21	386	144	144	242	135	0									
	22			322	144	144	178	718	500										
	23			322	144	144	178	尾	尾										
基本	4-2(1)④「但馬牛」の生産から肥育までの一貫生産体制を整えます																		
421401	畜産基地償還事務	畜産基地建設事業町負担金	償還金の完済	20	11,602	11,242	11,242	360	償還率	89.6		4	4	4	4	A	終了	22年度で償還完了	
				21	11,665	11,242	11,242	423		95									
	22			11,599	11,242	11,242	357	100											
	23			357	0		357	%											
421402	畜産振興事業	和牛生産者	経営安定及び飼養規模拡大	20	4,155	2,896	2,896	1,259	子牛市販売高	287855	子牛市平均価格	581526	4	4	4	4	A	内容拡大	和牛生産農家の現状は、高齢化や後継者不足と依然厳しい状況であるため、生産保護と飼養規模拡大に向けた大胆な政策の検討・導入が望まれる。農家のニーズの的確な把握と関係機関との協議が必要である。
				21	4,525	2,290	2,290	2,235		263679	561019								
	22			5,119	2,920	2,920	2,199	255759		525172									
	23			8,285	6,086	6,086	2,199	千円		円									
421403	子牛流死産互助共済事業	和牛生産者	子牛の生産事故に対し、農家の経済的損失を補い、生産意欲の向上と経営安定を図る。	20	1,274	914	914	360	加入率	96.7	支払給付金額	221	4	4	4	4	A	継続	美方郡広域事務組合の家畜共済引受時に併せて全農家に申込みを促し、円滑な加入推進に努める。収支状況を勘案しながら、共済掛金(要綱)の改正を検討する必要がある(前回14年度に改正)。美方郡広域事務組合及びみかた畜産事業所(獣医師)との連携を、さらに強化することが必要である。
				21	3,092	857	857	2,235		96.3		116							
	22			2,769	868	868	1,901	96		177									
	23			2,825	924	924	1,901	%		万円									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
421404	子牛共進会	和牛生産者	飼育・生産継続、増頭意欲の高揚、畜産技術の向上	20	1,086	427	427	659	出場頭数	90		4	4	4	4	A	継続	選定検査で畜産農家訪問時に事業趣旨の理解を得るとともに、出品の協力をお願いし、出品頭数の確保を図る。また、農協(みかた畜産事業所)との連絡を密にし、早期の出場牛決定通知並びに当日の審査及び褒章授与式の円滑な進行に努める。
				21	2,024	393	393	1,631		81								
				22	1,998	394	394	1,604		79								
	農林水産課	23	2,085	481	481	1,604	頭											
基本	4-2(2)①地域産品物の開発を支援します																	
422110	地産地消	地産:生活研究グループ・朝市直売所 地消:町民	町民が町内で生産された農水畜産物並びに加工品を町内で消費する。町民の地場農産物に対する生産と消費の意識を高める。	20	959			959	美方郡農山漁村活性化大会参加者	110		3	4	3	3	B	事業のやり方改善	生産者の安全・安心な農水畜産物の生産・販売意識の拡大(多品目生産量の増加、生産履歴記帳)。消費者ニーズへの対応。農業改良普及センター・JAとの連携。行政の情報・広報活動の継続。
				21	1,631		1,631	120										
				22	951		951	97										
	農林水産課	23	951		951	人												
施策	4-3交流型産業を振興するまちづくり																	
基本	4-3(1)①観光資源を整備・充実・活用します																	
431102	公衆トイレ維持管理(温泉地域)	温泉地域の公共トイレ	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	20	3,011	2,472	2,472	539	苦情件数	0		4	4	4	4	A	継続	夢千代トイレを設置してからかなりの年数が経過しており、修繕が必要である。
				21	3,921	3,377	3,377	544		0								
				22	2,575	2,040	2,040	535		0								
	振興課	23	3,105	2,570	2,570	535	件											
431103	観光施設維持管理	温泉地域内観光施設 6箇所	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	20	3,613	2,474	2,474	1,139	苦情件数	0		4	4	4	4	A	継続	観光施設の清掃・草刈等に努め、利用者が気持ちよく利用できるように維持管理していく。また、ライトアップのランプを類似品を使用するなどしてコストの削減を図る。
				21	4,813	2,820	2,820	1,993		0								
				22	8,817	6,856	6,856	1,961		0								
	振興課	23	5,819	3,858	3,858	1,961	件											
431104	夢千代館維持管理	夢千代館	来館者が興味を持って見学できるように管理する	20	6,006	5,586	5,586	420	入館者数	27441		4	4	3	4	A	継続	来館者数が湯村温泉の入込客の減と共に年々減少している。観光協会等と連携を取り、湯村温泉への誘客策を検討・実施していく。
				21	6,161	5,738	5,738	423		23149								
				22	6,122	5,706	5,706	416		20829								
	振興課	23	6,454	6,038	6,038	416	人											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
431105	生涯学習のむら維持管理	生涯学習のむら	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	20	5,947	5,527	5,527	420	宿泊棟利用人数	4253	4	4	4	4	A	継続	週末及び夏季の利用は安定して多いが、平日の利用が少ないので団塊の世代等、平日動ける人の利用を促すPRを行う。宿泊と農業体験を組み合わせたイベントを開催するため農地を借り整備している。
				21	5,430	5,007	5,007	423	4006								
	22			3,132	2,716	2,716	416	3945									
	23			2,454	2,038	2,038	416										
	振興課																
431107	ジオパーク館管理運営事業	山陰海岸ジオパーク館	山陰海岸ジオパークの拠点施設として整備し、新温泉町の地質遺産・歴史・文化及び自然について学習できる場とする。	20	3,559	502	502	3,057	施設に対する参加人数	9074	4	4	3	4	A	内容拡大	年間目標(30,000人)に向け山陰海岸ジオパークの拠点施設としての施設整備を行うと共に、県補助による検索システムの充実やイベントプログラムの充実を図り、山陰海岸ジオパーク構想の実現を図る。
				21	58,337	55,257	55,257	3,080	18677								
	22			20,111	16,546	16,546	3,565										
	23			34,675	31,110	31,110	3,565										
	商工観光課																
431109	温泉町観光協会補助	湯村温泉観光協会	湯村温泉観光協会の自立を図る観光客の入込を増やす。	20	18,017	15,500	15,500	2,517	温泉地域観光客入込数	819	4	4	4	4	A	内容拡大	町の補助金だけでなく、県やその他の補助事業を取り入れ事業実施するよう指導する。また、湯村温泉及び周辺地域活性化研究会での最終報告を受け、実現できるよう取り組んでいくことで観光客の増加を狙う。
				21	17,426	14,406	14,406	3,020	831								
	22			15,886	14,400	14,400	1,486	787									
	23			14,733	13,247	13,247	1,486										
	振興課																
431110	兵庫県立但馬牧場公園管理運営事業	来園者	但馬の自然を活かし、但馬牛のPRと生産振興の拠点として、但馬牛やヤギ・ヒツジなどの動物や自然とのふれあいを通じて、四季を通じて都市と農村の交流を促進することにより、地域の活性化を図る。	20	134,652	90,936		43,716	来園者数達成率	90.6	4	4	4	4	A	継続	但馬牛のPRと生産振興の拠点として、また四季を通じて都市と農村の交流促進を図るよう、より一層職員一丸となって創意工夫しながら、継続して運営を図っていく。
				21	130,041	86,325		43,716	98.7								
	22			138,784	95,462		43,322	99									
	23			126,767	83,445		43,322										
	牧場公園課																
431111	浜坂海岸レクリエーションセンター管理事業	交流人・町民	健全な運営を行い、利用者の増を図るため、魅力ある観光地づくりにつなげる施設とする。	20	6,827	5,568	1,525	1,259	利用者数	8545	4	4	3	4	A	継続	町民の公衆浴場、コミュニティの場であり利用料の据え置き及びPRに努める。
				21	6,822	5,554	1,551	1,268	8527								
	22			6,389	5,438	1,851	951	7666									
	23			6,422	5,471	2,197	951										
	商工観光課																
431112	公衆トイレ維持管理事業(浜坂地域)	公衆トイレ	利用者に快適な公衆トイレの提供を行う	20	3,394	2,435	2,435	959	苦情件数	0	4	4	4	4	A	継続	今後とも清潔で適正な維持管理をする。
				21	2,868	1,811	1,811	1,057	0								
	22			2,529	1,578	1,578	951	0									
	23			2,757	1,806	1,806	951										
	商工観光課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
431113	「道の駅」整備事業	観光客	観光資源、交流事業のネットワーク化を図り、魅力あふれる観光地づくりを進める	20					述べ参加人員		4	4	3	4	A	継続	運営グループの参画を見据えた検討委員会の設立		
				21	2,545	49	49	2,496										8	
	22			2,606	110	110	2,496	14											
	23			4,996	2,500	2,500	2,496	人											
基本	4-3(2)①魅力ある交流イベントを開催します																		
432101	但馬牛まつり	但馬の人々及び訪れる交流人	但馬の人々及び但馬を訪れる交流人が心をつなげて集い、楽しみ、交流を深めるため交流人の増を目指す。	20	5,376	1,000	1,000	4,376	参加者数	20000	造形物コンテスト参加団体数	7	4	4	4	4	A	継続	平成23年度で第18回目を迎える。マンネリ化の声も有るが、半面毎年楽しみにしているとの声もあり、アンケート調査などを踏まえ改善できる部分は見直しを行わないながら開催していく方向で進める。
				21	3,960	1,000	1,000	2,960		23000		9							
	22			4,387	1,000	1,000	3,387	23000	6										
	23			4,387	1,000	1,000	3,387	人	団体										
432102	かくれんぼ大会	交流人	町外からの参加者との交流を深めるとともに湯村温泉の魅力在全国に知ってもらおうとともに交流人の増を目指す。	20	3,258	800	800	2,458	町内施設への宿泊者数	162	参加者数	744	4	4	4	4	A	継続	参加者の約20%が町内に宿泊しており、現行どおりかくれんぼ協会に委託し継続していく。かくれんぼ協会の会員が少なく会員の多くは町職員である。協会としての動きを活発にするため協会員を増やし、自主的に大会運営できる体制を整える必要がある。
				21	3,337	800	800	2,537		152		734							
	22			3,296	800	800	2,496	155	775										
	23			3,296	800	800	2,496	人	人										
432103	イベント企画事業	観光客・都市部住民	イベントを通して、新温泉町の良さを感じていただき、何度も訪れていただけるようPRしていきたい。	20	3,807	510	510	3,297	観光客(入込数)	1344	3	2	2	4	C	事業のやり方改善	但馬広域イベントについては市町では見直しの声大きいですが、但馬の祭典20周年を平成26年に予定しており、機運の醸成を図るためにも、現行のイベントを継続していく見込。新温泉町は他の市町と比べ人的負担も少なく、今後においても最小の経費で最大の効果が図れるようなイベントを取捨選択していく。		
				21	3,454	434	434	3,020		1396									
	22			990	396	396	594	1130											
	23			990	396	396	594	千人											
432105	都市との交流事業	交流人	町外の人との交流を深めることにより新温泉町の魅力をアピールし、交流人を増やす。	20	2,248	450	450	1,798	温泉地域観光客入込数	819	4	4	4	4	A	継続	雪のプレゼント・足湯出張は、新温泉町をPRする有効な事業であり今後も継続していくべき。今後も有効なPR方法を検討していく。		
				21	773	169	169	604		831									
	22			708	114	114	594	787											
	23			813	219	219	594	千人											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
432106	交流事業(子どもPJ含む)	観光客・都市住民、小学校	イベントによる交流や体験交流事業などを通して、情報発信を行い誘客を促進するとともに地域の活性化を図る。	20	2,634	476	476	2,158	参加者数	160	4	3	1	4	B	内容拡大	今後において体験メニューの洗い出し、モデルプランの作成、安全講習、指導者の養成などの取組みを行い、受入体制の整備を図る。受入組織の整備が整ったとしても、需要(学校側のアクション)が無いと組織の維持が厳しい。効果的に宣伝していくため、独自のパンフレット作成、各種ホームページを利用した売り込みを展開していく。		
				21	2,917	441	441	2,476		440									
	22			3,778	450	450	3,328	440											
	23			3,778	450	450	3,328	人											
432108	ふるさとおんせん会	交流人	町外の人との交流を深めることによって新温泉町の魅力をアピールする	20	1,829	450	450	1,379	ふるさとおんせん会会員数	200	4	4	4	4	A	継続	ふるさとおんせん会については、現在の補助金の中での交流イベントは難しい状態であり、会員からの実費徴収でのイベント開催となると金額が高くなり参加者が見込めない。実施主体の見直しが必要。		
				21	1,598	450	450	1,148		140									
	22			1,876	450	450	1,426	150											
	23			1,876	450	450	1,426	口											
基本	4-3(3)①若年層の定住化と団塊の世代等の受入れを図ります																		
433101	町営住宅管理	町営住宅及び入居者	施設の良好な状態維持と快適な居住環境の確保	20	4,241	2,742		1,499	家賃収納率	100	苦情件数	0	4	4	4	4	A	継続	期限内の家賃徴収と計画的な施設修繕を行い、適切な管理運営を行う。
				21	2,834	2,230		604		100									
	22			4,518	3,032		1,486	98.61	0										
	23			5,007	3,521		1,486	%	件										
基本	4-3(4)①都市部への情報発信を充実します																		
434101	広域観光PR事業	観光客	本町に観光客を誘客する	20	5,350	2,713	2,713	2,637	入込数	1344	4	4	4	4	A	継続	近年の観光は、体験型・着地型と個人の意思でそれぞれの観光地を訪れるようになっており、線・面での対応が必要であり、1市町では対応に限度があり各市町と連携を持って対応する必要がある。		
				21	5,383	2,303	2,303	3,080		1396									
	22			4,843	2,407	2,407	2,436	1396											
	23			4,144	1,708	1,708	2,436	千人											
434102	新温泉町観光大使	新温泉町の出身者	積極的に新温泉町の観光PRをしてもらい誘客につなげる	20	1,661	42	42	1,619	送客件数	1	4	2	2	2	C	事業のやり方改善	平成21年度末が大使任期満了となるため、継続任命のアンケートを行った。結果88名の大使数となったが、一定の絞込みができた。細かい情報提供により、会員意識の啓発を図りながら、送客特典の周知と観光大使名刺の利用の促進を図る。		
				21	1,442	234	234	1,208		5									
	22			472	56	56	416	5											
	23			760	344	344	416	件											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円			総事業費			事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源												
施策	4-4商工業を活性化するまちづくり																		
基本	4-4(1)①商店街を活性化します																		
441101	商工会補助	浜坂町商工会・温泉町商工会	商工会が実施する経営改善普及事業等を支援していく。商工会合併に向けての指導を行っていく。	20	17,940	15,962	15,962	1,978	会員数	646							継続	継続実施	
				21	17,510	15,517	15,517	1,993		615									
				22	16,859	15,195	15,195	1,664		600									
	23			15,990	14,326	14,326	1,664												
	商工観光課							人											
基本	4-4(1)②中小企業を活性化します																		
441202	中小企業振興資金融資制度	町内の中小企業者	中小企業の資金供給を低金利で資金運用し、経営の安定と健全化を図っていく。	20	140,959	140,000	140,000	959	融資貸付件数	89	融資貸付金額	326913	4	4	4	4	A	継続	年々利用が減少傾向にある。金融機関、商工会と融資内容を検討し利用しやすい方向で制度を継続していく。また預託金の見直し(減額)を引き続き検討する。
				21	140,966	140,000	140,000	966		42		209200							
				22	140,654	140,000	140,000	654		30		166500							
	23			140,654	140,000	140,000	654												
	商工観光課							件		千円									
政策	5<<快適・生活環境>>住みたくなる環境づくり																		
施策	5-1自然を守り育てるまちづくり																		
基本	5-1(1)①うるおいのある森林づくりを進めます																		
511101	森林保全管理巡視事業	町全域の森林	災害等の異常状況を把握して、早期の対応を図る。	20	570	210	210	360	異常確認回数	0							継続	当面現在の状態で継続する方針である。	
				21	391	210	210	181		0									
				22	329	210	210	119		39									
	23			269	210	210	59												
	農林水産課							回											
511102	環境対策育林事業	森林	間伐・枝打・抜切等の施策推進を図り、公益的・多面的機能増進を図る	20	11,205	10,845	8,246	360	総事業量	1273.69							継続	造林制度が、今までの保育、環境保全を中心とした施策ではなく、利用間伐(木材の搬出を中心)とした制度に変更になったため、事業規模の縮小は避けられない。	
				21	11,493	10,768	8,169	725		1470.36									
				22	11,002	10,824	8,225	178		1672									
	23			6,542	6,423	4,872	119	ha											
	農林水産課							ha											
511103	森林整備地域活動支援事業	兵庫みどり公社・北但西部森林組合・森林施業者	施業(枝打・間伐・抜切等)の推進を図る	20	17,789	17,429	4,358	360	事業量								継続	国県町が連携して行う補助事業であり、国の林業振興対策としての位置づけから計画に併せて実施する必要がある。	
				21	18,154	17,429	4,358	725		3486									
				22	17,607	17,429	4,358	178		3486									
	23			17,607	17,429	4,358	178	ha											
	農林水産課							ha											

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
511104	林業振興対策事業	林業研究グループ	町内1団体の活動推進を図る	20	1,446	187	187	1,259	参加人数		4	3	3	2	B	事業のやり方改善	当町には、現在県の認定団体が2団体存在するが、今後はグループ活動のより活性化並びに団体の統合に向けた調整を行うてゆく。
				21	406	104	104	302		14							
	22			169	50	50	119	17									
	23			169	50	50	119	人									
	農林水産課																
511105	治山地すべり対策事業	山林、林野	災害から守り、または被害を除去軽減し、地すべり等を未然防止する。	20	420			420	概成地区数		4	A	継続	地区住民からの要望、情報提供などを的確に確認し、農林水産課または県の担当課へと要望していく。農林水産課からの要請があった場合に必要に応じて、地元、事業主体(県)との調整を図っていく。			
				21	423			423		2							
	22			416			416	2									
	23			416			416	箇所									
	産業建設課																
基本	5-1(1)②松くい虫被害の予防と早期駆除をします																
511201	松くい虫特別防除事業	松林	松くい虫被害の蔓延防止を図る	20	2,695	2,036	361	659	被害量	68	4	4	4	B	継続	県の補助事業であり、平成23年度までは、県により策定された第3次松くい虫被害対策事業推進計画により実施してきたが、平成24年度以降の第4次策定は行わないこととされた。今後の実施については、近隣市町の状況も踏まえ、県と協議し、特別防除を中止し、伐倒等の駆除対策ならびに、地域と一体となった新たな松の植林を検討する必要がある。	
				21	2,912	1,885	307	1,027		84							
	22			2,330	1,855	413	475	137									
	23			2,397	1,922	480	475	m3									
	農林水産課																
511202	養蜂群移動保護事業	養蜂業者	養蜂被害の回避	20	1,102	742	368	360	被害数		4	4	4	B	継続	特別防除事業の実施に伴い、必ず実施する必要がある。特別防除事業の見直しにより事業の中止を検討する。	
				21	948	767	384	181		0							
	22			840	721	361	119	0									
	23			840	721	361	119	件									
	農林水産課																
511203	松くい虫地上散布事業	浜坂県民サンビーチの松林	松くい虫被害の蔓延防止を図る	20	859	200	1	659	被害量	9.5	4	4	4	A	継続	今後も他事業と連携をとりながら、浜坂県民サンビーチの松林を守ることに努める。	
				21	623	200		423		15							
	22			495	198		297	3									
	23			497	200		297	m3									
	農林水産課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
511204	松くい虫伐倒駆除事業	松林	松くい虫被害の拡大防止	20	2,108	1,449	456	659	駆除率			4	4	4	A	継続	被害木の早期発見と、被害拡大前の伐倒駆除事業を継続する。	
				21	1,867	840	279	1,027		90								
	22			1,962	1,605	562	357	100										
	23			1,927	1,570	570	357	%										
	農林水産課																	
511205	松くい虫被害市町計画策定	地区(関係者)	地区住民及び関係者に事業の周知を図り、事故防止を図る。	20	420	60	35	360	事故回数			4	4	4	B	継続	松くい特別防除事業の見直しに伴い、事業の終了を検討する必要がある。	
				21	234	53	28	181		0								
	22			228	50	25	178	0										
	23			238	60	35	178	件										
	農林水産課																	
基本	5-1(1)③恵みのある農地を保全します																	
511303	農地・水・環境保全向上対策事業	集落単位(各活動組織)、農地面積	農業及び農村の基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上。農業が本来有する自然循環機能の維持・増進する。	20	30,879	24,945	6,237	5,934	実績報告			4	4	4	4	A	継続	国庫補助事業であり、平成23年度は各集落(活動組織)より、体制整備構想策定を必要とする。
				21	27,717	23,308	5,827	4,409		36								
	22			27,935	24,132	6,033	3,803	36										
	23			27,935	24,132	6,033	3,803	件										
	農林水産課																	
基本	5-1(2)①貴重な自然環境を保全します																	
512101	自然公園清掃美化推進活動	自然公園	自然環境を清潔に保持し、利用者に快適な環境を提供する。	20	1,858			1,858	苦情件数			4	4	4	4	A	継続	清掃美化活動を行うことによって、ごみを捨てる人が少なくなってきた。本年度も看板を設置するなどして啓発にも取り組む。
				21	1,872			1,872		0								
	22			1,842			1,842	0										
	23			1,842			1,842	件										
	商工観光課																	
512102	自然公園施設管理事業	自然公園	自然公園等施設の維持管理に努め、公園を快適に利用してもらう	20	2,934	476	476	2,458	苦情件数			4	4	4	4	A	継続	公園を快適に利用していただく為今後も維持管理を行う。
				21	2,785	309	309	2,476		0								
	22			2,754	318	318	2,436	0										
	23			2,846	410	410	2,436	件										
	商工観光課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
512103	上山エコ施設管理事業	上山高原ふるさと館他2施設	上山高原エコミュージアムとの連携による取り組みをとおして自然環境保全、自然との共生をはかる。	20	5,530	2,713	2,713	2,817	参加人数 人	5315		4	4	4	4	A	継続	かけがえない自然を次代に継承するとともに地域の活性化に寄与する。また、山陰海岸ジオパークの扇ノ山ジオエリアの施設であり今後ともジオパークを意識した取り組みを進める。
				21	5,552	2,713	2,713	2,839		6065								
	22			5,506	2,713	2,713	2,793	6516										
	23			5,506	2,713	2,713	2,793											
施策	5-2快適な生活ができるまちづくり																	
基本	5-2(1)①美しいまちづくりを進めます																	
521101	こころ豊かなまちづくり推進事業	町民	飾花等、花に関する事業を通じ、こころ豊かな町づくり・人づくりを図る	20	1,160	800	800	360	ボランティア団体の数 団体	47		3	2	4	1	C	事業のやり方改善	町合併により、浜坂地域・温泉地域で別々の事業展開となっている。早期の事業一元化の是非の検討を図る。また、事業の実施窓口を関係部署に絞ることで活動の効率化や経費の節減が図られる。
				21	1,042	800	800	242		42								
	22			1,454	800	800	654	43										
	23			1,454	800	800	654											
	農林水産課																	
521102	花いっぱい推進事業	住民、花づくりをしている活動グループ(自治会、婦人会、老人会等)	花と緑に包まれた美しい町づくりの一環として、地域の美化と住民の花を育てる情操を育み、快適で活力ある生活環境を創り育てる運動を推進する。	20	2,270	951	951	1,319	無償配布数 本	11930		4	4	4	4	A	継続	国、県道沿いの花壇については、国道ボランティアサポート並びにひょうごアドプト事業の認定を受け、国、県費による花壇管理に方向転換し、コストを削減する。町直営方式(温泉地域)を委託方式(浜坂地域)に一本化したい。
				21	2,320	991	991	1,329		11972								
	22			2,309	1,002	1,002	1,307	12688										
	23			2,690	1,383	1,383	1,307											
	産業建設課																	
521103	屋外広告物条例推進事務	屋外広告物設置許可申請者	兵庫県屋外広告物条例を遵守し、適切に屋外広告物を表示・掲出するよう指導する。	20	1,268	69		1,199	是正指導件数 件	9	100	4	4	4	4	A	継続	市町の担当部局だけでなく、道路管理者、警察等関係機関と合同によるパトロールを実施し、課題の共有を図る。違反広告物に対しては、1市町単独ではなく、但馬丹波地域協議会で一斉指導を行うなど、連携した取り組みを行う。町広報等を活用し、屋外広告物条例に関するPRを行う。
				21	936	30		906		8	手数料収納率							
	22			923	32		891	17			100							
	23			923	32		891			%								
	建設課																	
521104	景観形成事業	新温泉町の優れた景観や快適な環境	守り、育て、創り出すため、魅力ある郷土の形成と秩序ある開発を促す	20	2,922	1,124	1,124	1,798	景観形成補助金交付件数 件	14	4	4	4	3	4	A	内容拡大	味原川周辺地区に関して、住民と行政が一体となり活動する景観まちづくり部会において地区指定範囲の拡大を含めた検討を継続する。
				21	2,270	760	760	1,510		9	景観修景助成金(県)交付経由件数							
	22			2,642	859	859	1,783	9			2							
	23			2,783	1,000	1,000	1,783											
	建設課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源	人件費										
521109	海岸環境美化清掃事業	県民サンビーチ	海岸に打ち上げられたゴミ及び漂着物等の収集運搬及び処分を行い、県民サンビーチの快適な環境を図る。	20	2,305	2,000	1,000	305	清掃面積	21700	4	4	4	4	A	継続	漁港海岸の景観の保持、美化のため維持管理を継続実施する。
				21	2,725	2,000	1,000	725		21700							
	22			2,297	2,000	100	297	21700									
	23			2,297	2,000	100	297	m ²									
	農林水産課																
521110	漁港環境整備施設維持管理事業	漁港及び海岸環境	緑地帯の維持及び景観の美化	20	2,092	1,912	956	180	景観美化の苦情	0	4	4	4	4	A	継続	漁港環境施設の景観の保持、美化のため維持管理を継続実施する。
				21	2,154	1,912	956	242		0							
	22			2,209	1,912	956	297	0									
	23			2,209	1,912	956	297	回									
	農林水産課																
521111	開発行為総合調整	開発行為者	適切な開発を行うよう指導する。	20	899			899	開発行為指導件数	1	4	4	4	4	A	継続	開発行為者との事前協議を十分行うよう努める。関係諸法令については、関係課との迅速な連絡調整に努め、申請資料を配付し意見回答の期限を設定するなど意見集約の迅速化を図る。
				21	604			604		0							
	22			594			594	0									
	23			594			594	件									
	建設課																
基本	5-2(1)②憩いのある公園づくりを進めます																
521201	健康公園維持管理	健康公園・町民	利用される方が気持ち良く使えるように管理する	20	23,076	22,656	22,656	420	入園者数	84644	4	4	4	4	A	継続	開園後かなりの年数が経過しており修繕必要箇所が増えており年次計画で修繕の必要がある。平成23年度は平成22年度繰越事業である健康公園体育館の屋根修繕等を行う。
				21	27,854	27,069	27,069	785		85837							
	22			24,361	23,589	23,589	772	79083									
	23			23,687	22,915	22,915	772	人									
	振興課																
521202	白馬公園維持管理事業	浜坂白馬公園(面積A=2.14ha)	環境の美化を図り、快適な公園空間を維持する。	20	2,812	688	688	2,124	苦情・要望件数	1	4	4	4	4	A	継続	樹木、植栽等の成長に対し適正な維持管理を行うために作業時間(作業員勤務時間)の増加を含めて検討する。
				21	3,241	1,121	1,121	2,120		0							
	22			3,874	1,159	1,159	2,715	1									
	23			3,874	1,159	1,159	2,715	件									
	建設課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	5-2(1)③土地利用を明確化します																	
521310	建築確認申請事務	建築物	敷地、構造、設備、用途について、建築基準法に則している建築物となるよう指導することにより、住民の生命・財産の保護を図り、公共の福祉に資する。	20	1,499	0		1,499	確認申請 進達件数	64						継続	現状の事務執行体制を継続するものとするが、平成21年度から県の窓口が但馬県民局新温泉庁舎から豊岡総合庁舎へ移転し、遠方となったこともあり、県の担当課(但馬県民局まちづくり建築第1課)と連携を密にし、事務を遂行する。	
				21	1,208	0		1,208		61			4	4	4			A
	22			1,188	0		1,188	51										
	23			1,188	0		1,188	件										
	建設課																	
521311	登記事務	公共の用に供するために取得した土地	公共の用に供するために取得した土地又は払下した土地の物理的状況、権利関係の登記を行う。	20	2,098	0		2,098	登記済率	100						継続	平成19年度中に当地域所管の法務局がオンライン指定庁に指定されたが、官公庁によるオンライン申請は確立されていないため申請行為を集約化し、事務の効率化を図る。	
				21	1,510	0		1,510		100			4	4	4			4
	22			1,486	0		1,486	100										
	23			1,486	0		1,486	率										
	建設課																	
521312	官民有地境界協定事務	町道敷、里道敷、水路敷	町道敷、里道敷、水路敷と隣接土地の所有権の範囲を確定する。	20	3,297			3,297	協定率	100						継続	境界協定を実施した場合、道路敷地等の財産管理が容易となるため今後も積極的取組む。	
				21	2,416			2,416		100			4	4	4			4
	22			2,377			2,377	100										
	23			2,377			2,377	%										
	建設課																	
521313	法定外公共物管理事務	里道敷、水路敷	道路法、河川法の適用を受けない里道敷、水路敷等の財産管理を行う。	20	2,997			2,997	占用料徴収率	100						継続	占用料の賦課時期について可能な限り年度当初に行い徴収事務を円滑に行う必要がある。用途廃止物件は短期間で処分できるように引き続き関係課と連携を密に行う。	
				21	2,114			2,114		100			4	4	4			4
	22			2,080			2,080	100										
	23			2,080			2,080	%										
	建設課																	
521314	地籍調査事業	新温泉町全域:224.20km ² [新温泉町全面積から、国土調査法19条5項指定区域及び国有林面積を除く:241.00-16.80=224.20km ²]	地籍事業の推進により、土地境界の明確化を図る。併せて、未登記用地の登記処理を促進するとともに新旧字限管理の調整(一元化)を図る。	20	30,540	24,007	7	6,533	実施率	0.76						継続	引き続き林道池ノ尾線用地区域を調査して未登記の解消を図ることとするが、今後は毎年完了する個所の成果(地籍図)の管理と利活用について調整を図る必要がある。そのための方策として、補助経費の対象となる臨時職員並びに嘱託職員を最大限に活用することにより、補助予算を有効に活用した事業の円滑な進捗を図る体制の整備を検討中である。	
				21	31,956	25,675	225	6,281		1.61			4	4	4			4
	22			35,274	28,975	1,575	6,299	2.63										
	23			31,299	25,000	2,200	6,299	%										
	農林水産課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費									
基本	5-2(2)①中心市街地の活性化を進めます																
522106	都市計画街路事業(浜坂駅港湾線)	都市計画道路浜坂駅港湾線	計画に基づく構造に整備することにより、車両通行の円滑化と安全な歩行空間を確保する。	20	57,149	56,250	2,813	899	事業進捗率	29						継続	事業がスムーズに進むよう県土木担当との連絡を密にし、協力的体制を築くとともに、事業主体である兵庫県と協力しながら事業の推進に努め、事業負担金の財源確保については財政担当と調整しながら進める。また、可能な限り住民の意見を取り入れて歩道の舗装を工夫するとともに、街路樹の選定を行うよう調整を図る。
				21	55,356	54,450	2,723	906		54							
	22			62,444	61,256	3,063	1,188	82									
	23			37,188	36,000	1,800	1,188	%									
522107	まちなかサイン整備事業	観光拠点、歴史・文化施設に関する総合案内サイン2基、地域案内サイン3基、誘導サイン16基、記名学習サイン24基	浜坂市街地内の適切な場所に設置する。	20					事業進捗率						継続	平成22年度に策定したまちなかサイン整備計画に基づき、総合案内サイン、誘導サイン等を設置する。	
				21													
	22			3,503	2,017	61	1,486	6									
	23			12,486	11,000	330	1,486	%									
522109	都市計画基礎調査事業	都市計画法第6条に基づく調査	農地転用状況や新築状況の調査を行い、調査結果を県に報告することにより、都市の開発動向や用途地域等の検討のための基礎資料とする。	20	604	0		604	都市計画基礎調査報告書	0					継続	土地利用状況の推移を把握するため、継続して事務を遂行していく。	
				21	399	97		302		1							
	22			297	0		297	0									
	23			547	250		297	式									
522110	中心市街地活性化推進事業	浜坂中心市街地のエリア(面積A=141.5ha)	中心市街地を活性化させることにより生活環境の改善と町のアイデンティティーの回復を図る。また、全ての住民がより安全に安心して暮らせるまちづくりを目指す。	20	4,603	1,906	1,906	2,697	実施事業率	150					継続	南北自由通路整備事業を削除し、浜坂市街地内における消雪工整備事業を追加する都市再生整備計画の変更を行い、遅滞なく事業実施に努める。	
				21	8,051	5,333	1,133	2,718		100							
	22			46,922	44,545	745	2,377										
	23			122,293	119,916	1,536	2,377	%									
基本	5-2(2)③土地区画整理を進めます																
522302	土地利用規制等対策事業	行政区域内の土地	投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図る。	20	305	5		300	土地売買等届出書の進達件数	0	始末書に係る進達件数	0				継続	届け出制(国土利用計画法)の存在自体が十分認識されていない実体があると考えられるため、一般住民向けに町広報に本制度のPR記事を掲載したり、土地家屋調査士等業者向けにチラシを配布するなど広報の仕方を工夫し、適正に届出が行われるよう努める。
				21	307	5		302		1		0					
	22			302	5		297										
	23			298	1		297	件	件								

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	5-2(3)①交通手段の多様化を図ります																				
523102	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	観光客	観光客の利便性の向上を図る	20	7,159	6,500	6,500	659	利用人数 (平均乗車人員)	3.7	利用者延べ人員	12608	4	4	2	4	B	事業のやり方改善	住民が利用しやすいダイヤの見直しを進めるとともに、鳥取砂丘への観光客をゆめぐりエクスプレスを利用して湯村温泉に誘導するとともに、運行協議会の構成団体や関係する旅館組合などとの連携を図りながら企画イベント等の実施並びに効果的なPR活動に努める。		
				21	6,664	6,000	6,000	664	2.5	8756											
	22			6,357	6,000	6,000	357	3.3	8036												
	23			6,357	6,000	6,000	357	人	人												
	企画課																				
523103	バス対策(県単独路線維持)費補助事業	バス利用者	バス路線の維持により利便性の向上を図る	20	2,618	1,959	980	659	延べ利用者		30410		4	4	3	3	B	事業のやり方改善	湯村八鹿線については利用者が見込めないことから、便数の削減等に向け全但バスとの協議を進め、効率的なダイヤと便数の検討を行う。		
				21	3,229	2,565	1,283	664		30410											
	22			2,981	2,624	1,405	357	30410													
	23			2,981	2,624	1,405	357	人													
	企画課																				
523104	航空機利用助成事業	町民	各市町とも連携し、利用促進を目的とした助成制度等により利用促進を図る。	20	2,812	2,153	2,153	659	利用人数 (一般)	28			4	4	3	4	A	継続	利用助成金を増額し、利用の促進を図る。		
				21	3,435	2,771	2,771	664		7											
	22			2,947	2,293	2,293	654	48													
	23			3,049	2,395	2,395	654	人													
	企画課																				
523105	余部橋梁架け替え事業	町民	列車の定時性確保による信頼性向上により、観光客の増加と通勤、通学者の交通手段の確保を図る	20	15,993	15,334	834	659	進捗率	40.1			4	4	4	4	A	終了	平成22年度完成		
				21	25,582	24,918	1,318	664		63											
	22			42,779	42,422	2,122	357	100													
	23							%													
	企画課																				
523106	総合交通事業・町民ふれあいの旅	町民	JRの利用促進と浜坂駅の活性化と町民の親睦	20	747	88	88	659	参加人員	102			3	3	4	3	C	事業のやり方改善	取り組み開始後20年以上が経過。参加者と行き先が限られる。団体旅行の時代でもない。個人旅行への助成に切り替えるなど、はまかぜの更新にからめて検討する。(交通政策研究会内での協議、検討を進める)		
				21	752	88	88	664		70											
	22			446	89	89	357	109													
	23			446	89	89	357	人													
	企画課																				

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
523108	町民タクシー運行事業	対象地域の世帯	路線バス等公共交通機関が運行されていない交通手段の乏しい地域に居住する世帯の日常生活支援	20	2,636	1,977	1,977	659	利用回数 回	1639	4	4	4	4	A	継続	交通政策研究会、住民懇談会での協議、検討を進める。
				21	2,585	1,921	1,921	664		1405							
	22			2,466	2,050	2,050	416	1670									
	23			2,539	2,123	2,123	416										
	企画課																
523109	町民バス事業	町民	町の身の丈にあった持続可能な交通体系	20	66,914	63,917	34,708	2,997	利用人員 人	112620	4	4	4	4	A	継続	22年度で実証運行が終了し、23年度より本格運行となる。最低需用基準1人超/便に満たないバス路線については、土日祝日は、代替え交通のタクシーを運行させる。本格運行後も交通政策研究会、住民懇談会などで協議、検討を進める。
				21	114,217	113,553	69,575	664		189335							
	22			126,287	122,128	81,194	4,159	190633									
	23			115,985	111,985	79,835	4,000										
	企画課																
523110	山陰本線・播但線輸送改善事業	町民	山陰本線・播但線の速達性、快適性等を向上させ、利用促進と沿線地域の活性化を図る	20		0			進捗率 %		4	4	4	4	A	継続	改良後の利用促進に向けた取り組みを加速させるとともに、広報等を活用して今後の利用促進に理解を求める
				21	3,331	2,667	167	664		9							
	22			3,613	3,256	256	357	19.9									
	23			10,262	9,862	562	400										
	企画課																
基本	5-2(3)②安全で効率的な道路網を整備します																
523202	町道維持管理	町道	町道を良好な状況に保つ	20	36,548	25,097	25,097	11,451	修繕率 %	100	4	4	4	4	A	継続	効率的に適正管理(修繕)を行う。
				21	151,723	139,900	139,900	11,823		100							
	22			87,085	77,165	77,165	9,920	100									
	23			12,217	5,918	5,918	6,299										
	建設課																
523203	町道除雪・消雪	冬期間の生活道路(町道の車道・歩道)	消雪施設及び機械除雪により交通を確保する。	20	49,272	43,187	43,187	6,085	出勤率 %	100	4	4	4	4	A	継続	消雪施設の新設及び延長と民間業者も含め安定的な除雪機械の確保を行う。
				21	82,912	75,188	71,788	7,724		100							
	22			121,165	115,104	102,604	6,061	100									
	23			95,424	89,363	85,863	6,061										
	建設課																

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
523204	町道改良事業	町道	町道を改良することで、生活環境・利便性の向上を図る。また、緊急車両等の迅速な移動を確保し、安心・安全なまちづくりに寄与する。	20	12,833	8,877	8,877	3,956	整備率	100	4	4	4	4	A	継続	過疎地域自立促進計画等に基づき、引き続き道路改良工事を行う。
				21	78,903	73,588	73,588	5,315		100							
	22			97,110	92,476	92,476	4,634	100									
	建設課			23	46,946	43,500	43,500	3,446	%								
523205	集落内狭小道路整備事業	国県町道以外の集落内道路	全幅2m未満を2m以上に改良する。	20	756	696	696	60	狭小道路整備率(単年)	100	4	4	4	4	A	継続	継続して実施する。
				21	60	0		60		0							
	22			2,363	2,304	2,304	59	100									
	建設課			23	1,165	1,106	1,106	59	%								
523206	町道簡易舗装材料支給	集落内町道で幅員1.5m以上の道路	町が材料支給をして、集落などの受益者が事業実施することで最少経費で町道の利便性の向上を図る。	20	439	319	319	120	簡易舗装延長	59	4	4	4	4	A	継続	各地区などの受益者が事業実施することで経費が軽減でき町道の利便性が図れるので、継続実施する。地元で施工できる環境づくりを促進し、実績を増やす。
				21	1,876	608	608	1,268		103							
	22			3,135	521	521	2,614	203									
	建設課			23	3,014	400	400	2,614	m								
523207	下夕山公共建設残土処分場運営事業	建設残土の処分を必要とする国・県・町及び民間事業者	国道178号東浜居組道路改築事業により発生する建設残土、及びその他の町内の公共事業等で発生する建設残土を受け入れる処分場を県、町共同で確保、運営し、公共建設事業等の円滑な遂行に寄与する。	20	63,421	55,603	△ 16,196	7,818	受け入れ土量	67392	4	4	4	4	A	継続	22年度は、景気対策による公共事業が実施され計画以上に出来たが、一般利用規模の具体的数量の把握は困難であり、今後は公共建設事業縮小の流れのなかで、23年度以降は今までどおりの使用料収入確保は困難であると推測される。今後は、事業終了時期を視野に入れ、事業規模を縮小や見直ししながら継続検討します。なお、地域高規格道路の浜坂道路事業の残土処理方法が具体化した場合は、再度、計画を見直す必要がある。
				21	66,394	60,952	△ 3,546	5,442		13479							
	22			49,079	43,690	△ 8,875	5,389	34476									
	建設課			23	26,340	20,951		5,389	トン								
523209	用地取得事務	公共の用(町道)に供するために必要な土地	公共の用(町道)に供するために必要な土地を取得する。	20	8,691			8,691	契約率	100	4	4	4	4	A	継続	公共の用に供するための土地の取得について、次年度以降も交渉から取得までスムーズに出来るよう計画性をもって当たる。
				21	7,248			7,248		100							
	22			7,071			7,071	100									
	建設課			23	7,071			7,071	%								
523210	十字谷残土処分場運営・管理事業	温泉地域発生地の処分を必要とする国・県・町及び民間事業者建設残土受け入れ	町内の公共事業等で発生する建設残土を受け入れる処分場を確保、運営し、公共建設事業等の円滑な遂行に寄与する。	20	26,813	24,744	24,744	2,069	受け入れ土量	19391	4	4	4	4	A	継続	温泉地域内での大型プロジェクトがほぼ完成を見、緊縮財政の中で公共事業の減少が大きくなるのが考えられる。温泉地域内での建設工事計画をより正確に把握し、受け入れ使用料に合わせた支出計画を立てる必要がある。
				21	6,661	3,950	3,950	2,711		19630							
	22			6,240	3,570	3,570	2,670	31649									
	産業建設課			23	19,445	16,775	16,775	2,670	m3								

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					一般財源															
基本	5-2(4)①安全で安定的な水道水を供給します																			
524101	浜坂上水道施設改良・施設整備(新市水源地)	水道施設	安心・安全な水を町民に安定的に供給する。	20					進捗率								終了	21年度から22年度に繰越した、取水ポンプ設備 11Kw他(3台)、浄水池125m3(2池)、滅菌設備注入ポンプ共(1式)、水質監視計装設備(1式)等の施設整備が完了。安心・安全な水を町民に安定的に供給する。		
				21	72,052	69,878	1,090	2,174	18			4	4	4	4	A				
	22			256,789	253,521	111	3,268	100												
	23							%												
	上下水道課																			
524102	温泉簡易水道施設改良・施設整備(後山簡易水道)	水道施設	安心・安全な水を町民に安定的に供給する	20					調査進捗率		工事進捗率						終了	ポンプ場、塩素注入施設、場内配管の整備が完了。安心・安全な水を町民に安定的に供給する。		
				21	3,659	2,149	2,149	1,510	100	0	4	4	4	4	A					
	22			21,724	19,050	5,850	2,674	0	100											
	23							%	%											
	上下水道課																			
524104	水道施設の維持管理	水道施設	施設を効率的かつ適正に維持管理し、安心・安全な水を安定的に供給するとともに、経費の節減を図る。有収率の向上を図る。	20	211,169	201,938		9,231	有収率	87	水質の確保	100					継続	日・週・月・随時、施設点検を行い、施設の運転状況等の異常の早期発見に努め、水道法等に基づく内部・外部の水質検査を実施する。道路占用調整会議に参加し、道路掘削作業時に発生しやすい管破損事故の防止を図る。		
				21	222,981	212,954		10,027	79	100	4	4	4	4	A					
	22			230,813	215,542		15,271	80	100											
	23			280,140	264,869		15,271	%	%											
	上下水道課																			
524105	水道使用量検針	水道使用者	使用水量を適正かつ効率的に検針し、公平で適正な水道料金を算出し収入を図る。経営基盤の安定化を図る。有収率の向上を図る。	20	5,578	3,900		1,678	適正検針率	100						継続	導入したハンデーターミナルで、正確かつ効率的に各戸検針を進める。			
				21	8,464	7,196		1,268	100			4	4	4	A					
	22			10,677	6,815		3,862	100												
	23			10,859	6,997		3,862	%												
	上下水道課																			
524106	水道施設整備計画	水道施設	安心・安全な水を町民に安定的に供給する	20					改修基本計画						4	A	終了	22年度で完了		
				21																
	22			8,931	5,960		2,971	1												
	23							件												
	上下水道課																			

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源										
524107	水道工事の設計・施工・監督	水道施設の工事	安心・安全な水を安定的に供給できるようにライフラインを確保する。	20	9,419	4,144		5,275	工事完了	12	4	4	4	4	A	継続	水道の供給は、町民の生命に関わり、水道施設を良好に保つための設計・施工・監督は重要なものであるため、今後も継続する。
				21	8,476	4,792		3,684		20							
				22	11,181	7,022		4,159		19							
		上下水道課		23	42,657	38,498		4,159	件								
524110	給水設備の適正審査	屋内給水工事	各戸の屋内給水工事について、給水装置基準に基づいた施工の推進を図る。水道水の漏水、装置のトラブルなどを防ぎ水道施設の保護を図る。	20	3,417			3,417	許可	35	4	4	4	4	A	継続	公認業者からの給水工事申請書の審査を行い、適正な給水装置の設置を推進する。さらに、指導等により公認業者の育成に努める。
				21	1,933			1,933		17							
				22	594			594		12							
		上下水道課		23	594			594	件								
524111	水道使用料等徴収	水道使用者	水道使用料を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な水道料金を算出し収入を図り経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	20	11,408	5,953		5,455	徴収率	98	4	4	4	4	A	継続	未納が続く場合には給水停止を行うなど、継続して滞納対策の強化を図る。
				21	11,329	5,712		5,617		99							
				22	14,430	5,814		8,616		99							
		上下水道課		23	15,837	7,221		8,616	%								
524114	温泉配湯施設の維持管理	温泉施設、源泉	安定的な湧出量・湧出温度を確保し、配湯量の安定供給を図る。安定的・効率的な稼働を維持し、経費節減を図る。	20	41,808	37,852		3,956	湧出量・湧出温度	100	4	4	4	4	A	継続	安定的・効率的な稼働を維持し、経費節減を図る。
				21	44,716	41,032		3,684		100							
				22	49,434	46,166		3,268		100							
		上下水道課		23	45,983	42,715		3,268	%								
524115	温泉使用量検針	温泉配湯使用者	使用湯量を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な温泉使用料を算出し収入を得て経営基盤の安定を図る。	20	1,832	753		1,079	適正検針率	108.99	4	4	4	4	A	継続	導入したハンディターミナルで、正確かつ効率的に検針を行う。
				21	2,002	975		1,027		100							
				22	3,455	1,078		2,377		100							
		上下水道課		23	3,499	1,122		2,377	%								
524116	温泉使用料等徴収	温泉配湯使用者	経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	20	4,584	1,407		3,177	徴収率	98	4	4	4	4	A	継続	未納が続く場合には給湯停止も視野に入れて滞納対策の強化を図る。
				21	3,742	1,205		2,537		95							
				22	4,609	1,341		3,268		95							
		上下水道課		23	4,639	1,371		3,268	%								

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
						事業費	一般財源										人件費	
524117	配湯設備の適正審査	屋内配湯工事	各戸の屋内配湯工事について、配湯装置基準に基づいた施工の推進を図る。温泉の漏湯、装置のトラブルなどを防ぎ配湯施設の保護を図る。	20	1,319		1,319	許可 件	2		4	4	4	A	継続	公認業者からの配湯工事申請書の審査を行い、適正な配湯装置の設置を推進している。さらに、指導等により公認業者の育成に努める。		
				21	302	0	302		1									
	22			594		594	0											
	23			594		594												
	上下水道課																	
524119	温泉配湯工事の設計・施工・監督	温泉配湯施設の工事	安心・安全な温泉水を安定的に供給できるようにする。	20	4,059	2,441	1,618	工事完了 件	1		4	4	4	A	継続	温泉配湯施設を良好に保つため、設計・施工・監督を継続実施する。		
				21	3,081	1,450	1,631		1									
	22			7,354	6,166	1,188	7											
	23			22,537	21,349	1,188												
	上下水道課																	
基本	5-2(4)②生活排水の浄化に努めます																	
524201	下水道施設維持管理事業	処理施設、ポンプ施設、管路施設	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るべく、安定した処理機能ならびに良好な放流水質を確保する。	20	182,062	176,187	5,875	処理水量(流入)【浜坂地域】	901658	処理水量(流入)【温泉地域】	467391	4	4	4	4	A	継続	安定した処理機能ならびに良好な放流水質を確保するため、委託内容については23施設のうち17施設は3年間(H22～H24)の長期継続契約を行なっている。
				21	193,022	182,271	10,751		821893		475070							
	22			195,938	181,202	14,736	970602		517146									
	23			214,479	199,743	14,736	m ³		m ³									
	上下水道課																	
524202	下水道接続促進事業	未接続施設の所有者	接続目標を設定し、早期接続を促進する。	20	3,896		3,896	接続率【浜坂地域】	73.7	接続率【温泉地域】	69.8	4	4	3	3	B	継続	留守等により未調査となっている未接続施設の調査を継続する。
				21	242	0	242		75		71							
	22			4,159		4,159	76		72									
	23			242		242	%		%									
	上下水道課																	
524205	排水設備工事申請・検査事業	接続予定者及び町排水設備指定工事店	宅内排水設備工事の適正な設計施工を確保する。	20	4,675		4,675	適正工事割合【浜坂地域】	100	適正工事割合【温泉地域】	100	4	4	4	A	継続	公認業者からの排水設備工事申請書の審査及び完成検査を行い、適正な排水設備の設置を推進する。さらに、指導等により公認業者の育成に努める。	
				21	4,047		4,047		100		100							
	22			2,971		2,971	100		100									
	23			2,971		2,971	%		%									
	上下水道課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
524206	合併処理浄化槽設置整備事業	戸別処理区域(春米、高山、数久谷、竹田・後山、熊谷、伊角、松尾、宮脇、内山、越坂、海上、前、青下、霧滝)にある専用住宅が対象。	合併処理浄化槽を設置し、水質汚濁防止を図る。	20	6,732	6,013	4,867	719	接続率	71.4	4	4	4	4	A	継続	平成20年度に補助金要綱を改正し継続中。
				21	985	441		544		72							
	22			738	441		297	74									
	23			738	441		297	%									
524207	水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給事業	水洗便所等改造資金融資対象者	下水道接続率の向上	20	1,527	28	28	1,499	接続率	72.4	4	4	4	4	A	継続	H19～H21適用分の利子補給のみ継続する。
				21	568	24		544		72							
	22			929	38		891	75									
	23			559	24		535	%									
524209	下水道負担金・分担金・使用料の賦課・徴収事業	下水道使用者	下水道使用料を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な下水道料金を算出し収入を図り経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	20	11,424	3,152		8,272	徴収率	99	4	4	4	A	継続	使用水量を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な下水道料金を算出し収入を図る。滞納者に対しては、訪問等徴収対策を継続する。	
				21	11,621	3,225		8,396		99							
	22			12,046	3,133		8,913	99									
	23			11,586	3,327		8,259	%									
基本	5-2(5)①地域情報基盤の整備と充実を進めます																
525101	ブロードバンド整備事業	町民	高速通信網の整備による地域情報化	20	34,988	23,000	23,000	11,988	加入見込み	900	4	4	4	4	A	継続	平成24年4月のサービス開始を目指し、(株)ケイ・オブティコムに通信基盤整備事業の事業費の一部を補助し、事業を実施する。
				21	604	0		604		0							
	22			3,862	0		3,862	0									
	23			192,862	189,000	189,000	3,862	戸									
525102	CATV加入促進	CATV、各種サービスの未加入者	加入者を増やし、自主財源確保をする。	20	3,120			3,120	インターネット利用者件数	590	4	4	4	4	A	継続	継続してサービスの加入者促進を図る。インターネット高速サービスの加入者増を図る。
				21	3,056			3,056		620							
	22			3,791			3,791	657									
	23			3,791			3,791	人									

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
525103	移動通信用鉄塔整備事業	携帯電話の移動通信サービスを利用できない地域(不感地域)に居住する住民	不感地域において携帯電話等の移動通信サービスを利用可能な状態にする	20					整備地区		4	4	3	4	A	継続	不感地区の解消を図るため、引き続き国・県・事業者者に整備要望を行う。	
				21	21,076	19,204	19,204	1,872										1
	22			1,922	21	21	1,901	1										
	23			1,923	22	22	1,901		地区									
525104	ラジオ難聴エリア解消事業	町内のラジオ放送難聴地域	ラジオ放送受信環境の整備を実施し、難聴地区の解消を図る	20					NHKとの協議回数		4	4	1	4	B	継続	中継局整備には遊休町有地を優先的に検討するとともに、今後ともNHKとの協議を継続してラジオ放送難聴解消に向けた取り組みを推進する。	
				21														2
	22			654			654											
	23			654			654		回									
525105	辺地共聴施設整備事業	辺地共聴施設を整備して地上アナログ放送を受信している共同受信組合(新設を含む)	地上デジタル放送を受信できるようにする(改修費への助成)	20					整備件数		4	4	4	4	A	終了	平成22年度をもって終了	
				21														3
	22			13,220	10,130		3,090											
	23								組合									
施策	5-3地球環境に優しいまちづくり																	
基本	5-3(1)①ごみの減量化を進めます																	
531101	ごみ収集業務	町内住民・事業者	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	20	94,037	89,943	89,943	4,094	収集量	4223	一人1日 当り(事業所収集含む)	662	4	4	4	A	継続	一人一日あたりのごみの排出量は減ってきているが、マナーが守られていないごみがあるため、更なるごみ出しのルールを排出者に周知し、リサイクル率の向上を図る。
				21	94,064	90,585	90,585	3,479										
	22			79,797	79,797	79,797	3,765	3820	615									
	23			84,899	84,899	84,899	4,062	t	g									
531103	ごみ減量化推進事業	住民・事業所	一般廃棄物の排出抑制及び分別によりごみ減量化を進める。	20					ごみ排出量			4	4	3	4	A	継続	事業系廃棄物の施設への持込みの量を減少させる対策を検討
				21	1,429	100	100	1,329										
	22			1,511	25	25	1,486	5310										
	23			1,628	142	142	1,486	t										

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	5-3(1)②ごみを適正に処理します																	
531201	北但広域ごみ汚泥処理施設整備負担金	北但地域住民	厚生省の「ごみ処理の広域化計画について」の推進に基づいて、北但地域に広域のごみ処理処理施設を建設する。	20					負担金		稼働停止 延日数	4	4	3	4	A	継続	平成28年度施設稼働に向け、進捗管理する必要がある。
				21	45,453	45,272	45,272	181		45272								
	22	56,837		56,480	56,480	357	56480											
	23	33,501		33,144	33,144	357	円											
	町民課																	
531202	ごみ処理施設運営	ごみ排出者 (全町民及び町内事業所) 17,014人	廃棄物を適正に処理することにより町内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	20	182,352	139,187	79,359	43,165	処理量	5585	稼働停止 延日数	4	3	2	B	事業の やり方 改善	ごみ処理業務は町民の生活及び町内事業者の活動に不可欠なものであるが、北但広域ごみ処理施設整備計画の稼働予定がh25年度からh28年度へと3年間延長されたため、老朽化している施設の延命化対策と修繕工事を適切に行い業務移行まで健全な運営管理に努めていく必要がある。	
				21	180,867	149,611	91,044	31,256		5421								
	22	164,599		133,011	96,031	31,588	5310											
	23	145,256		112,997	67,304	32,259	t											
	環境センター																	
531203	し尿処理施設運営	町内(生し尿、浄化槽汚泥排出者)	町内で発生した、生し尿及び浄化槽汚泥を収集運搬し、適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	20	58,665	24,022	△ 10,338	34,643	処理量	4589038	稼働停止 延日数	4	3	2	B	事業の やり方 改善	し尿及び浄化槽汚泥処理業務は町民の生活及び町内事業者の活動に不可欠なものであり今後も適切な運営管理に努めていく必要があるが、施設が老朽化しており適切な修繕工事が必要となっている。また平成25年度以降は公共下水道処理場へのミックス処理に移行する予定である。	
				21	55,725	20,959	△ 15,304	34,766		4443024								
	22	56,873		21,541	△ 14,277	35,332	4494072											
	23	58,587		27,617	25,904	30,970	リットル											
	環境センター																	
531204	クリーン大作戦の実施	町民	自然環境の保全と美化意識の高揚を図る。	20	420			420	回収量	17.69	参加人数	4	4	4	4	A	継続	住民参加によるクリーン作戦を継続、拡大していく。
				21	1,228	20	20	1,208		13								
	22	650		20	20	630	19											
	23	650		20	20	630	t											
	町民課																	
531205	不法投棄対策	町民	不法投棄ごみの撲滅	20	510	30	30	480	回収個数	51	稼働停止 延日数	4	4	4	4	A	継続	担当課だけではなく、警察や区など関係機関と協力し、不法投棄ごみを撲滅する。
				21	6,385	5,237	2,756	1,148		179								
	22	3,796		2,230	2,230	1,566	178											
	23	8,977		7,411	7,411	1,566	個											
	町民課																	

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20~22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						区分	改革・改善案							
					総事業費	事業費	一般財源	人件費					必要性	有効性	達成度	効率性	総合		
基本	5-3(1)③公害防止を進めます																		
531301	河川水質検査	町民	河川の汚れ具合を調査し、水環境の保全を図る。	20	644	524	524	120	環境基準 値外数 件			4	4	4	4	A	継続	下水の接続率や農業使用が河川の水質に影響しているので継続していく必要がある。	
				21	455	334	334	121											0
	22			395	336	336	59	0											
	23			419	360	360	59												
	町民課																		
531302	ダイオキシン類測定検査	宇都野町住民及び宇都野下流域	住民が安心して暮らせる	20					環境基準 内項目 個			4	4	4	4	A	継続	同一検査項目で実施	
				21	699	578	578	121											10
	22			581	462	462	119	10											
	23			711	592	592	119												
	町民課																		
531303	新温泉町環境保全推進協議会運営	新温泉町環境保全推進協議会委員	ごみ問題を始め、環境問題全般について協議いただき、快適な生活環境の推進と保全を図る。	20	287	47	47	240	協議件数 回			4	4	4	4	A	継続	快適な生活環境の推進と保全を図るため、今後も協議を継続する。	
				21	210	29	29	181											1
	22			202	24	24	178	1											
	23			240	62	62	178												
	町民課																		
531304	ゴルフ場公害監視	ゴルフ場下流住民	農業用水や水道水を安心して使用できる	20	1,171	494	494	677	水質検査 基準超過 回数 回			4	4	4	4	A	継続	従前の農業検査以外に一般項目の水質検査にも力を入れ、公害監視を強化すべき。	
				21	1,376	651	651	725											0
	22			1,322	811	811	511	0											
	23			1,832	1,119	1,119	713												
	住民福祉課																		
基本	5-3(2)①ごみの資源化を進めます																		
532101	資源ごみ集団回収運動奨励事業	区、町内会、婦人会、子ども会、PTA、老人会、青年団、学校等の各種団体	新聞、雑誌など町が分別収集をしていない品目について、資源回収では対象品目となっており、資源の再利用のため、本事業を活用していただき、ごみの減量を図りたい。	20	2,925	2,625	2,625	300	回収量 kg	891705		4	4	4	4	A	内容拡大	集団回収活動は、資源化・減量化という観点で有効であるばかりでなく、地域のコミュニティの育成にも役立つものであることから、今後も奨励金を継続する。	
				21	3,441	2,578	2,578	863											878586
	22			3,118	2,547	2,547	571	863028											
	23			4,403	3,773	3,773	630												
	町民課																		

平成23年度(H22実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H20～22決算額・H23予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						委員会開催 回	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	5-3(2)②省資源・省エネルギーや新エネルギー導入を進めます																	
532201	エココンパクトタウン構 想検討	新温泉町	自然エネルギーを 活用した環境にやさ しいまちの創造	20					委員会開 催 回			4	4	2	4	B	継続	委員会での検討を重ね、エコ・コンパクトタウン構想の仕様書を 策定するとともに、平成23年度に向けたモデル事業の計画及 び補助金制度創出を検討する。
				21														
	22			1,185	175	175	1,010	2										
	23			3,387	2,377	2,377	1,010											
基本	5-3(2)③温泉を保護し、有効に活用します																	
532302	地熱対策事業	町内の温泉 (源泉)	利用の適正	20	1,856	1,257	1,257	599	協議件数 件数	2	異常源泉 件数	0	4	4	4	A	継続	新温泉湯村温泉保護利用条例、新温泉町温泉開発条例に規定 する町長が必要と認めた時に新温泉町温泉審議会を開催する とともに、日常の温泉利用の監視を続ける。
				21	1,492	888	888	604		2		0						
	22			1,704	1,110	1,110	594	1		0								
	23			1,556	962	962	594											
	商工観光課																	